

令和4年裾野市議会2月定例会 予算決算委員会 総務分科会（予算審査）

令和4年3月1日（火）、2日（水）

| | | | |
|------------|---------|--------|-------|
| 3月1日（火） | 総務部 | 財政課 | 2 |
| | | 税務課 | 15 |
| | | 人事課 | 26 |
| | | 行政課 | 40 |
| | 検査監 | | 49 |
| | 企画部 | 秘書課 | 51 |
| | | みらい政策課 | 54 |
| | | 行政改革課 | 66 |
| | | 戦略広報課 | 72 |
| | 3月2日（水） | 環境市民部 | 生活環境課 |
| 美化センター | | | 99 |
| 深良、富岡、須山支所 | | | 109 |
| 市民課 | | | 118 |
| 危機管理課 | | 123 | |
| 議会事務局 | | 135 | |
| 監査委員事務局 | | 137 | |
| 出納課 | | 139 | |
| 自由討議 | | 142 | |

9時00分 開会

- 委員長（三富美代子） ただいまから、本日の会議を開きます。
本日の日程はお手元に配付のとおりであります。
これより予算決算委員会に付託され、総務分科会に割り振られました第1号議案令和4年度裾野市一般会計予算のうちの関係部分、第5号議案 令和4年度裾野市墓地事業特別会計予算の審査を行います。
審査の方法は、各課単位で行い、それぞれ当局の説明を求めてから質疑に入りたいと思います。
質疑の後、意見をお伺いします。これにご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） ご異議ありませんので、そのようにいたします。
ここで、各委員に申し上げます。質疑は一問一答方式で、要点を明確に、簡潔な質疑をお願いいたします。
意見につきましても、要点を明確に、簡潔をお願いいたします。
また、発言の際には録音の関係上必ずマイクをご使用願います。

総務部

財政課

- 委員長（三富美代子） 財政課長の説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありませんか。木村委員。
- 委員（木村典由） よろしく申し上げます。60 ページなのですけれども、基金繰入金についてですが、主要基金の活用の考え方などありましたら、お聞かせください。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 基金につきましては、基本的には財政調整基金につきましては、行革の期間中ということもございまして、そういった部分も含めまして、基金の残高というのをいかにして残していくかというところは検討していく部分でございまして。あとの特定目的基金につきましては、基本的に用途が限定されておりますので、その用途に対して必要と思われる場合には活用をさせていただきたいというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。それでは、元となる基金の残高見込みはいかがでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 すみません。ちょっと休憩を。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。財政課長。
- 財政課長 基金の残高見込み等につきましては、説明書の1ページの下段のところに記載をしておりますけれども、基本的にはあくまでも必要な場合には取り崩すという形になります。むやみに残高を減らすような考え方はございませんので、適正に管理をしていきたいと思っております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 都市施設建設基金繰入金が令和3年度の2億3,000万円で、令和4年は1億円と半分以下になっておりますが、こちらの建設事業の減少等が理由なのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 こちらにつきましては、区画整理、駅西の整備事業に充てさせていただいております。そもそもがそちらのほうの事業費を抑制している部分もございますので、基金の取崩し額も減っているという形になります。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 先ほども出たのですけれども、財政調整基金の現在の残高は分かりますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 財政調整基金の残高につきましては、説明書の1ページを御覧いただくと分かりますけれども、令和4年度の末の残高見込みとしましては、30億6,100万円程度となります。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） ありがとうございます。令和4年度は、財政調整基金の取崩しは当初以上実施しない考えなのか、あるいは臨時対応で手をつけていくのか、お考えをお聞かせください。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 今後は、あくまでもそのときの状況により対応しなければならぬので、今の段階でこれをどうするかという判断までは申し訳ございませんが、ちょっとできません。
- 委員長（三富美代子） ほかにご質疑はありませんか。杉山委員。
- 委員（杉山茂規） よろしくお願ひします。基金の部分なのですけれども、目的があつて積み立てている、必要があるときに取り崩すということなのですけれども、どのぐらいのタイミングでどのぐらい取り崩すみたいな計画、予定であつたり、そういったものというのは財政課のほうで把握というか、

検討というかしていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 財政調整基金につきましては、中期財政計画で示され、お示しをさせていただいているところをベースに検討していくことになるかと思いません。特定目的基金につきましては、あくまでもその基金を利用する事業、これが今後どのように展開されていくかというところと併せて検討していく必要があるというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。ということは、財政課とすると、ほかの課で行っているどういうふうに事業を進めていくかについては、把握しているというふうな考え方でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 今の段階で、全て今後何年間という形で見込みが立っているわけではないですけれども、基本的にはそういったものを詰めながら、事業としてどういうものを優先的にやっていくかというところと含めて検討していく、今後の課題として進めていく必要があると考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。お金が尽きてしまうということがあってはならないということの中では、多分出納課と繰替運用の話とかの資金運用会議というものをやっていると思うのですけれども、次年度の状況を鑑みまして、財政課としてはその協議にどのような視点で臨んでいたのかというものを伺いたしたいと思います。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 繰替運用等につきましては、来年度以降も今年度並みの繰替運用が発生するものというふうに想定しております。基本的には来年度は恐らく財調の残高からいつて何とかなるのではないかなというような考え方ではおりますけれども、これがずっと続くかというところは難しいときが来るというふうに判断をしておりますので、そのときにはまた別の考え方をしていく必要があるというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

ちょっとまた別な話なのですが、事業は実施された後、事業費確定、あるいは入札での差金が発生した場合、残金って余剰部分が発生すると思うのですけれども、財政課としてそれはどのように扱っていくかという方針であったり考え方をお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

- 財政課長 入札での差金ですとか、そういった部分につきましては、その都度財政課のほうで配当保留という形で、それ以上一旦使えないような形で対応しております。その後の変更契約ですとか、そういった部分が必要になったときには協議をしていただいて、それを使うかどうかというような判断をさせていただきます。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。保留されたものにつきましてはの契約変更とかそういったものが終わった後の取扱いにつきましては、どのような形で考え方お持ちでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 最終的に保留をされて、そのまま使われなかったものにつきましては、そのまま収支のほうに入っていくものになります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。
- あと、各課で事業推進をする、していくわけなのですけれども、財政課として事業効果を高めるためにこういうふうにやってくださいねみたいな指示等、そういったものというのは出したりするのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 基本的に事業のやり方まで踏み込んで話をすることは、あまりないというふうに考えておりますけれども、ただ予算の使い方が適正かどうかというようなことにつきましては話をさせていただきます。
- 委員長（三富美代子） よろしいですか。ほかにご質疑はありませんか。岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 60 ページで、財政調整基金の令和4年度の残高30億6,000万示されているのですけれども、この額というのは標準財政規模の何%くらいになる額なのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 恐らく標準財政規模が120億前後になると思いますので、そのうちの30億ですので、25%くらいになるかと思います。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、一般的に10%くらいが適正ではないかって言われている中ではそれなりに安定した額になっているというふうに捉えてよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 今現在の基金の残高としては、他市町と比べてもあるというふうには考えておりますけれども、今までもお話をさせていただいていますとお

り、財政非常事態宣言を出しているという状況もありますけれども、必ずしも楽観できる状況ではないというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） ~~変わりました、13 ページの固定資産税のところ、分かっていることなのかもしれませんが、先ほど来家屋と償却資産の減額特例措置が適用されないというお話がされたのですけれども、これはどういう理由なのでしょうか。ちょっとよく分からないのですが。~~

（「すみません……」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 先ほどの質問は取り消します。

○委員長（三富美代子） ほかによろしいですか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） すみません。あと1点だけお願いします。お金の使い方の問題、考え方なのですが、どの財源というかお金から優先して事業に充当していくかについて伺いたいのですけれども、ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。財政課長。

○財政課長 何を優先するかというところというよりも、何が活用できるかというところはいろいろと調べてやっていきたいと思っております。なので、当然ながら国・県の補助金は有効活用させていただきますし、それ以外の部分につきましても使えるものにつきましては優先的に、優先的にといいますか、積極的に活用させていただいて、一般財源のほうは減らせるものは極力減らしていきたいというような考え方になるかと思います。

○委員長（三富美代子） ほかにご質疑はよろしいですか。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。令和4年度、財政非常事態宣言後の第2期行財政構造改革のスタートの年になっております。事業の統合、減額、休止、廃止等によって、前年比から事業費として6億円の削減ができております。この第2期については、第1期のときと違って削減額というのは表示されずに、事業の見直しの指定に基づいて事業を精査されたと思えます。

この令和4年度の予算編成においては、この第2期で収支の均衡バランスを保つという中で初年度の予算編成、計画どおりに予算編成ができたというふうに評価はされていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 これから先の行革の第2期期間においては、あくまでも中期財政計画でお示しをしながら、一般財源の規模というのを管理していきたいとい

うふうに考えております。そういった意味で、中期財政計画以上に一般財政健全化のほう抑制できておりますので、計画どおりには来年度予算についてはいっているという認識でございます。

- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 中期財政計画に沿って考えると、前倒しして財政再建に向けた一歩が踏み出せたという評価でよろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 そういうふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 第1期の行財政構造改革のときには、職員の意識が非常に課題であったということが報告としてありました。第2期に向かって非常事態宣言も出された中で、職員の意識というのはどのように変化があったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 以前からどうかというところは、いろいろ考え方あるかと思うのですが、今回の予算の要求の段階におきましても、かなり自分たちで事務費も含めてかなり抑制して、本当に必要なところだけで要求しているという感じには見えます。なので、職員もかなりその辺は意識をしているというふうには考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 職員の意識が変わってきたという点は了解いたしました。それは、やはり財政非常事態宣言を出したということが大きかったというふうに思われますか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 もちろんそれだけではないかと思えますけれども、その部分というのは影響が大きいかと思えます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 分かりました。
予算附属説明書のほうでお伺いさせていただきます。4ページの性質別の歳出の部分です。中期財政計画では扶助費の伸び率を5か年平均2.9%というふうに見込んでおりますが、令和4年度の扶助費の増減額が5.3%ということになっています。この増減については、想定内というふうに見込んでいらっしゃいますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 扶助費に対しましては、どうしても意図的に抑制ができる場所ではないので、ある程度の見込みの差が出てしまうのはやむを得ないという

ふうには考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 読めないところも非常にあるかと思えますけれども、伸び率としては大きかったというふうに評価されますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 評価というところとちょっと難しいのですけれども、他市町と比べても恐らく同じような動きをしているのかなというふうには考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） それは了解いたしました。

同じく性質別の物件費の部分です。裾野市は、物件費の構成比率が高いというふうに言われておりますけれども、行革も含めまして、構成比率の改善について各課とどのような協議をされてきましたでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 基本的にはいろんな部分の抑制ですとか、そういった部分は常々お願いしているところでございます。

裾野市が物件費が高いというところの1つの要因としまして、昔の臨時職員の人件費の部分とかというところがあったかと思えますけれども、そういったところが3年度から変わった状況がありますので、それで比較してどうかというのは今ちょっと実際に検討しているところでございますので、もう少しお時間をいただければと思います。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 賃金の部分が割合として高いのは承知をしておりますけれども、賃金以外、例えば、賃金以外の部分でも各課と何か協議をされたことというのはありますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 物件費としてというよりも、行革の事業見直しの中で削減できるところはどこかというような考え方で進めておりますので、そういった部分がだんだんまとまってくると、物件費のところにも数字として表れてくるのかなというふうには思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件は了解いたしました。

先ほど説明の中でも財政力指数が下がる見込みであるということでしたけれども、数値としては幾つぐらいを想定されておりますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 恐らく、これあくまでも見込みなので何とも言えないのですけれども、恐らく96ぐらいにはなるかと思えます。96……

(「0.96」の声あり)

○財政課長 ごめんなさい。0.96 前後ぐらいかなというふうには思います。

○委員長 (三富美代子) 賀茂委員。

○委員 (賀茂博美) 了解しました。

予算書のほうに移ります。60 ページです。基金繰入金の関係です。財調の取崩し額が中期財政計画と比べまして、削減が確かできていると思います。7,000 万ぐらいかな、削減できていますけれども、これは行革の成果なのか、削減できた要因というのをお願いいたします。

○委員長 (三富美代子) 財政課長。

○財政課長 基本的に予算要求の前にかかなりのところで事業として絞っておりますので、その精査が予算要求でしっかりした要求額の精査ができるので、それが想定以上に多かったというのが1つあるかと思います。

あとは、予算査定の中で事業としては認めるのだけれども、その事業の規模が適正かどうかという判断をしておりますので、そういった部分での削減も進んでいるというふうにご考えております。

○委員長 (三富美代子) 賀茂委員。

○委員 (賀茂博美) 分かりました。今事業の規模というお話もありまして、63 ページの都市施設建設基金繰入金の関係です。例年駅西周辺整備事業へ基金の充当をしていましたけれども、中期財政計画を見てもこれから先毎年1億充当していくということでした。事業費を抑制をしているという点については、資金計画があつて事業の進捗があるのか、事業の抑制があつて資金をつけていくのか、それはどちら側の考え方になりますか

○委員長 (三富美代子) 財政課長。

○財政課長 基本的にはやらなければならない事業を、平準化といいますか、年度ごとに比べたときに年間どこまで抑制できるのかというのは検討してまいりました。その中で、要は準備できる予算としての枠というものもある程度ありますので、それとのバランスですか、そういったもので事業規模を決めているという感じにはなるかと思います。

○委員長 (三富美代子) 総務部長。

○総務部長 併せまして、少し私からも。予算の附属説明書1ページを見ていただくと分かりますけれども、都市施設建設基金につきましても、令和4年度末で6億2,000万円ぐらいになります。この基金、今駅西も使っていましたけれども、将来的に事業の性格から、基金の性格にしますと、例えば美化センターとかそういうものにも充当する部分ございまして、こういうふうな基金の残高とか見ながら財政運営していかないと、なかなか事業全体の、やらなければならない事業なのですけれども、今までのペースで行けるかどうか

かということについては、財源としての課題がありますので、そういうことを判断しながら事業費について抑制なり平準化をお願いしているところでございます。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 了解しました。

最後にもう一点、83 ページです。臨時財政対策債の関係ですけれども、今回は8億 1,180 万円の起債をしていますが、これは発行可能額の上限いっぱい発行されるということですのでよろしいのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 そのように考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 中期財政計画にもありましたけれども、不交付団体が続くという見込みでその辺りは大丈夫なののでしょうか。ごめんなさい。交付団体が続くということで。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 交付団体が続くという見込みには変わっておりません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この起債は、据置期間というのがありますか。

（「起債……」の声あり）

○委員（賀茂博美） 償還するまでの据置きというのが。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。財政課長。

○財政課長 ちょっとすみません。休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。財政課長。

○財政課長 臨財債につきましては、財政融資が利用できますので、3年間の据置きで、その後の17年間での償還という形になります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありますか。勝又委員。

○委員（勝又利裕） お願いします。予算附属説明書の1ページのところの記載の関係、記載というか、記述、基本的な考え方、予算編成の基本的な考え方の中で、3行目から「歳入確保を図りながら」ってあるのですけれども、具体的に何かこれ指示をしたり、各課へ指示をしたり、財政課として何か取り組んだことありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 こちらにつきましては、各種補助金ですとか、交付金、こういったものは積極的に調べて使えるものはどんどん活用してくださいというよう

な指示は出しております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） その効果は現れたという判断をしているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 今の段階では、まだそういった部分の効果が現れているかどうかというのはちょっと判断はできかねます。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 令和4年度予算を組んでいく中で、歳入確保を図っているというはずですから、その中で何かありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 説明の中でも1か所させていただいておりますけれども、防衛の9条の交付金、こちらのほうを4年度からソフト事業のほうに充てさせていただくということができましたので、そういった部分の効果は出ていると思います。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 了解です。

それともう一つ、事業見直しでかなり削減をしているはずなのです、令和4年度予算で。とは言いながらも、将来性を見据えた見極めをしたりしているということにここ記述があるものですから、それに対してのその具体的な何か事業、将来性を見据えてここだけは確保したというのが財政課としてあれば、幾つか教えてもらえればありがたいですが。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 財政課としてというよりも、事業見直しの行革本部の中でもそういった議論はしてまいりました。なので、基盤整備の部分ですとか、教育の部分ですとか、あくまでも優先度がどうかというような議論は常にさせていただいた中で、事業の選択はさせていただいております。なので、どの事業がというよりも考え方としてそういった方向性を持っているというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 具体的にこの説明書の中に幾つか事業がありますよね、主な事業ということで。こういうものが将来性を見据えたりしている事業に該当する、しているという判断でよろしいのですか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 こちらのほうで挙げさせていただいている各種事業、こういったものはそういった部分だというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

- 委員（勝又利裕） もう一点、繰替運用の話がちょっと、財政課でいいとは思いますが、基金は基金として積んで利子を得ることになっているのだけれども、その基金を繰り替えて運用しているわけですから、運用した後に基金の利子、基金を運用したと仮定した利子分を補填して基金へ戻すということが一般的だと思うのですが、同じ財布の中だからその利子はどうのこうのって話になるのでしょうか、その辺の考え方を教えてください。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 基金のものによるというか、基金の種類によっては繰替運用のときにそういった利子相当というのを規定しているものもございます。ただ、財政調整基金についてはその辺がございませんので、今の繰替運用というのをさせていただいているというのが現状でございます。今後につきましては、基金の残高自体がなくなっていくというところもございまして、状況によっては考えなければいけないところはあるかと思えます。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 了解しました。特定目的基金に関しては、その利子分をまたバックするという考えは、当然あるとは思いますが、それによろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 そういう考え方はあります。
- 委員長（三富美代子） よろしいですか。内藤委員。
- 委員（内藤法子） すみません。1点だけお願いします。18 ページで国有提供施設所在市町村助成金交付金なのですが、交付実績からということで、来年度 400 万が減っているのですが、ここ例年 500 万程度で推移しているのですが、たしかこれ演習場の工作物とか、調整池などを対象としていると私、理解しているのですが、この対象の工作物が減ったということで理解していいのですか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 こちらにつきましては、毎年固定資産台帳なんかの確認をさせていただいております。それは来年度になってからになるので、今の段階でちょっと分からないところはあるのですが、基本的にはこのぐらいの金額というふうに判断したところでございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） それは、工作物が減ったとかいうことではなくて、税制の改正とかそれに伴って判断ということですか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。

- 財政課長 あくまでも過去の実績から平均等を割り出しておりますので、そういう中で実際の金額というのは、先ほど申し上げたとおり来年度の確認の中で分かりますので、その辺での見込みというふうになります。
- 委員長（三富美代子） 総務部長。
- 総務部長 物が減っているかって、壊してなくなってしまうのではなくて、ある物でも時間がたつとやっぱり評価が下がってくるというものもございまして、その見直しなんかもございまして、常に同じ金額、ひとつも同じ金額になるわけではなくて、時間がたてば価格が下がってきたりするものですから、また追加があったりして見ていくものですから、今の見込みで実績とかを見てやっているということになります。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 今の評価が下がるとかそういった意味で理解しました。ありがとうございました。以上です。
- 委員長（三富美代子） ほかによろしいですか。岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 1点お願いします。337ページの予備費に関して。昨年も聞いたと思うのですが、予備費の説明のところで予算外の支出ってあります。でも、この予算外の支出と表示することで、議会の議決を経なくても予備費を使っていいよというような意識になってしまうのではないかなと思うのですが、その辺のところはどうでしょうか。去年も言ったのですが、予算外ではなくて、予定外というような表示のほうがふさわしいのではないかなと思うのですが、その点いかがなんでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 昨年も同じ回答をさせていただいておりますけれども、あくまでも自治法での記述に合わせているという形になります。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、記述はそうとして、意識としてどうなのでしょう。昨年度でしたか、予備費の使い方でやっぱり議会の中でも賛否が分かれるようなことに対して予備費を使ったということがあるのですけれども、その辺のところの考え方はどうでしょうか。そういう議会にかけたら賛否がどうなるかわからないようなものについては予備費は使わないとか、そういうものの意識みたいなものはあるのでしょうか。その辺は、何かそういう基準みたいなものはありますか。
- 委員長（三富美代子） 財政課長。
- 財政課長 そもそも予備費を使う基準というのを、がちがちに固めることはできないというふうに考えております。なので、その辺は運用のところを今後しっかり管理していくというような形でしか対応ができないのかなという

ふうには思っております。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 確かに災害とか本当に予期しないことが起きる中で、その予備費をうまく使っていくというのととても大事なことだと思いますので、ぜひその点含めた基準みたいなものもぜひつくって、確立をしていただきたいと思います。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 99 ページです。令和4年度からファシリティマネジメントの業務が財政課のほうに移ってきますけれども、そのファシリが財政課に移ったことの効果とか、やっていく方向性とかという部分で何かありましたらお願いします。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 やっていく方向性が変わるということはないと思います。今までやってきたことをベースに今後の取組を進めていくという形にはなるかと思えます。その中でこの辺も財務諸表等の分析、そういったものも今後ファシリティマネジメントに効果的につなげていく必要があるとは考えております。そういった部分の研究といいますか、そういったものも含めて財政課として取り組むことは効果が上がる部分はあるのかなというふうには思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ファシリティマネジメントというのは計画に沿って、財政にきたことでスピードアップできるとかという効果はありますか。

○委員長（三富美代子） 財政課長。

○財政課長 どこがやってもスピードアップはしていかなければいけないとは思いますが、そういうふうに見えるようにしっかりと対応はしていきたいと思えます。

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案の関係部分に関する質疑を終わります。これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で財政課の質疑を終わります。

税務課

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。質疑に入ります。

質疑はありませんか。木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。12 ページ、法人市民税なのですけども、令和4年に1億7,667万5,000円の増額になっております。予算附属説明書の3ページには企業業績の堅調を見込むとありますが、ここでいう企業というのは主に大企業のことをいっているのか、中小企業をいっているのか教えてください。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 主にはやっぱりどうしても大企業になってくるのですが、市内の事業所全体の事業所の法人市民税の業績のほうが、業績がいいから法人市民税も伸びが出ているというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

同じ附属説明書の3ページなのですけども、法人市民税のところは企業業績の堅調を見込むため、先ほどこれコロナという言葉があったのですが、けれども、地方消費税交付金のところには社会情勢見込みによる増というふうになっているのですけれども、これもやはりどちらコロナウイルスの収束に伴い経済の向上を見込んでということによろしいでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。税務課長。

○税務課長 地方消費税交付金の見込みにつきましては、財政課のほうでやっておりますので、差し控えさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。その企業の堅調ということなのですけども、昨今ロシアがウクライナに軍事侵攻しまして、株価が急落、世界経済に激震が走っております。原油とか作物が高騰しており、現在この状況から税務額に影響があるというお考えはありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 きっと出てくると思うのですが、この予算算定の段階ではそういう状況もなかったもので、この予算の中にはそこは盛り込んでおりません。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

続いて、118 ページの管理納税費なのですけども、委託のところなのですけども、令和3年度から250万8,000円の増額、約1.7倍になっておりま

す。コンビニやスマートフォン決済で済まされることができるとは市民サービスのためにはとてもいいことだと思っておりますが、今後このような決済が世の中に定着していくと思うのですけれども、こちらの委託料は増額していくと思われま。それについてはどのようにお考えでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 今おっしゃられるコンビニとかスマートフォンとかクレジットカード、クレジットカードはちょっと違うのですけれども、手数料が決まっているのです。件数が伸びていけば、委託についてはこのままの定額になっていますので、金額の増額は少ないです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） これは、今の金額の増額がないということは件数が多くなっても一律ということになるのですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 コンビニ収納委託のほうは、暫時休憩お願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。税務課長。

○税務課長 件数がすごく伸びれば金額も増えていくことも考えられるのですが、件数が1件当たり十何円とか20円とかそんな世界ですので、とても増額にはならないというふうに見込んでおります。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。

14 ページ、市のたばこ税なのですけれども、今たばこ自体徐々に値上がりをしております。その中で喫煙をやめる方も多くなってきているのだと思うのですけれども、予算としては大体横ばいになっているように思われるのですけれども、今後市としてはたばこ税の見直しについてはどういうふうに行われているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 木村委員おっしゃるように、売上げ本数は減っております。ただ、3年度の実績で見ても、歳入となる税額自体は減っていないのです。税率のほうのやっぱり修正が国のほうがやっていますので、ですので同額というふうに見込んでおります。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。ほかにご質疑は。杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いします。119 ページです。先ほど木村委員のほうに質疑しておりましたスマホの決済委託ということで、額はあまり変わらないよというお話だったのですが、昨年度のもの当初予算を、本年度ですね、当初予算見ると3万9,000円で、次年度は25万ということでやっぱり増えてお

りますが、ちょっとそここのところの、増えないよって話だったものですから、ちょっと詳細をお聞かせいただけるとありがたいです。

(「暫時休憩お願いします」の声あり)

- 委員長 (三富美代子) 暫時休憩いたします。
- 委員長 (三富美代子) 再開いたします。税務課長。
- 税務課長 ちょっと訂正のほうさせていただきたいと思います。今、杉山委員のほうからおっしゃられたように金額のほうは伸びておりますので、これ件数当たり幾らというふうな数字ですので、今回ある程度伸びを、利用率の伸びを見込んで今回の予算とさせていただきました。
- 委員長 (三富美代子) 杉山委員。
- 委員 (杉山茂規) 分かりました。ありがとうございます。

次、お願いします。滞納整理機構のページなので、119 ページ、同じページですね。先ほどの税の概要というか、あの中では市民税につきましてはちょっと減っているよと、法人税のほうに関しまして、個人のほう、個人市民税に関しては減っている、法人市民税に関しては回復基調にある、コロナの回復基調にあって増えていくよということでした。一方で、滞納整理機構のほうに出していますお金を徴収するというふうな業務につきましては、多分短期的なずれというものが生じてくるのかなんてこと思っているのですけれども、その辺については次年度どんな形で推移するというか、なっていくのかって予想につきまして、ありましたらお願いします。

(「委員長、暫時休憩お願いします」の声あり)

- 委員長 (三富美代子) 暫時休憩いたします。
- 委員長 (三富美代子) 再開いたします。税務課長。
- 税務課長 この地方税滞納整理機構に委託、委託というか依頼して滞納処分をしてもらっているのが今まで 10 件だったのです。ちょっと前から 20 件に増やして、その代わり負担金は増えているのですが、こちらのほうではちょっとなかなかその処理できない、しにくいような事案について対応していただいております。特別に、では 4 年度何かということはないのですけれども、引き続き 3 年度と同様な形で依頼のほうをしていきたいと思っております。
- 委員長 (三富美代子) 杉山委員。
- 委員 (杉山茂規) 分かりました。依頼のほうしていくということで、コロナの回復基調にあるということとの関連性というか、そこに影響を及ぼされるみたいなものはありますでしょうか。考えていますでしょうか。
- 委員長 (三富美代子) 税務課長。
- 税務課長 特別に大きく影響しているのかというと、私どもの徴収対策係でもやっている滞納処分について、そんなに影響はないのかなというふうに考

えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。ありがとうございます。

また、別の話です。ふるさと納税の規模が拡大する中で、ふるさと納税控除分について、当市に影響を与えているかと思うのですけれども、次年度につきましてはどのような予想というか想定をされていますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 控除額は増えていくのではないかと思われますが、具体的に、ではどのぐらいというふうなのは見込めていません。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 見込めていないということで分かりました。そのような中でそのような増えていくよと想定の中で、税務課としてほかの他課のほうも含めてなのですけれども、何かそれについての対策というか、対策といっても難しいですよね。何か指示というか、何かそういった相談みたいなものってあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 税務課としては、どちらかというとその税の控除額を粛々と計算しなければならぬ部署になりますので、例えば広報とか何とかというふうなことは考えていません。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。杉山委員。

○委員（杉山茂規） また、税の、課税する側の立場でいらっしゃると思うのですけれども、課税サイドから見た、どのあたりの税のところに期待をしているかというか、どこかのところが伸びて行ってほしいであったり、そういうふうなものについてはどんな感じで考えていらっしゃいますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 固定資産税については、やはり名前のとおり固定された税額となっております。ですので、あまりその大きな増減というのはないのですが、やはり一番変動制があるのが、もう一個の大きい税目であります個人市民税ですので、そこについては少しずつでも伸びていっていただければいいなというふうには考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

また、企業の立地ということに関しましては、トヨタのウーブン・シティが入ってくるかと思うのですけれども、今後どの形、どの種目というか、固定資産税の建物なのか土地なのか設備なのか様々あると思うのですけれども、

どんなところに期待をしているかとかというのは、課としてありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 まだ本当に不透明なところが多過ぎて、どういうふうな固定資産価値のものができてくるのかというのも分からないのですが、ざっと考えている中では償却資産、これとあと家屋、ここら辺は明らかに伸びるのではないかなというふうに思っております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） まだ不透明なところということで、具体的な数字なんていうのまだ全然全くゼロベースですよ。イメージだけで。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい、そうです。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 121 ページお願いします。先ほど不動産、評価替えということで話あったのですけれども、この航空写真の委託、1,400 万円ということなのですが、さっき県のほうから 950 万円ぐらい入って、長泉と清水町で 160 万円の負担金と。その長泉と清水町と負担の決め方というのはどんな感じで決まっておりますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 市内の面積、面積割になっています。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、約 1,400 万円から助成金を引いて、その残った中を面積で案分しているということによろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい、そうです。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それでは、お願いします。12 ページの固定資産税のところなのですが、そろそろ北部のミライエートですか、あちらの固定資産税の効果が生まれると思うのですが、それは今回のこの予算にどのように反映されているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 明確には申しあげないのですが、一千何百万ぐらいの増額を見込んでおります。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） その件は分かりました。

あと、その上のところで滞納繰越分が 2,812 万 9,000 円ですか、令和 3 年

度に比べて数字の伸びがあるのですけれども、これもう少し詳しく説明してください。ごめんなさい。12ページの滞納繰越分です。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。税務課長。

○税務課長 この滞納繰越の金額につきましては、全税目なのですけれども、一応今までの5年平均を算定して計上しております。ですので、去年と今年でどれだけ違うかというふうな数字はまだ出ないので、5年平均でさせていただいているのが結果的に増額となっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 滞納整理に関してなののですけれども……

○委員長（三富美代子） 内藤委員、もう少しマイクを。

○委員（内藤法子） 滞納整理に関してなののですけれども、滞納整理機構に職員を派遣しているのですけれども、税収が減っている中で滞納整理ってとても大切だと思うのですけれども、これ今後の見通しというか、今まで以上にこれに取り組もうとかというような話はなかったですか、この予算の中には。

（「委員長、暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。税務課長。

○税務課長 特別に何か新しいことができるかというのは、あまりないのですけれども、一応4年度予定しているのが、県の財務事務所、おととしもやったのですけれども、財務事務所の職員にまた短期派遣していただいて、また徴収対策に対するアドバイスなんかももらおうかなというようなことを4年度は考えています。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 今その部分はどこか予算にちゃんと反映されているって考えていいのですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 予算はかからないので。本当に例えば旅費なんかが発生したら、それはこちらのほうでやるのですけれども、基本的には県の予算で全部こちらに来ていただけるという話になっておりますので。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） とてもいいことだと思うので進めてください。

あと、119ページの委託料のところ、今後スマートフォンとかそういったものを利用した納税が増えていくと思うのです。この関係の、デジタル推進と関係するとするのですけれども、たくさんの方が利用できるように推進するというのには連携を取って何か話をしていることありますか。

- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 デジタルトランスフォーメーションとかちょっとそこら辺とかまで全然連携は取れていないのですが、市民への周知としては納税通知でそういうスマホ決済とかもできますよというふうな案内は昨年度からやるようになりましたので、ご案内差し上げているところです。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 税務課だけの話ではないと思うのですけれども、これからやっぱりそういうものをどんどん利用してほしいので、使えるというか、市民の人が使えるようにという施策も連携して考えていかないといけないと思うのですけれども、その点についてはどうですか。課を超えて話をするとか。
- 委員長（三富美代子） 総務部長。
- 総務部長 これ昨年ですけれども、スマホ決済を入れるときには庁内で横に話をしまして、税以外の科目でもできるものについては対応しておりますので、もちろんそういうことにつきましては積極的に話をしております。また、今現在2社でしかできないのですけれども、これ使っているシステムの関係ございますので、何かところで決済種目が増えるようであれば対応していくということになると思いますけれども、基本的にはこれ市税だけではなくて、ほかのものもやっておりますので、横展開というのは意識して進めております。以上です。

（「分かりました。終わります」の声あり）

- 委員長（三富美代子） ほかに。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いいたします。市民税のところ、先ほど委員からも質疑ありましたふるさと納税の控除額というのは、この中には含まれていない試算になっていませんか。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。税務課長。
- 税務課長 すみません。ふるさと納税の控除額は、例年と横ばいなのですが、控除されるものとして一応算定しております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 了解しました。ちょっと暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 滞納整理機構の件です。ページだと 119 ページですね。

先ほど 20 件の依頼をするということでしたけれども、税額としてもどの項目を滞納整理機構に送るというのはもう決定していますか。

（「委員長、暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。税務課長。
- 税務課長 今最終の対象者について絞っているところです。まだ、だから決定はしていません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 20 件、大体どのぐらいの金額のものになりますか。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 基本的にやはりメインは大口の滞納者を送る前提でいますので、相当な金額になります。単純に 100 万掛ける 20 とか、そういうふうな形にはなってきます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 滞納整理機構に職員を派遣を、これたしか 2 年だったと思うのですが、それも今回 2 回目になるかと思います。職員が今 1 年たっていますけれども、その滞納整理のノウハウのようなものを市のほうに定期的に何か報告のような形でもらって、4 年度また滞納整理を税務課がするノウハウに役立てるような考えってありますか。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 どこに派遣されている職員もやっているのですが、月に 1 回自分がやっている業務についての報告に来るのです。その際に今のところ正式な勉強会みたいな形ではやっていないのですが、大体半日ぐらいいてくれるので、自分が 1 か月やってきたことをまずは私とか専門監に報告してもらって、あとその残りの時間を一緒にいる職員に、雑談的な部分もあることはあるのですけれども、一応そのノウハウなんかの報告もしてくれています。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ぜひ積極的にいろいろな情報をいただきながら、役立てていただきたいと思います。
それらも含めてですけれども、第 5 次総合計画の成果指標として目標値、税の徴収率、97.8%というのを掲げています。裾野市は、比較的徴収率が高いほうになりますけれども、この目標を達成するために、確実に達成するために取り組んでいくことってありますか。
- 委員長（三富美代子） 税務課長。
- 税務課長 一番やはり大事なものは、対応する職員のスキルなのかなと思っています。そこは、先ほどの滞納整理機構に派遣されている職員なんかも含め

て、一人一人のスキルを上げていってもらって、滞納処分のほうの実施をしてもらいたいなというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） まさにそのとおりだと思いますけれども、職員のスキルアップに関しては、何か取組をされる予定ですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 3年度はちょっとコロナの関係で全然なかったのですが、県や滞納整理機構なんかで研修をやってくれます。そういうのには積極的に参加させて、一人一人の知識とかそういうものを向上できればなというふうには考えております。

○委員長（三富美代子） ほかにありますか。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 個人市民税のところですが、この金額の減の理由が特別徴収義務者数の減少ということでしたけれども、これは事業所に働く人が減ったというような原因なのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい、そうです。特別徴収で働いて、市県民税納めていただいている方が減っております。その方々が普通徴収に変わっているという部分がありまして、やはりちょっと減額になっているというふうに見込んでおります。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 普通徴収に変わっているということは、退職してとかってそういう意味合いですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい。職が替わって、普通徴収に変わられているという方がかなりいらっしゃるのかなというふうに推定しております。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでも全体に減額というのは、やっぱり今の現状での裾野の人口の推定からすると、この状態は減額が続いていくというふうなことが言えるということですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 ここから先がどういうふうに普通徴収と特別徴収の該当者が変わっていくのか分からないのですが、取りあえずこの4年度の算定の段階では明らかに特別徴収義務者が減るということは、ある程度の収入のあった方が転職をされるというふうなことになると思います。そうなってくると、どうしても特別徴収のときの収入というのは確保できない方が多いのかなというふうに思う中で、理由として、特別徴収が減って普通徴収が増えるの

かなというふうな理由とさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 一番のこの大きな原因というのはどのように、こういう数字で、数字の減として表れた一番大きな原因としてはどういう状況だからというふうに捉えられているのですか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 多分ご想像になられていると思うのですが、あまり個別具体的な話になってするのはうまくないと思いますので、あえてこういうふうな形の表現にさせていただきます。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 固定資産税に関してです。間違えて行政課のところで言ってしまったもので、何か皆さん質問されなかったのですが、家屋と償却資産の減額特例措置が適用されないという、この適用されないという意味はどういうことなのでしょう。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 コロナの関係の減免なのですけれども、それが3年度で終わったのです。ですので、4年度はありませんので、その分が増額になるのかなというふうに見込んでおります。

○委員（岡本和枝） そういうことですか。分かりました。何かペナルティーでもかけられたかと。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。勝又委員。

○委員（勝又利裕） 予算附属説明書の3ページのところですが、都市計画税の部分ですが、ミライエート御宿土地区画整理事業の宅地、市街化編入、宅地化にされているけれども、それは見込んでいるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 はい、見込んでおります。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 了解です。

もう一点、償却資産が1億4,000万ばかり、当初予算ベースでいくと増えているのだけれども、この主な原因というのはいかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 税務課長。

○税務課長 毎年11社のいわゆる大手というふうに考えている企業に、償却資産の申告の見込みをいただいております。その中でその報告をいただいた中で算定して、増額というふうな見込みとなっております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 了解です。

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で税務課の質疑を終わります。

人事課

- 委員長（三富美代子） 人事課長の説明は終わりました。
次に、質疑に入ります。質疑はありませんか。杉山委員。
- 委員（杉山茂規） お願いします。最後に説明のありましたページ、338 ページをお願いします。以前から課題になっています時間外勤務の手当なのですが、昨年度は選挙があるよということで説明があって増えているということでした。本年度も同じく3本の選挙があるよということなのですが、その中でも今回大きく減という形で示されております。具体的にどんな形で減に結びついているのか、そのこのところをお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 時間外につきましては、目標値としまして計上しております。
暫時休憩お願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 目標値を計上しているということだったのですが、その目標値はどのようにして算出されているか、その算出の仕方をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 前年度、本年度の実績見込みに基づいて積算しております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 実績見込みに基づいてどのような形の計算をすると、そのような数値が出るのか、課として目指す数値であるのか、各担当課からここまで行けるといふもので出てきているのか、その辺の詳細をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 減額分につきましては、選挙の手当の数字となっております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 選挙の手当ということでは理解いたしました。
一方で、次年度も3つ選挙があります。本年度と同じなのですが、それでも選挙の分でそのように減になるということで解釈でよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。

- 人事課長 そのとおりでございます。暫時休憩いたします
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。部長。
- 総務部長 選挙につきましては、数は3個と2個なのですが、県会議員選挙につきましては、選挙実施が令和5年度になりますので、時間外とするとほとんど影響がないものと考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） では、須山の支所の管理費の寄附金というところでお伺いしたいのですが、そもそもその寄附金はどのような形で、寄附をいただいているものなのかの根拠のところをお願いします。位置づけのところ。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 須山支所には職員が配置してございます。そちらの職員の人件費に充当するという形で、寄附をいただいているということです。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） ということは、富岡支所も支所があるので、富岡の地区から寄附をいただいているという解釈をできるのですけれども、そういうイメージでいいのですか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 富岡のほうからの寄附はございません。暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 須山につきましては、地区振興の仕事を行っている関係上、振興会から寄附をいただいているということです。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 支所に限らないのですけれども、市内の各課のところにおきまして、同様に地域の事務を担っているところというものにつきましては、把握をしていますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 地区等の業務に関わることを市役所の各部署でやっているかにつきましては、全ては把握ではございませんけれども、各種団体の事務をやっているという部署があることは承知しております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 各種団体の事務につきましては、市の本来業務というところ

ころに含まれるものなのか、あるいはちょっとサービスのつか、困っているのを助けているという位置づけになるのか、そここのところにつきまして、それをベースに今後様々費用負担の面とか検討するというふうな考えは、調査も含めてですけれども、ありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 成り立ちはそれぞれ違うかと思ひます。私も全て掌握していませんけれども、市役所の業務として必要としてその団体を持っているケースもあれば、そうではないケースもあろうかと思ひます。それについて人事課のほうで調査、把握等をするという予定はございません。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 別のところでは。定数管理の部分になるのですけれども、市長の施政方針の中だと思ひますが、定員の基準という表現をしていたのですけれども、市長が踏み込んでいくよというふうなお話がありました。一方で、外部委託ということでアウトソーシングすることによりまして、本来必要であった部分が余剰人員というふうに発生するかと思ひますけれども、次年度どのような形でその辺の検討、考え方、進めていくのかというものを伺ひたいです。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 1個は、組織の改編はそれに当たるのかなというふうに思ひます、定員の部分では。ただ、具体的に現時点で市長のほうから具体的な命が出ているわけではございませんので、回答はここまでになりますけれども、そういう状況でござひます。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

あとは、人事制度改革の部分になるのですけれども、市民を守り市益をもたらす組織づくり、義務的経費の削減、もしくは優秀な人材を生かす、成長を促す人事制度改革ということで、市長のほうでうたわれておりますけれども、人事課としては、その辺につきまして具体的に進めていく考え方等はありませんでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 既に取り組んでいる部分で言ひますと、人事評価制度があろうかと思ひます。1個ではこの制度を推進することによって、人事考課というか、制度が充実するものと考えておりますから、そういうものでは引き続き進めていきたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。人事評価制度以外のところについては、

今後検討しながら取り組んでいくよって解釈でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 具体的に市長のほうから、指示があれば対応するというふうになると思いますけれども、現在のところ施政方針に対するところに対してのは具体的なところは、今のところはまだないという状況でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

あと、行財政構造改革の取組の中にちょっと記載があったのですが、管理職手当の削減について取り組んでいくよみたいなことが書かれていますけれども、それは具体的にどんな形で進めていくものかお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 R4年の当初ですけれども、5%削減という形で実施をしていきます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） その後のほかのところへの進め方、波及というか、ほかのところで行き届くよみたいなものにつきましての検討というか、予定はそういうものはあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 具体的な指示は、現在のところございませんけれども、施政方針、先ほど議員さんおっしゃるとおり、その他のものにもということ言及しておりますので、それについては今後指示あるのかなというようなどころではないかと思いますが、ちょっと具体的にないので、今できる回答はそのような状況ですと。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 基本的に考え方で伺いたいのですが、指示がないと動けないものなのか、指示がなくてもどんどんやるべきなものなのか、その辺のことの捉え方につきまして、考え方をお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 1個は、第2期構造改革の計画がございます。そちらに載っているものについては、言動しなければいけないのだろうというふうには考えております。ただし、それは検討の方向性がございますので、具体的にその辺がどうなるのかなということ、やり方だったり内容であったりございますから、その辺が指示ということです。あくまでも構造改革というのは第2次構造計画に基づいて行うものというふうには考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。ありがとうございました。

- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） それでは、今引き続き、杉山委員が聞いたところで引き続き伺います。
市長の施政方針にそれぞれ出ました各種手当てを見直すということで、既にこの 338 ページの給与明細の中の職員手当の内訳で出ているのですけれども、もう既にこの中に反映があるよというのはどれに当たりますか。今管理職手当が5%、それはこの中で反映しているということですよ。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 ちょっと暫時休憩お願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 この4月から取り組む取組としては、例えば通勤手当、管理職手当がございますけれども、予算上で言いますと管理職手当につきましては見込んでございます。通勤手当については計上されていない状況です。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 財政非常事態宣言が出たときに、市民の指摘でしたけれども、総務省のネット上の発表では、裾野市の職員の給料が高いと、県内で一番高いというご指摘あったのですけれども、そういう声を聞いて、この予算を反映するときになんか検討したこととかあるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 総人件費の抑制という部分でございますは、第2期の計画策定しましたので、外部評価委員会の意見も踏まえて、それに基づいて行っているということになります。それに基づいた今回の予算編成ということですので、金額につきましては引き続き継続のものもございまして、R4年度についてはこういう計上でさせてもらったということです。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 説明は分かりますけれども、市民感覚として財政非常事態宣言をした市が、県内で一番高いというのはいかかなものかという気持ちはよく理解できるのです。そうしたときにこういう声聞いて、県内でどれくらいのレベルがあればいいとお考えでいらっしゃるのか、お聞きしたいです。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 給与の適正化につきましては、どこかというのは非常に難しいところはございますけれども、県内の平均等ということで比準するのであれば、

そこが1つの見方、見え方ということはあるかなと思います。以上です。

- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） これまでは、やっぱり財政力指数とかも加味して給料も決まってきたと思うのですがけれども、財政力指数が高いときは市民の人もこれだけの財政力指数をやってくれている職員に対してはって寛容だったのですけれども、今のご答弁のようにやっぱり平均値というのは意識しないといけないということで、意識して進めていただけるといふふうに理解してもよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 給与の適正化については、非常に難しい部分ございますけれども、近隣の市というのは比較検討するには対象となることではあるとは考えております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） やっぱり給与というのは働く喜び……
- 委員長（三富美代子） 内藤委員、もう少しマイクを。
- 委員（内藤法子） 給与というのは働く喜びとかいろんなものにつながって、なかなか難しいのは理解できます。やっぱり職員も納得して、それから市民も納得するという、何か説明できる形で頑張っていたいただきたいと思います。これは意見です。
それでは、続きます。95 ページなのですけれども、まず、職員の研修費をこのところずっと削ってきているのですけれども、さらにまた半分に削ったということで、内部講師とか派遣をしないとかということで削っているのですけれども、職員のスキルアップでこの研修ってとても大切だと思うのです。費用がかからない方法を提示していただきましたが、さらにこういう工夫で職員を人材育成するのだということがありましたら、教えてください。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 職員研修につきましては、職員の能力開発であったり、職員のモチベーションであったり、人材育成であったり、個人のみならず組織としても大変必要なことだというふうに認識しております。本来的にはこれほど下げたくはなかつ……暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 内部講師の充実であったり、職員のOJTを、あとは派遣の執行

率を上げる工夫をしながら充実を図っていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 先ほど内部講師とかで実務の研修とかを重ねていくという説明がありました。実務のスキルをアップする中で、裾野市は改善の提案がすごく少ないと私は思っています。この実務のスキルアップする中で、この改善提案がたくさんできて、業務が改良していくという、そこまでを見据えて何か工夫はされていますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 改善という視点かどうかあれですけども、自主研修グループという制度がございます。そこが職員が自発的にやる内容ですけども、そこでいいアイデアですとか、そういうのが出てくればいいなどは思っていますけれども、そういうものにも助成しております。以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） いろんなことを考えて進めてほしいと思います。最近はオンラインの研修、私たちも活用しています。そういったことにも広げていただきたいと思います。あと、続けて……

○委員長（三富美代子） 内藤委員。別件ですね。

○委員（内藤法子） 別件です。職員の健康診断なのですけども、これメンタルヘルスと今は心の問題がとても私は大切に、課題となっていると思います。例年同じ程度で、メンタルヘルス委託は少し減ったのですか、金額が。この部分を長期休暇の方も職員もいると私は伺っております。この令和4年度に向けて、こういう方々が増やさない、そして回復するということを見込んでこの予算で大丈夫なのかどうか、確認したいと思います。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 今回この予算計上されているものは、法的に必要なものを計上させていただいているということになります。メンタルヘルスの対応につきまして、引き続きこれらの相談を活用しながら実施していきたいというふうには考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 財政が厳しいということで、法的なことを最低限だと私は思うのですけれども、これ職員が健康で、心も体もですけども、働けるために何か横展開して各庁議とかいろんなところで進めている何か方策はありますか。フォローができていますとか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 暫時休憩いたします。

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 メンタルヘルスにつきましては、まず身近な職場が重要かと思えますので、人事評価制度の活用ですとか、また人事課の周知等を踏まえまして、対策をしていきたいというふうに考えております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 最後に、ちょっとその需用費の一般消耗品費が、これ作業服というふうに先ほど説明がありました。この作業服を買い替えるローテーションというのはいかか決まっているのですか。何年ごととか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 物によってはございます。以上です。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 定まったローテーションで購入しているということですが、けれども、例えば予算の範囲の中で我慢せざるを得ないとか、そういうことは発生していないかどうか、確認させてください。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 現状におきましては、最小限の対応となっております、破損等で使えなくなったものを中心に買換えをしているという状況です。また、あと新規に必要なものと破損がひどいものについて、交換しているという状況です。
- 委員長（三富美代子） ほかにありますでしょうか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いいたします。市長が替わられまして、市長が市役所の改革であったり、職員の意識改革というのを掲げております。昨年人事育成基本方針や推進計画が改定されましたけれども、その内容に市長が替わられたことで影響はありますか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 基本方針は大きな方針、流れを示したものかというふうに考えております。一方、市長が替わりまして、もしそこに方向性が修正必要なものがあれば、そういうようなお話があるのかなと思いますけれども、具体的に4年度に修正をするかということだと、今の時点ではその計画はございません。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 現段階では市長から、人材育成に対する指示は特にないということですか。

- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この人材育成方針に掲げている3つの方策の柱の部分について、少し確認をさせていただきます。先ほどの職員研修の件、内製化ということでお話、内部講師ということでお話がありましたけれども、専門研修の中に掲げているデジタルデータ利活用推進研修、これも来年度は何か実施していく予定がありますか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 具体的に、そこはまだ決めていることはございません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） SDCCとか、スマート自治体を目指す中では、デジタル関係の研修というのはこれから必須になるのではないかなと思っているのですが、内部で実施をしていくことは可能ですか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 実施は可能かと思えます。ただし、餅は餅屋ではないですけれども、主管課があろうかと思えます。そちらのほうと調整しながら行うことがいいのかなというふうに思えます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 338 ページ、給与費明細のところです。先ほど時間外についての質疑がございましたけれども、昨年の予算審査のときにこの時間外を減らしていくための方策としたら、事務量をまず削減していくことと、所属長のマネジメントという部分が非常に大事だというお話しされておりました。令和4年度、各課に対して人事課からどのような指示を出していく予定でしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 時間外縮減については、特効薬が、バツてあるものでもないかとございます。引き続き同じ繰り返しですけれども、事務の効率化であったり、マネジメントということを言い続けるしかないのかなというふうには思っていますので、そういうことを取り組んでいきたいとは思っています。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 特に所属長に対するマネジメント研修のようなものというのは、実施していく予定ですか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 先ほど研修の中で触れましたけれども、管理職向けの研修という

ことを予定しておりますので、そこで少しマネジメントも触れていきたいかなとは考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 第5次総合計画の実施計画の中で、課題として挙げられている件について確認します。公務員の定年延長が令和5年度から始まるということです。令和4年度中にはその採用計画を立てていかなければいけないという課題があるというふうに記載がありました。そのものについての取組は、何か実施していく予定はありますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 令和4年度につきましては、制度設計がありますので、また議会のほうにもいろいろお願いすることはあろうかと思えます。いずれにしても、条例を含めてそういうものもありますし、5年度の採用計画に向けて4年度中に早い段階で検討していかなければならないというふうに思います。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ぜひよろしく願いいたします。

最後に、第5次総合計画の指標目標、市役所職員の方が市民の信頼度ということで、めざそう値70%というのを掲げています。これを達成するために来年度どのような取組をされますか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 職員のレベルアップと申しますか、そういう意味でやっぱり基本は人材育成の部分が大いのかかなと思っております。ですので、職員の成長につきましては、そちらのほうが政策的にそこに注力するのかなと思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 職員のスキルアップが、市民からの信頼度につながるという理解でよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 人事課長。

○人事課長 広義な意味ではそのとおりかと思えます。暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。ほかにご質疑はありますか。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 95 ページです。人事管理事務費の中で、昨年度非常勤職員の公務災害補償負担金100万円載っていますけれども、昨年度たしか一般の地方公務員との補償の違いが労災がないという、労災補償がないようなお話があったと思うのですけれども、その違いというのはそういうことなのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 昨年の説明がもしそのように聞こえたら、ちょっと正しくないようなところあります。常勤職員も会計年度任用職員も仕事上負傷を負った場合には公務災害だったり労災の適用にはなるということです。ただし、入っている保険とといいますか、によって種別が違うと言ったらいいですか、そういうような形になろうかと思えます。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） この非常勤職員、この場合の非常勤職員というのは会計年度職員は含まれない、本当の非常勤の市民の方たちがよくいろんな仕事を受けながら非常勤として仕事をするって、そういう形の非常勤の方が対象ということですか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 そういう方も入っているし、会計年度任用職員も一部入っているものもございます。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、それに対して労災というか、そういう補償を充実したものにするための策というようなものというのは、市のほうで考えられるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 これは、あくまでも不幸にもそういう災害になった場合に補償してくれる団体への負担金になっております。ですから、暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。
- 人事課長 この負担金以上に何か補償をというご質問の内容であるのに対しては、その考えは今のところございません。以上です。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） そういう事故あるなしにかかわらず、やっぱりしっかり補償していくということでは、ぜひ条例化と、何かそういう方向をぜひ目指していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。
- 委員長（三富美代子） これは、負担金の当初予算の審査なので、ちょっと言い方をまた変更していただいて。
- 委員（岡本和枝） それでは、この負担金に基づいて、やっぱり救われない、補償されない部分に対して、他の手だてを考える、これから他の手だてを考えるというお考えはありませんか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。

- 人事課長 非常勤、常勤にかかわらず、これ以外の補償について何かを手当とするという考えについては、今のところそういう考えはございません。以上です。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） これは、質問というよりちょっと意見に近くなってしまうのですが、職員の給与に関して市民が高いから減らせとかという意見ばかりではなくて、やっぱり公務員として必要な給与、それが一般的に見て高かろうが低かろうがそれは関係なく、とにかくしっかり仕事してほしいという意見も確実にありますので、先ほど課長のおっしゃったような方向性で頑張っていたきたいなというふうに思います。
- 委員長（三富美代子） 意見でよろしいですか。
- 委員（岡本和枝） はい、意見です。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） すみません。採用試験の方法ですけれども、従来からやっている方法があるのですけれども、令和4年度について何か変更する予定はあるのかないのか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 現時点では大きな変更はないです。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 研修費が大分減っていて、先ほども委員から出ていたのですけれども、手当も減らす、研修も減らす、どうしても内向きになってしまうものですから、何か外向きの目を、姿勢を与えてやらなければいけないというところで、研修は研修で頑張っていたきたいのですけれども、県との人事交流という制度があると思うのですけれども、そういう職員を同じ費用で外へ出してやらせていく、仕事をさせてくるとか、そういうのを令和4年度は増やすとか、そういう予定はありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 人事課長。
- 人事課長 来年度につきましても、県との交流は実施する予定ではおります。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） どうしても内向きになってしまうものですから、なるべく外向きの目線を持たせてやる、職員のモチベーションを維持させる部分で、いろいろ人事サイドとして考えがあると思いますので、ぜひその辺はやっていただきたい。もう一点いいですか。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 338 ページの一般職の人数が、先ほどちょっと説明がありましたけれども、前年度の当初予算ベースでいくと7人少ないのですけれど

も、なっていますよね。これは予算を組んだ後に普通退職がいろいろあったって話だけれども、実人数だと令和3年度ベースのスタート時点と、令和4年度スタート時点と326とほぼ変わらないのでしょうか。

（「暫時休憩お願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。人事課長。

○人事課長 本年度の予算の326につきましては、これ予算編成時においての実人数積算していますので、この後に予期せぬ退職等がなければそのままの人数でというふうにはなろうかと思えます。

（「委員長、休憩してください」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。ほかにご質疑は。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で人事課の質疑を終わります。

人事課（答弁訂正）

○委員長（三富美代子） 初めに、人事課長より発言の訂正の申出がありましたので、これを許します。人事課長。

○人事課長 先ほどの説明で訂正がございますので、させていただきたいと思えます。

1点ですけれども、職員研修費のところの説明におきまして、私令和3年度の研修につきましてはと説明しましたが、令和4年度という形ですので、お願いします。

もう一点が、職員構成比のところ、前年度の予算額に対しての減額の金額を40万と説明しましたがけれども、予算書記載どおり70万円という形になりますので、訂正のほどよろしく願いいたします。すみませんでした。

以上です。

○委員長（三富美代子） 以上2点の訂正の件、ご了承願います。よろしいで

しょうか。

(「はい」の声あり)

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

行政課

- 委員長（三富美代子） 質疑に入ります。質疑はありませんか。木村委員。
- 委員（木村典由） お願いします。102 ページの車両管理費についてなのですが、けれども、令和4年の予算で令和3年度から若干減っていますが、これは車両の台数の減少によるものなのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 台数の減少も含めまして、維持管理費削減いたしまして、削減したものでございます。以上です。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。令和3年度の廃車及び購入台数を教えていただけますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 確認。令和3年度ですか。暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。木村委員。
- 委員（木村典由） 令和4年度の廃車及び購入台数の予定を教えてください。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 廃車予定台数は、4台を廃車予定でございます。新車の更新は、現在停止をしておりますので、購入予定はゼロ台でございます。以上です。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 現在市が所有している車の今日現在の台数、教えてください。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 市の所有する全ての台数でいきますと、今年度124台に現在なつて、123台ですね、失礼いたしました。昨年度の末が124台で、本年度中に1台減少しましたので、123台でございます。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） その中に、リースで所有している車というのはありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。行政課長。
- 行政課長 現在手元にリースの台数の詳細がございませんので、調べましてご報告させていただきます。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。今後リースにしていく計画というのはありますでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 更新に当たって、リースにするかどうかは、検討していくことで考えております。今後次世代車等の更新が必要になった場合について、一気に更新をかける場合についてはリース等も有効な場合があるかと考えておりますので、それらを含めて今後考えてまいりたいと思っております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 令和2年度から、集中管理の台数を拡大を考えているということでしたけれども、現在集中管理ができている車は何台でしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 現在集中管理をしているのは30台になります。以上です。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 今後集中管理の拡大の予定というのはあるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 稼働状況を見まして、集中管理拡大等は検討してまいりたいと考えております。
- 委員長（三富美代子） ほかによろしいでしょうか。杉山委員。
- 委員（杉山茂規） お願いします。集中管理、公用車の関係ですけれども、30台、昨年10台分は削減が可能だよということで、本年度で2台売却の予定ということで説明がありました。先ほどの答弁の中でR3で1台しか減らしていないよということなのですからけれども、それは間違いないでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 本年度現在までに1台台数を削減しておるところですが、もう一台まだ削減ができていない状況です。年度ずれまして、来年度その分については削減して、来年度は合計4台を削減するというように考えてございます。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。
58、59ページのところです。18款1項の、18款2項ですね、有価証券の売払収入ということで、今回新たに科目設置が行われているのですが、有価証券を売却するようなことが計画されているということでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 これにつきましては、例年科目設置を行っておりますが、具体的なものは特段予定は現在のところございません。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） あと、市有財産の売却ということで、河川敷のところの売払いということで説明があったかと思えます。それ以外の市有財産の売却予定、例えば公文名のところもそうなのですが、予定につきましてどんな形

で進めていくかの方向性、考え方をお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 ほかの遊休の土地につきましては、ファシリティマネジメントの P T のほうで検討いたしまして、処分できるものにつきましては、積極的に処分を図っていきたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 積極的にということになりました。P T のほうでやっていくということなのですけれども、その P T と行政課の関わりにつきましては、どのような感じで関わり合いを進めていくおつもりでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 P T のほうに私のほうが参加しておりますので、その中で意見を述べさせてもらって、進めているという状況でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 次です。選挙のほうを担当されている課かと思えますけれども、デジタルトランスフォーメーション、DX のほう、選挙につきまして何か取り組んでいくみたいなの、そういったものにつきましてはお考えありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 現在のところ具体的に取り組むものはございませんが、今後につきましては、不在者投票につきましては電子申請等ができるように検討してまいりたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） ほかにご質疑は。内藤委員。

○委員（内藤法子） では、お願いします。杉山議員が質問した 58 ページの不動産売払収入 1,000 万円上げていますけれども、何かこの中で具体的に可能性のありそうなところってあるのですか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 こちらにつきましては、基本的には道路敷とか、河川敷、これについての売却を見込んだものでございます。それ以外につきましては、今後また研究を、内部で調整してまいりたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 先ほど道路敷と河川敷って、それは伺ったのですけれども、その中で具体的な候補地があるのかどうかというのを、この 1,000 万が実現する具体性があるのかって伺いました。具体的などこか。詳細はいいのですけれども、具体的にあるかどうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 具体的なものにつきましては、積算してございませんで、これに

つきましては概算で計上させていただいているところでございます。

(「休憩願います」の声あり)

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。ほかには。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 91 ページのところ、委託料のところでしたっけ、平和教育と本物を触れ合う教育と一緒にしたというご報告でした。コロナ禍で広島派遣は難しいというのは分かるのですけれども、平和教育と本物を触れ合う教育というのは全く私は、ちょっと似て非なる別物だと思っているのです。平和教育はやっぱり平和に特化したもので、本物に触れ合う教育はそれぞれの分野でプロとして活躍している人とか、そういう人に出会えるのを今までやってきたなって見ているのですけれども、この今まで狙いとした平和教育の特化した部分が薄れるのではないかって危惧しているので、それは議論に何かなりませんでしたでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 総務部長。
- 総務部長 こちらにつきましては、事業見直しの中で本物に触れ合う学習についても見直し対象でございました。その中で今までのパターンでいきますと、10人ぐらいで100万円使う話がありましたけれども、そうではなくて、やり方を変えてもっと効果あるものという話の中で、学校のほうで考えていただきまして、本物と触れ合う学習ということで、そちらのほうで中学校のほうで指定校がそういう教育もやっていくということでの予算の移替えになります。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 現場からの声を採用してということでしたら、分かりました。
それでは、選挙に関してなのですけれども、裾野市の投票率がもっともっと伸びる方向に何か、令和4年度選挙の年度が続きますけれども、続いた中で、何か予算を効果的に使って伸びる方法というのは何か検討されていますか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 特段新たな取組というのは今のところ考えてございませんが、こういった中でも投票率が低いのは若年層でございますので、若年層のほうに低い理由が、まず1点は大学生等が住民票を移転していないということがございますので、その辺の周知徹底、それから高校生とかについては、裾野高校と連携いたしまして、啓発活動を行ってまいりたいというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。

- 委員（内藤法子） 分かりました。若年層の投票率、本当に低いのですけれども、何か工夫して投票率上げる努力をしていただきたいと思います。
- 委員長（三富美代子） 別の質問でいいですか。
- 委員（内藤法子） 一旦ちょっとここで終わります。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いいたします。歳入の67ページです。少し、すみません。細かいことになるのですけれども、電気等使用料ということで多目的ホールの自動販売機、それから花麒麟の電気使用料ということでしたが、それぞれの詳細の内訳をお願いしてもよろしいですか。
- （「暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。行政課長。
- 行政課長 詳細につきましては、手元に資料ございません。申し訳ございません。改めて報告をさせていただきます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 花麒麟の場所については、負担いただいているのはこの電気代だけになりますか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 こちらにつきましては、電気料だけいただいている状況でございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 財政は非常に厳しい中で、あるものを有効に活用するという方法があると思います。花麒麟、週末土日は営業されていないということで、歳入確保する方法として、花麒麟さんと一緒に何か貸出しをするような何か歳入確保のための方策というのは、何か予算計上していく中で検討したことというのはございますか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 花麒麟を使って、歳入の向上について特段検討したことはございません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） あるものは積極的に使って、歳入確保につながっていくというのは考えていく必要があるのかなと思いますけれども、今後検討していく余地はありますか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 花麒麟のほうとの調整もございますので、研究してまいりたいと思っております。

- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件は分かりました。
それから、市有財産の売却、先ほど委員からも質疑がありましたけれども、実施計画の課題の中にも市有財産の有効活用を図って、未活用の土地の売却なども考えていきたいけれども、課題として公募売却には工夫が必要であるということが記載しています。令和4年度中公募していくに当たって、何か検討されていくことはありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 総務部長。
- 総務部長 先日3件の土地を売りました。主立ったものは今そのぐらいでして、特段大きな候補地は今のところ、なんとか成功したものですから、まとまった大きな売れる土地って今のところ持っていないもので、またその辺もしあるようでしたら、PTは出るかもしれませんが、今のところなんとか今年度売れたものですから、来年度大きなものについての予定はございません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほども委員からありましたけれども、公文名の土地等は売却については来年度考えていかない予定ですか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 ほかの遊休地につきましても、具体的にまだ販売方法等決まっておりますが、積極的に売却を進めてまいりたいというふうには考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件分かりました。
同じく実施計画の中からお聞きいたします。入札業務を担っている行政課ですけれども、一般入札の拡大の方法を検討していくというふうな記載がありますが、具体的にどのようなことを検討されていく予定でしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 随意契約等していたものについて、委託業務等がございますが、こういったものについても入札を検討してまいりたいというふうにございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 入札条件の再検討のようなものは、されていく予定ありますか。暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。行政課主幹。
- 行政課主幹 現在業務委託等は、指名競争入札が主になっておりますが、こ

れらを一般競争入札に拡大していくことによって、今お話にあったような差金なんていうのも発生する可能性はあろうかと思えます。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件は分かりました。ありがとうございます。

もう一点、歳出の部分です。89 ページになります。一般管理費の中の一般消耗品について、約 537 万ほど減額になっています。庁内備品なのだと思いますけれども、何か来年度工夫をされたということがあっての減額なのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 行政課長。

○行政課長 こちらにつきましては、一般の図書の追録を本年度途中から停止をいたしました。この金額かなり大きくて約 500 万円ほど削減することができました。以上でございます。

（「暫時休憩してください」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。

○委員（内藤法子） すみません。67 ページなのですけれども、自販機の設置料のところで、地下の3台分ってさっきおっしゃいました。令和3年度の予算のときも委員から意見が出ていたのですけれども、この歳入確保ということで各支所への展開はどうかという意見があったのですが、令和4年度もここだけで各支所への展開というのは考えなかったのですか。

○委員長（三富美代子） 行政課主幹。

○行政課主幹 こちらに掲載しておりますのは、市役所の地下のほうに設置しております自動販売機のものになります。各施設ともそれぞれで自動販売機の設置のほうは入札等しておりますので、それぞれの歳入になっております。以上です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） そうしますと、本庁が率先して設置しているのですけれども、そういう条件とかよりよい条件とかやっぱりあると思うのです。そういう情報交換とかはできているのですか、各支所。それぞれが別々に契約するともっといい契約の仕方があったとかあるかもしれなくて、そういう情報交換はできていますか。

○委員長（三富美代子） 行政課主幹。

○行政課主幹 担当課のほうで質疑等があれば、こちらのほうで話に応じております。特段初めてではないものについては、前と同じようにやったりもしますが、入札者が参加者がいなかった場合などについては、次の実施方法などについて協議をしたりしております。以上です。

- 委員長（三富美代子） それではよろしいようですか。岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、1点だけ。91 ページ、一般管理費の中の委託料の中で、個人情報取扱い業務、台帳整備委託とありますけれども、この委託内容はどのようなものなのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 法改正によりまして、法に準じた台帳を整備する必要がございますので、これにつきまして専門となる業者の支援をいただくものになっております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、単なる技術的に台帳の整備ということで、何か法改正の中で市民に何か影響があるような項目を含んでいるという問題はないですか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 法改正によりまして、一部それに準じた台帳が必要になっておりますので、取扱いが特段大きく変わるということではなくて、台帳整備とかなることについての支援委託になってございます。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） すみません。1点。期日前投票所を増やすとあって、そういう計画は考えているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 現在のところ期日前投票所の増設は考えてございません。現状あるものについて、十分周知をして活用してまいりたいと考えております。課題となるのがやはりシステム等をつなぐ必要があるということもございまして、コスト面等で、あと人の配置等もございまして、現状のものについて継続をしてまいりたいというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） そうすると、ある程度十分に検討済みということで解釈でよろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 行政課長。
- 行政課長 はい。これについては内部で検討して、現状のものについて十分活用していこうというふうに考えているところでございます。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） ありがとうございます。
- 委員長（三富美代子） 以上で質疑を終わります。
- 行政課長 申し訳ございません。1点訂正をお願いしたいです。
- 委員長（三富美代子） 訂正がありますので、これを許します。行政課長。

- 行政課長 私の説明の中で、集中管理の車両 30 台という形で説明をさせていただきましたが、年度当初は 30 台でございましたが、年度途中で 1 台廃車をいたしましたので、現状 29 台ということになってございます。訂正をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 委員の皆さん、よろしいでしょうか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） それでは、以上で質疑を終わります。
以上で第 1 号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第 1 号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第 1 号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で行政課の質疑を終わります。

行政課（答弁漏れ）

- 委員長（三富美代子） 初めに、行政課長より答弁漏れについて発言の申出がありましたので、これを許します。
行政課長。
- 行政課長 行政課から答弁漏れの 2 件についてご説明いたします。
まず、リースによる公用車の台数でございます。現在リースにより使用している車両は 9 台でございます。うち 1 台は本庁に配置し、7 台については水道事業会計及び下水道事業会計の管理でございます。そのほか 1 台については、美化センターの業務車両ということになってございます。
次に、歳入、22 款 4 項 2 目 1 節のうち雑入のうち、電気料使用料の 91 万円の内訳でございますが、カフェの花麒麟が 70 万円、地下の自動販売機が 10 万円、法務局が 4 万円、静岡銀行の A T M が 4 万円、その他 3 万円の電気料等を見込んでおる状況でございます。
以上です。
- 委員長（三富美代子） 行政課長の説明は終わりました。
委員の皆さん、よろしいでしょうか。
（「はい」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で答弁漏れについてを終わります。
暫時休憩いたします。

検査監

- 委員長（三富美代子） 検査監の説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありませんか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。旅費に関しては、昨年と同額の計上がありました。これ下にあるそれぞれ負担金を出している協会での研修等だと思いますけれども、まずは今年度のちょっと確認させてください。今年度コロナで研修のほうは参加できましたか。
- 委員長（三富美代子） 検査監。
- 検査監 県下23市と東部ブロック会議とも、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために書面開催のみとなりまして、実際には行事としては会議のみとなっております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 令和4年度に対しても同じ旅費が計上されているわけですが、コロナが続く可能性も考えると、検査監としての技術の向上、スキルアップについては研修が必要だと思います。何か違う方策で研修を積もうというようなことは想定されていますか。
- 委員長（三富美代子） 検査監。
- 検査監 現時点で、まだそこまで意見交換とか、議論のほうはなされておられません。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 今のちょっと関連するのですが、検査員、検査監は検査監でいるのですが、検査員が何人かいると思うのです。その辺の検査に関する検査監の育成ではなくて、検査員の育成をどういうふうに令和4年度考えているかなというところをちょっと教えてください。
- 委員長（三富美代子） 検査監。
- 検査監 実際に検査員が2名おりますけれども、当然こういう実践を踏まえて経験値を上げるということは重要と思っております、その中で実際に検査員として幾つかの案件を打診して研修を行ってもらう予定ではあります。ただ、今年度に限ってはちょっと災害等もありまして、検査の実習というのですか、その辺を行えなかったのが実情です。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 実際に工事検査をやってもらっているとは思いますが、その件数を増やしていくとか、そういうことも考えていったらいかがでしょうかというところなのですが、いかがですか。
- 委員長（三富美代子） 検査監。
- 検査監 実際に必ず実践を積まないと駄目だということは承知しております

ので、件数は徐々にであっても経験値増やしていきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 以上で質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で検査監の所管の質疑を終わります。

以上で総務部関係の議案の質疑を終わります。

企画部

秘書課

- 委員長（三富美代子） 秘書課長の説明は終わりました。質疑に入ります。
質疑はありませんか。木村委員。
- 委員（木村典由） よろしくお願ひします。令和3年度の予算審査の中で、市長車の運転委託を令和3年度取りやめるといふ討論がありましたが、令和4年度については予算もついていないように思ひますけれども、どう考へておられますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 秘書課長。
- 秘書課長 引き続き、運転委託は行わない予定でございます。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） その理由として、コロナ禍で市長の公務の減少といふような内容だったと思ひますけれども、このコロナが例へば今年早い段階で収束していつて、市長の公務が多くなった場合でも運転手の委託は見送るといふことでよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 秘書課長。
- 秘書課長 議員さん、おっしゃるとおりでございます。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） では、ないといふこと、今年度に関しましてはもうないといふことでよろしいですね。
- 委員長（三富美代子） 秘書課長。
- 秘書課長 そのように考へております。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 18節の負補交があります。199万5,000円、昨年と同額ですけれども、市長会のように市長が替わっても当然参加をするといふ会議とかいろいろあると思ひますけれども、市長が替わったときにいろいろな会議にそのまま引き続き参加するのか、それとも参加をしないとか、何かそのようなことといふのは発生するのですか。
- 委員長（三富美代子） 秘書課長。
- 秘書課長 こちらのほうの負担金等につきましては、市長として、副市長もありますけれども、市長として出席しなければいけないようなものについての負担金でございます。以上です。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） この中で、前にも私は問題にしたのですが、教育再生首長会議の負担金といふのがありますけれども、これは全て全国の市長が参加といふことではなく、任意の参加みたいになっていると思ひますけれども、

内容的なところでも特定の教科書を推し進めようみたいな意図がある会議なのですけれども、そういうところに対して、新しい市長の意向を取って参加する、参加はしないみたいな、そういうことというのはされるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 確認をしておりません。

（「確認を、何ですか」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 実際にこの会議に静岡県下で参加をしているのは、裾野市とあと静岡市と浜松市の3市です。ですので、やっぱり市長が替わったことによって、政策的な考え方とかいろいろ違いもあることですし、その辺検討を、そのまま踏襲するということではなくて、ぜひその辺の確認をしていただいたほうがいいのかというふうに思うのですけれども、いかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 そのように考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。旅費の部分です。県内旅費は昨年から50万アップ、県外については20万減額ということになっておりますけれども、この算出の根拠を教えてください。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 こちらにつきましては、市長の公約の中に副市長が2人という形で出ております。そちらのほうと、あとはいろんなところに移動したいと、市長のほうのお考えがありまして、副市長2人制度、それとあと職員もつかなければならぬものですから、いろんなところに出て歩くということで、いろんなところへ打合せ等、いろんなところに出て歩くということで計上してございます。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 県内を基本多く見ているのですけれども、何かそこは理由があるのですか。

○委員長（三富美代子） 秘書課長。

○秘書課長 市長から特に指示は受けておりません。ただ、こちらのほうでそういう形ではないかということで、取りあえず県内の旅費として副市長2人、精力的に活動したいということなものですから、金額を乗せてございます。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

- 委員（賀茂博美） 予算として計上するに当たっては、どういった計算をした上でこの金額になっていらっしゃるのですか。暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。秘書課長。
- 秘書課長 県内の旅費としましては、特別職3名、県庁、もしくは各市町、また企業等への訪問を精力的に活動したいという意向であります。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 市長のトップセールスを積極的に行うということもおっしゃっています。それに合わせた予算計上だということによろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 秘書課長。
- 秘書課長 そのとおりでございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 逆に、市民の意見を市長が聞くような機会というのは何か考えていらっしゃいますか。
- 委員長（三富美代子） 秘書課長。
- 秘書課長 現在も市民の方は、情報提供いろいろあります。市長とはいつでも会えるような状態をつくっております。以上です。
- 委員長（三富美代子） それでは、よろしいですね。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で秘書課の質疑を終わります。

みらい政策課

- 委員長（三富美代子） みらい政策課長の説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。木村委員。
- 委員（木村典由） お願いします。105 ページです。市民意識調査について伺います。令和4年度の対象人数と対象年齢及び男女比、教えてください。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
- みらい政策課長 対象は1,000人で、例年と変わりありません。
それから、抽出でこれから男女比等々やりますが、おおむね例年どおりを予定しておりますけれども、今確定数字は出ておりません。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。令和元年と2年、回収率が約56%前後となっているようですが、令和3年度の回収率はどうだったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 すみません。暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
- みらい政策課長 令和3年度裾野市市民意識調査報告書でまとめておりますが、発送数が1,000票、有効回答数が565票、回収率としては56.5%となっております。ご参考までに、昨年度は56.8%でございました。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 毎年その上下があまりない中で、この数字というのは適正なのか、それとももう少し上げていきたいのか、いかがでしょうか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 統計学といいますか、これもいろいろ諸説あるのですが、的には数は足りているということで認識をしておりますが、担当課としてはこの数字に甘んじることなく、上げていく努力は必要であると考えております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。この調査で生かされている実績というか、があれば教えてください。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 こちらは市民意識調査が出来上がったときに、隣におります企画部長のほうから、満足度と重要度、この2点から市民の現状をっつか

りと踏まえまして、例えば実施計画等々の予算計上をするように、たしかに行財政構造改革の中ではあるのですが、こういったところもしっかり踏まえてするようにと。具体的にそれがどこに生かされているかというのはちょっとあれなのですけれども。そのような動きはしておると。

○委員長（三富美代子） 企画部長。

○企画部長 今そんな話ございましたけれども、考え方によって2種類実はあって、1つは全体的な総合政策の流れを把握するという考え方が1つと、もう一つ市民意識調査については個別の各事業、各課からこういったこと聞いてほしいという、そういったものを募集をして聞くということがございます。大きなくりの中の総合政策の話の中ではなかなかすぐに見えるものがないのですけれども、逆に小さい課でやっている部分については、例えば健康診断の関係であったり、そういったところはこの政策がいいのか悪いのかというのは把握ができるということがありますので、そういったところではいい状況になるのかなというふうに、こちらでは考えています。以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。それでは、令和4年度に向けての調査テーマの柱となるようなものがあれば、決まっていれば教えてください。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 市民意識調査につきましては、所管課は確かにみらい政策課でございますが、かける前に市内に柱となるようなテーマを募集をかけております。募集をかけて、うちのほうで選ぶということになっておりますので。また、年度替わりまして、新しくなりましたら、その作業を進めてまいりたいと、このように考えております。

○委員長（三富美代子） ほかにご質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。地域公共交通計画なのですけれども、どのようなスケジュールで作成をしていくかお願いいたします。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 3月の18日に裾野市地域公共交通活性化協議会、協議会のほう、本年度最後の協議会を開催する予定でございます。そのときに地域公共交通計画の概要と、ちょっとどこまで具体的なもので出せるか分かりませんが、おおむねのスケジュールは出したいと考えております。ちなみに、現時点で申し上げますと、パブリックコメント等の、すみません。暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。

○みらい政策課長 新しい計画に基づいて、バス路線を申請する必要がござい

ますので、おおむねR 5年の1月末を目途に完成をさせたいと、このように考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 市内循環路線バスということで、さっき 322 万 4,000 円あったと思うのですが、国の補助金自身も、先ほど今ご説明ありましたけれども、今度また新しい公共交通計画の中で申請していくと。それも実は期限が何年というような縛りがあるのですけれども、では、そうなった場合、市内の循環路線の、市内の循環路線のほうにつきましては何かしら考えていかなければならないということになるかと思うのですが、そちらにつきましてはどのようなスケジュールで考えていくか、その部分あればお願いします。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 現在の地域公共交通網形成計画においても、施策として幾つかのほうは出ているのですが、改正上位法につきましては何が改正されたかと申しますと、地域で使える力を総動員して公共交通ネットワークをつくりなさいと、このような考えになっておりますので、それに基づいた内容でまさにつくる地域公共交通計画、この中で……

○委員長（三富美代子） 簡潔にお願いいたします。

○みらい政策課長 記載のほうしていきたいと、このように考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 考え方につきましては、分かりました。

次年度におきまして、そちらも早めに多分取り組んでいかないと大変なのかななんて思うのですけれども、次年度を、その地域も含めた総動員の部分につきましては、どのような取組をされていく予定か、お伺いします。

○委員長（三富美代子） 企画部長。

○企画部長 地域公共交通活性化協議会、やはりこの会議でいろんなものを議論してつくっていく必要がございますので、まずはこの会議を主軸に進めていきたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。また決まりましたら、どんどん進めていただきたいと思います。別の件です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 地域活性化の企業人派遣事業ということで、先ほど予算はここに数字として載っているのですけれども、最短で6か月、最長3年ということでありました。今回の予算は6か月なのか、1年なのか、どのぐらいの期間で予算ということで計上されていますでしょうか。

- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
 - みらい政策課長 現時点においては、1年で考えております。
 - 委員長（三富美代子） 杉山委員。
 - 委員（杉山茂規） 1年ということで理解いたしました。1年でその方自身がいろいろと考えながら取り組んでいくということになると思うのですけれども、先ほどゼロカーボンアクションということに、ゼロカーボンアクション30という話も出ておりました。もう具体的な進め方というか、イメージというのは、公表は分からないのですけれども、しっかり固まっているようなイメージでよろしいのでしょうか。交渉中ではあると思うのですけれども。
 - 委員（内藤法子） みらい政策課長。
 - みらい政策課長 どちらかといいますと、具体的にがちっと固まっているわけではございません。
 - 委員長（三富美代子） 杉山委員。
 - 委員（杉山茂規） ということは、次年度様々調整をしながら進めていくことと思うのですけれども、実際に具体の事業がスタートするタイミングにつきましては、どのぐらいのタイミングからスタートしていくことになるのでしょうか。
 - 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
 - みらい政策課長 来られた方にはまず裾野市を理解していただこうと考えておりますので、これは全く何かに決まったものではないのですけれども、おおむね3か月から半年は必要かなと、期間として必要かなと考えております。
 - 委員長（三富美代子） ほかにご質疑は。内藤委員。
 - 委員（内藤法子） お願いします。105ページお願いします。公共交通期間の利用者補助事業負担金で650万、これ利用券だと思うのですけれども、これ積算をどのようにして積算したのか教えてください。
- （「委員長、暫時休憩願います」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
 - 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
 - みらい政策課長 予算の計上の仕方なののですけれども、R3年4月1日現在の、暫時休憩願います。
 - 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
 - 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
 - みらい政策課長 令和3年4月1日の70歳以上の人口を1万468人をベースに一定の割合を掛けまして、算出をさせていただいております。
 - 委員長（三富美代子） 内藤委員。
 - 委員（内藤法子） その割合は、どういう数字ですか。

- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 今まで使っていた実績がおおむね対象の10%でしたので、ただ10%は非常に怖いものですから、3割を見込んでおります。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） この3割という数字ですけれども、本来だったら使ってほしいではないですか。だから、そもそも3割と抑えるのではなくて、もっと使ってほしいという意識の下に予算立てできなかつたのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 はい。その辺の判断が非常に難しいところがございますが、あまり過大な予算も掛けられないということで、当然増えていただく分には必要な補正はしていきたいと考えております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） これまでの利用券の欠点なのですけれども、枚数制限がありました。よその自治体、沼津とか長泉ですと、例えば3,000円なら3,000円、1度に使えるというやり方もやっているのです。そういうことをすると、利便性の向上、市民サービスとすると、私は決して悪いことではないと思うのです。そうすると、3割ではなくてもっと市民に還元する、この辺は考えなかつたのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 やはり同様の内容のご質問もいただいたようなこともあるのですが、最終的にはバスを使っていたきたいと、恒久的に使っていたきたいということから、枚数制限のほうを設定させていただいております。
- 委員長（三富美代子） ちょっと暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 分かりました。
- それでは、ほかに行きます。57 ページで、権限移譲の交付金なのですけれども、権限移譲の交付金が100万ぐらい減っています。これ何が具体的に、令和2年の実績に基づいてということをおっしゃいました。どういうものが減ったのか教えてください。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 委員長、暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
- みらい政策課長 大きく落ちているのが窓口の件数、窓口業務の件数、コロナ禍ということで、人が来られたということで、その影響を受けて、窓口の件数が令和2年度落ちている、その実績が落ちているものですから、件数が

落ちていると。

- 委員長（三富美代子） よろしいですか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いいたします。先ほどの地域活性化企業人派遣事業の件です。105 ページ、カーボンニュートラルがメインに取り組んでいただく予定だということなのですけれども、今回は、今のみらい政策課、それから戦略推進課に替わるわけですけれども、そちらが所管をする理由というのは何かありますか。暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
- みらい政策課長 カーボンニュートラルに資する事業をメインで考えておりますが、そのほかの事業のことも考えまして、みらい政策課のほうを所管とさせていただきます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そして、今回の事業額 560 万ですけれども、先ほどの説明だと交付税措置だというお話でしたが、実際人が来ていただいて、人件費に充てる中ではこの 560 万をオーバーするということも考えられるということですか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
- みらい政策課長 市のほうでは 560 万を上限でお願いをしております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 同じく市民意識調査委託の件です。昨年予算審査のときにも少しお話しさせていただいたのですが、紙ベースでの郵送でのやり取りということを来年度も計画しているということによろしいですか。

（「ごめんなさい。委員長、暫時休憩願います」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。みらい政策課長。
- みらい政策課長 はい。やはり年代によりまして、いろいろご事情もございますので、紙ベースはちょっとまだ外せないかなと考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） デジタル化が進む中で、新たな手法での市民の皆さんの意識調査を行うというのは、何か考えていく予定はありますか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 中身については大変申し訳ありませんが、まだ今言える段階ではないものですから、新年度に入りまして詰めていきたいと考えており

ます。

- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 関連してなのですけれども、SDCCの担当は、次年度は戦略推進課が行うということによろしいですか。確認させていただきます。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 はい。SDCCという言葉は今後も使うか使わないかというのまた大きなあれがあるのですけれども、デジタルを活用して市民の生活を利便性を高めるのはみらい政策課で行ってまいります。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 何かSDCC関連で、具体的に取組は予定をしているものはありますか、来年度。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 具体的な取組につながるための卵の実証みたいなことは行っておりますので、ここから先どのように発展させていくかと、まさにこのようなきかなと思っております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 第5次総合計画の指標として、先端技術を活用した実証実験を今後2025年までに10件行うというのを指標にしています。その目標達成に向けて、来年度何か成果が出そうかどうかということによろしいですか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 はい。成果ができるよう全力を尽くして頑張っております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 来年度新たに戦略推進課が新設されるわけですけれども、みらい政策課がメインで、いろんな事業がくっついてくるようなイメージだと思うのですが、非常に多岐にわたる業務を次年度戦略推進課が担うように思えます。何を一番メインに政策として取り組んでいくかという位置づけで進めていかれるのですか。
- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 機構改革の中で、今こういったお示しをしているところではございますけれども、まだどれをメインにしていくかというところの話ではなく、まずは体制しっかりしつつ、市長さん新しくなりましたので、体制を新しくしつつ、市長さんのおっしゃる内容、目標に対する事業をやっていくという、そういったことではございますので、どれが大事かということは一概に考えてはおりません。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 組織としてどういったことを進めたいという狙いがあるのかなということで確認をさせていただきました。

あと、その中では情報に関しては、今回は情報発信課のほうに移るということですが、ここも何か目的があって分けられたかどうか分かりましたら、お願いします。

○委員長（三富美代子） 企画部長。

○企画部長 機構改革の内容につきましては、人事課が所管でやっていますので、細かいところの話は聞いていないところがございます。ただ、情報もみらい政策課で持っているわけではなくて、行革のほうで持っていますので、今やっているのはSDCCはやっていますけれども、そういった意味合いでは情報の部分もいろいろとありますので、どういったところでやるかというのはちょっと、すみません。把握はしていない部分が実はあります。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。来年の業務が進む中でいろいろと確認させていただきたいなと思います。

引き続きなのでありますが、昨年御宿土地区画整理事業に対する補助金が計上されていて、完成予定ということになります。この土地区画整理事業に関しては内陸フロンティアの関係もあり、市との協働の中での開発が進んだという経緯がありますが、今後いわゆるカーボンニュートラル宣言をされたということも含め、このミライエートが大型防災スマートタウンのような形で整備されている中では、この御宿土地区画整理事業と市との関わりというのが、来年度は何か持っていくものというものはあるのですか。もうここで補助金を出して終わりという形になるのですか。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 もの的な考え方でいきますと、公共施設の帰属は市で受けるものですから、そういったところで引き続き関係性は保っていけるのかなと、このように考えております。

○委員長（三富美代子） ほかに。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 私も引き続き、昨年度SDCC推進事業として載ったこれに関連してお尋ねします。この事業の推進のために推進本部だとか、あとSDCCコンソーシアムの会員募集とかという、そういう今までの実績はあるのですけれども、これらはどのように今後はされるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 これからまさにどのような展開をしていくかというのを今まさに考えておまして、そのままの名前で継続でいくのか、変えていくのか

かというのを近いうちにまた打ち出しをしたいなど、このように考えております。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） SDCC、多分その名前をなくしたとしても、総合計画はじめデジタル化とか、スマートシティを追及するための土台というものはもう既にあるのかなと思うのですので、ぜひそのところはよろしく願いしたいと思います。

~~それとあと、それに関連して、専門監の配置が来年度されますけれども、そのファシリティマネジメントをはじめ総括的にSDCCというか、そちらをひっくるめて総括的に対応される部署になるのでしょうか。その辺はどうでしょうか。~~

（「暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。岡本委員。先ほどの質疑は取消しでいいですか。

○委員（岡本和枝） では、それは取り消します。

○委員長（三富美代子） 別件がありますか。

○委員（岡本和枝） それに関連して。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） ~~ファシリティマネジメントとか、その辺は財政でしたっけ、なんかにその関連が載っていたのですけれども、ファシリティマネジメントを総括的に推進するとか、そのような体制はどこに担保されているのでしょうか。~~

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 今の質問を取り消します。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） すみません。御殿場線利活用の関係ですけれども、従来から要望活動しているのでしょうかけれども、北部地域の環境もいろいろあったりして、本数を増やすとかなんとかって、裾野市が主体で主導して動くような考え方というのはあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 新しい住宅団地もできまして、岩波駅まで、私、歩いて15分ですので、そういったところも加味して、訴えていきたいと、このように考えております。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） よろしく申し上げます。

もう一点、広域行政の関係ですけれども、第2期行財政構造改革のA3判の表に一部脱退を考えていくという話があるのですけれども、広域行政の考え方をここから先の話どういうふうに考えているのか、お聞かせください。

○委員長（三富美代子） 企画部長。

○企画部長 当然今事業体というか、市役所1つ単独でなかなか解決することが難しいという状況が非常にあるものですから、広域行政は非常に大事だと思っています。今回行革の中で広域行政1つだけですけれども、大きくくりの広域行政が実はありまして、その中の脱退の部分をこちらのほうで実は指示をしたのですが、防災の関係が実はあって、それがなかなか脱退できないというような今状況がございます。ただ、全体的な話の中でその防災の協定等々あるのですけれども、それだけ生かして違うことできないかというのは当然検討はしていかなければいけないというところがありますので、そこはまだ継続してちょっとやっつけていこうかなというふうには思っています。ただ、広域は当然、防災の関係で言えば富士山噴火であったりという、そういうところもありますので、非常に大事だというふうにこちらでは捉えています。以上です。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 広域の視点をやっぱり職員も持っていかなければいけないと思っているもので、内向き、内向きばかりではなく、外向きの目をどうしても養っていかなければいけないと思っていますので、ぜひそういう考え方でやっていただきたい。以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 昨年度地下水の採取者の協議会の補助金がありまして、今回1,000円という形になっているのですけれども、要綱をつくってしっかり出しているものを今回どのような理由でこういう減額というか、見直しをされたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） みらい政策課長。

○みらい政策課長 はい。団体の補助のほう行ってまいりましたが、すみません。詳細の金額はちょっと今つかんでおりませんが、内部留保、団体のほうである一定金額のお金のほう持っているものですから、やはりそれ持っている以上は先にそれを使っただくという観点から、来年度は削減をしたものでございます。

○委員長（三富美代子） よろしいですね。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） すみません。デジタル裾野研究会についても、次年度の戦略推進課が担当になりますか。

- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 はい、そのとおりでございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） このデジタル裾野研究会、2019年から活動がされていて、非常に行政内部のいろんな課題を様々な皆さんの視点で解決を、どうしていけばいいのかということ非常に有効だというふうに思っているのですが、次年度も何か活動の計画というのがありますか。
- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 次年度も協定の関係もでございます。東大の関本研究所と今協定結んでいますけれども、そういった協定の見直しの話もございまして、進展はこれからもまたしていくというふうにこちらでは考えています。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 分かりました。非常に横連携が取れる組織かなということ有効に活用していただきたいというふうに思います。
- それと、ごめんなさい。もう一つ、先ほどの第5次総合計画の目標の中で、同じく規制の特例措置というのを2025年までに10件掲げていますけれども、これについて次年度何か取り組むことはありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 具体的に何かということをおし上げることはできませんが、取り組んでまいりたいと、このように考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 第5次総合計画つくったときは、みらい政策課の担当として目標値を掲げていました。これは、次の戦略推進課が掲げる目標になるのか、それとももっと広い範囲で庁内全域でやっていくのか、どういった位置づけに今度変わるのでしょうか。変わるというか、捉え方です。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 やはり主管は、みらい政策課の新しい課であります戦略推進課のほうで所管をしていくと、このような形で考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 新しい戦略推進課、こちらがかじを切りながら、全庁にその効果を波及させていくというようなイメージで取り組まれていくことになりますか。
- 委員長（三富美代子） みらい政策課長。
- みらい政策課長 はい、そのとおりでございます。
- （「ぜひお願いします」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を

終わります。

これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上でみらい政策課の質疑を終わります。

行政改革課

- 委員長（三富美代子） 行政改革課長の説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。杉山委員。
- 委員（杉山茂規） よろしくお願ひします。行政改革のところですか。担当課として全体調整を行いながら取り組んでいくものであろうかと思うのですが、実務を行う各課に対してどのような働きかけというか指示、チェック、各担当課、各課との役割分担について伺います。
- 委員長（三富美代子） 行政改革課長。
- 行政改革課長 行革の担当としましては、まず行革の計画に幾つかの取組を記載しております。それについて、各担当課がどのように進捗を図っていくか、それを見ていく、それからそれを取りまとめていくのが担当になります。それから、行革推進本部、これの進捗を図っていくと、これについて次年度取組もうと考えております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 計画に幾つかの取組を記載ということなのですが、その取組については各課から上がってきたものという認識なのか、それとも例として示されているものなのか、どのような位置づけのものでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行革推進課長。
- 行政改革課長 行革の計画につきましては……
- 委員長（三富美代子） すみません。ちょっと訂正いたします。行政改革課長。
- 行政改革課長 計画につきまして、作成段階で各課からのアイデアを行革推進本部の中で入れているものも当然ございます。基本的な取組としましては、行革のプロジェクトチームで案を練って、行革推進本部の中で最終的に議論をして、調整をしてつくったものでございまして、担当課の考えも当然入っているというふうに考えております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。ということは、各担当課のほうでは自分事としてしっかり進めるような体制がしっかり構築されており、行政改革課のほうで、次、違います、名前変わりますけれども、のほうで全体の進捗の管理を行っていくということによろしいのですよね。
- 委員長（三富美代子） 行政改革課長。
- 行政改革課長 5年の期間、最終目標、一般会計の収支均衡に向けて進捗を図っていくというふうに考えております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。

次です。112 ページです。先ほど、112、113 の一番下のところです。基幹業務サーバー仮想化ということで、説明の中で仮想サーバーの中で処理を実施するというふうな説明がありました。そうなってくると、使用料みたいのがかかるようなイメージがあるのですが、そういったものは今後発生してくるものというふうなものなのではないでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 行政改革課長。
- 行政改革課長 委託料のほうで保守、それから賃借料のほうでリース料として発生します。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。リース料として発生するというので、それというのは重量制みたいなものではなくて、固定額でという解釈でよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 行政改革課長。
- 行政改革課長 暫時休憩願います。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。行政改革課長。
- 行政改革課長 固定でかかります。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） それを行うことによって、先ほどちょっと簡単に説明あったと思うのですが、どのような効果が現れるものであるかのところをお願いします。
- 委員長（三富美代子） 行政改革課長。
- 行政改革課長 セキュリティーの向上というのが、一番の大きな効果であると考えております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。
今度デジタルトランスフォーメーションのほうなのですが、取り組んでいくということで、機構改革のこの図のほうにも載って、入っているのですが、進めることでどのような効果が出るか、そこをどんなもの期待して進めていくおつもりか、お考えをお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 行政改革課長。
- 行政改革課長 ちょっと長くなるかもしれませんが、国のほうが自治体DXの推進というものをうたっております。それから、各自治体におきましても、本市も同じなのですが、市民ニーズの高まり、複雑化等から勘案すると、やはりDXに取り組むことによって、市民サービスの向上と業務の効率化が図れるものと考えております。

こうしたことから、令和4年度に向けても引き続き取り組んでまいりたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 中身について分かりました。具体的な取組内容というか、時期であったり、進め方の部分で、先ほど研修の話みたいのも出ていましたけれども、時期、内容等分かること、計画されているものがあればお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 国が進める6つの取組の中で、既にマイナンバーについてはもう取組のほうは進んでいると。それから、セキュリティー対策につきましても、3層の分離ですとか、基幹業務の対策強化等は取り組んでおります。

次年度に向けての取組なのですが、オンライン申請、こちらはずおか電子申請サービスの終了に伴い、新たなシステム、L o G oフォームを入れるのですが、L o G oフォームにつきましては、より汎用性が高いというふうに考えております。そうした中で、これまでのサービスに加えて、新たな申請サービスというものが期待されていると、検討していきたいというふうに考えております。

続いて、オンラインシステムの標準化、これにつきましては、令和3年、昨年なのですが、うちの基幹業務を扱うTKCより国の方針を受けて今後のスケジュール的なものがある程度示されてきましたので、それに向かってこちらも動いていきたいというふうに考えております。

最後に、A I、それからR P Aの推進、それからテレワークの推進、これにつきましては、業務改善等の成果見込みにより検討していきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。ありがとうございます。大体分かりました。

○委員長（三富美代子） ほかにご質疑はありますか。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 107ページに関して、ファシリティマネジメントに関して、指定管理者についてのモニタリング等を、委員会ではなくて施設課ごとにやるということだったでしょう。これはちょっと詳しくお話をお願いしたいと思えますけれども。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 施設管理課というのは、実際指定管理者より施設の情報、モニタリングの報告を受けております。それから、やり取りのほうも行っていると、そうした現実問題、それからごめんなさい。各委員との選定等につい

でも担当課のほうの意向を受けて現在行っております。そうしたことから、現実の取組として施設担当課のほうで各選定評価委員会を開いたほうがよろしいのではないかというふうに考えて、令和4年度から移行するものでございます。以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 外部の視点という点での問題点はないのでしょうか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。行政改革課長。

○行政改革課長 評価委員の中には外部の方も委嘱しておりますので、その中で外部の視点が入るものと考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） これは、組織の内製化というか、そのような視点もあったということですか。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 業務の効率化、実務化の面から、移管するものでございます。以上です。

○委員長（三富美代子） ほかにご質疑はありますか。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 99 ページのところですか。ファシリティマネジメントの業務を行革が担っていた部分が財政課に移すこととなります。この1年、計画等をつくるのに行政改革課が関わってきましたけれども、財政と一緒にすることのメリットというのは何か思うところってありますか。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 財政課のほうは、資金のほうを扱っております。こうしたことから、FMの基金についても創設させていただいたとおり、今後の視点は財政面と施設の管理をどう両立させていくかという観点から、財政課に移るものと理解しております。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） セットのほうのがより効果的であるということによろしいですか。

（「委員長、暫時休憩願います」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。行政改革課長。

○行政改革課長 実際台帳管理等の一元化が図れるものと考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 分かりました。

107 ページの、先ほど委員からも質疑もありました指定管理のモニタリングの件ですけれども、報償費として計上されていたものがそれぞれの各課に振り分けられたということによろしいですか。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 令和4年度なのですが、生涯学習課での選定関係、それからヘルシーパークの選定関係ありますので、健康推進課、この2課のほうに報償費のほうは振り分けられております。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件分かりました。

そして、今回計上されているのは、行政改革推進委員会のみということでした。第2期の行財政構造改革の進捗等含めて、この委員会はどのように活用されていきますか。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 この第2期行革期間中につきましては、毎年度の予算、それから決算のレビュー、それから実施計画等、そういったまたレビュー、そういったものに対してのご意見をいただければというふうに考えております。

それから、中間年、それから最終年等でまた意見をいただきたいというふうに考えておりますが、あくまでも予算上はマックスの回数で予算のほうを計上させていただいておりますので、実際書面等で行う可能性もありますので、ご理解いただきたいと思います。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 回数としては、何回予定されていますか。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 一応5回分計上しております。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 第2期の行財政構造改革が始まったばかりということで、外部の視点という中ではこの行革推進委員会の設置というのは必須かなと思っておりますが、次年度に限らずこの第2期の目標を達成するまでは、この行革推進委員会は継続して設置するという考えでよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 行政改革課長。

○行政改革課長 何らかの形で委員の方に予算、それから決算の動きのほうを見ていただいたほうがよろしいのではないかというふうに考えております。以上です。

（「ぜひお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で行政改革課の質疑を終わります。

以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で行政改革課の質疑を終わります。

戦略広報課

- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長の説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。木村委員。
- 委員（木村典由） お願いします。60 ページになります。広報広聴活動費寄附金 80 万円ということですが、令和 3 年度は 100 万円の予算でしたが、昨年ガバメントクラウドファンディングで 82 万 3,000 円の結果を踏まえての上の計上でしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 前年度の実績もございますけれども、政策のほうのお金のほうも全体的に下がっております。そのような中で、広告費等も見込んだ中で設定させていただいております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。令和 4 年度のこのクラウドファンディングを活用しての発行という認識でよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） ちなみに、去年行われたクラウドファンディングですけれども、57 人の方が支援くださったようにインターネットのページ上では見たのですけれども、金額の内訳なんかは把握していますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 暫時休憩お願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 一番最低の金額だと 5,000 円という方がいらっしゃいました。大体あとは 1 万円から 1 万 4,000 円、その程度が多かったと思います。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。ありがとうございます。
では、そのときに、去年、クラウドファンディングでは返礼品の数が 8 点でしたが、もし今年、令和 4 年度やるとしましたら、返礼品の数を増やしていくという予定はあるでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 いずれにしても、寄附をしやすい環境を整えるって必要あるかと思っておりますので、ルールとかそういうのののっただ中で努力はしていきたいと思っております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。

- 委員（木村典由） 続いて、144 ページになります。無線放送施設設置費ですが、令和4年度の予算が減少しております。令和4年度の予算が減少しているのですけれども、令和4年度も引き続き国から計画台数を減少するというような要請があったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちら行革の中で財政計画等もございまして、国から減額の要請というよりは、こちらのほうからほぼ前年度並みということで要求のほうさせていただいております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 先ほどは、予算の中で200台の予算が来ているという話でしたけれども、今年も200台は更新していくという見込みでよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 一応現状で200台は最低やると。もし差金等出た場合には、その取扱いについて国等と調整しながら対応してまいりたいと思います。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） これデジタル化にしていくという話なのですけれども、現在どの程度進んでいるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 現在無線機のほうが約1万3,000台、市のほうで貸出しをしております。このうち現在終了しているのが1,600台ほどです。昨年度から始めまして、一応終わっております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 145 ページに外部アンテナの取付け委託料というところで、令和3年度と同じ金額になってはいますが、令和3年度はどれぐらいの数取付けを行ったかというのは分かりますか。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。木村委員。
- 委員（木村典由） すみません。外部アンテナの件で、今年度取付けは、昨年度、令和3年度と同じぐらいの実績になるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちらのほうは、若干大目に見ております。昨年がおおよそ40台分ぐらいを見込んでいたかと思うのですが、今年度については、令和4年度については一応50件程度かなというふうな形で見込んでおります。
- 委員長（三富美代子） ほかに。杉山委員。
- 委員（杉山茂規） お願いいたします。97 ページです。委託料のところ、

市民憲章看板の基礎撤去委託であるのですけれども、これは一体何ですか。

- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちら、日本橋の常盤橋というところに、多分産業部のほうと一緒にPRして、PR看板のほう設置しておりますけれども、これが設置の許可期間というのですか、そちらのほうは来年切れるものですから、撤去費のほうを見込ませていただいております。

- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。ということは、そのシティプロモーション、看板撤去という下のやつも同じですか。これは違いますか。2個下。PR看板です。

- 委員長（三富美代子） よろしいですか。暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 発言のほうの修正をお願いいたします。市民憲章看板基礎撤去委託につきましては、中央公園のところに設置しておりました市民憲章看板の老朽化に伴いまして、基礎部分だけ残っておりますので、こちらのほうの撤去をさせていただくものです。

シティプロモーションPR看板の撤去委託につきましては、東京日本橋のほうに設置されているPR看板のほうは設置期間が終了になりますので、こちらのほう撤去させていただくものです。

- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
 - 委員（杉山茂規） 分かりました。
- 次のところです。行革の関係の資料の中でゆるキャラのすそのんの活用事業の廃止ということで、先ほど説明もありましたけれども、一方では総合計画の中ではゆるキャラの活用ということがうたわれており、そのためには多分維持のための費用というものが必要なのですが、民間に移行ということでお話がありました。民間に移行というのはいまもう決まっているというふうな前提でよろしいのでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 行政改革の中の一環として、優先順位を決める中ではゆるキャラのほうはかなり優先順位的に低いということで、そういった形になってございますけれども、民間さんのほうにお願いをすることで状況がなっていますが、まだ交渉していない状況です。

以上です。

- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） ということは、当てはあるのだけれども、交渉はしていないというふうな解釈でよろしいということですか。

- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 当てはありません。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。交渉をしっかりとやっていただきたいと思うのですが、これ民間に管理が移行することによる影響というのはどの形で考えていらっしゃるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 移管をするに当たってもやはり市のほうである程度やっぱり管理しなければいけない部分というのも当然ありますから、例えば権利関係であるとか、そういうこともございますので。ただ、実際今先週行ったファンミーティングなんかでも大分民間の方々のお力を借りてやれている部分というのもありますから、そういうところも含めて検討してまいりたいというふうに思っております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） おおむね分かりました。
 今度 227 ページお願いします。ふるさと納税のところなのですから、毎年新規開拓というか、新しい商品開発ということで取り組まれているかと思うのですが、次年度はどのような形でそういったもの取り組んでいくか、お考えがあればお願いします。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちらにつきましては、産業部への移管ということもございますけれども、またある程度やっぱり何でもいいというわけにもいかないものですから、ルールの中でやることになりますので、企業さんのほうなんかの協力を個別訪問みたいな形でお願いをしていきたいなというふうには思っております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。その中で、実際に課題、商品開発をしていただくに当たっての課題というものは捉えている、あるいは持っているつてありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちら、皆さんご存じのとおりやはり何でもいいというわけにはいきませんので、ルールの中で行うという形になりますから、そういう中で金額等も含めて提供、協力していただける業者さんとの合意形成というのですか、そこが一番大事なかなというふうには考えております。
- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 補足でございます。課題という話でございます。やはりいろんな

答弁でも答えさせていただいていますけれども、1次産業的な部分がなかなかないというのが一番やはり課題の部分があります。ですので、そこばかり視点を見るのではなくて、違う目線から見て商品開発をしていかないといけないと思っていますし、企業さん側にはじっくりと何回も何回も訪問してご理解いただくということが大事ななというふうに思っています。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。次年度事業者さんのところへと訪問する目安というか、今のお話ありましたけれども、そういうふうなものというのはイメージとして計画はあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 企画部長。

○企画部長 所管が変わってしまいますので、なかなか行きますということをお願いなのですが、こちらのほうから所管課が変わってもこういう格好でやってほしいということは話をします。こういったところに行ってくれということは話をさせていただきたいと思っています。以上です。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 対象先があるということは分かりました。

次です。あと、戦略広報課が今度情報発信をする際の情報発信課ということになるのだと思うのですがけれども、情報発信の仕方、例えば見え方とか、捉える方からはどう見えるですとか、そういうふうなところに注意しながら発信とか……

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

○委員長（三富美代子） 再開いたします。杉山委員。

○委員（杉山茂規） 情報発信の仕方として、戦略的な考え方に基づいての情報発信と、新しく考えて行うものはありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略広報課長。

○戦略広報課長 現在も情報発信については、いろいろ戦略的に我々も考えて取り組んでおります。引き続きそれをやっていきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） ほかにご質疑は。内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。それでは、117ページにお願いします。委託料の、12節委託料の市民活動センター運営委託なのですが、この市民活動センターって毎年予算が小さくなっているのです。先ほどNPOか民間委託を検討するということですが、令和4年度に何か動きがあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 戦略広報課長。

○戦略広報課長 令和4年度につきましては、こちら昨年と同額のほう計上しておりますので、体制としては一応同じような形で進めていくつもりでございます。

- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） なかなか人件費も出ないようなところで頑張っているのですけれども、その現場との話は何かヒアリングとか、予算を立てるときに現場の担当者と話し合いはしましたでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 現場のほうは、予算に限ってということではないですけれども、訪問とか話のほうはしております。また、四半期に1回活動の報告のほういただくような形で、いただいております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 分かりました。
- その下で男女共同推進事業費なのですが、これ計画の改定と印刷と、何か計画をつくる、そして改定する、何かその繰り返しみたいで、男女共同参画の推進ってもっと中身のある事業ってないのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 計画のほうにつきましては、コロナ等の影響もございまして、ちょっと改定作業のほうが遅くなってしまっているのは、ところはあるのですけれども、今意見を、いろいろ意見を伺いながら計画の改定のほうを進めているところです。目立ったものはあれなのですけれども、また啓発的な事業、例えば広報紙で取り上げるとか、そういうようなことは考えていきたいなというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 昨年の予算からも見ても、ずっと見てもとにかく計画だけつくればいいにしか映っていないのです。なので、啓発とかリサーチとか、例えば実際に管理職の女性登用とか、いろんなやるべきことがあると思うのですが、そういう議論は内部ではなかったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 先ほどちょっと部長のほうからもお話があったかと思いますが、やはり事業見直しというか、行政改革の優先度の中で、少しやっぱり広報業務とかそういうのから比べると、後のほうにはなってしまうのですけれども、お金をかけないでやれることもあるかと思っておりますので、そういうようなことに取り組んでいきたいというふうに思っております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 裾野市の職員の、これは人事なのか、管理職の登用とか、男女共同参画で遅れていると思います、考えてください。
- それと、ちょっとページ分かりませんが、先ほどの広報無線なので、すけれども、200台ずつ毎年やっているのですが、これ200台から増やせると

ということはないでしょうか。毎年 200 台ずつ、予算の範囲だと。

○委員長（三富美代子） 戦略広報課長。

○戦略広報課長 行政改革の今改革の一番、推進の取りあえず期間、この間はちょっと 200 台で進めていって、またその後の財政状況を見ながらなるべく早く更新できるようには進めていきたいなというふうに思っております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） これ 10 分の 7.5 なので、国のお金が十分使えるからやりやすいと思うのですけれども、優先、どこ、例えば地区別にやっているのですか、どういう形で進めているのですか。

○委員長（三富美代子） 戦略広報課長。

○戦略広報課長 基本的には今導入古いところから順番にというのが原則ではありますけれども、ただ中にはちょっとアナログだとなかなか聞きにくいというような、デジタルになるといいという、ちょっと電波状況が改善されるというところもありますので、その辺を見極めながら進めております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 最後に、60 ページのふるさと納税の寄附金なのですけれども、今年、令和 4 年度は 1 億 3,000 万でしょうか、金額伸びていますけれども、損益分岐点を超えるというのは、超えるかどうかというのはどこで見れば、大体目安はありますか。

（「すみません」の声あり）

○委員（内藤法子） 損益分岐点を超えると。要するにふるさと納税入ってきますと、少し伸びているのですけれども、損益分岐点はどのくらいで超えると考えていらっしゃる。

○委員長（三富美代子） 企画部長。

○企画部長 損益分岐点の話は非常に難しく、皆さんが外に税金を出さなければ、それは、損益分岐点すぐ来るのですけれども、そうではない状況でございますので、一概にこの時点で損益分岐点来ますよという話はできません。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。今のふるさと納税の件ですけれども、令和 4 年度 1 億 3,000 万円を計上しています。その 1 億 3,000 万円を計上した理由をお聞きしたいと思います。例年このふるさと納税、年々返礼品も増え、寄附額も非常に増えています。来年度 1 億 3,000 万円とした理由をお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 戦略広報課長。

○戦略広報課長 暫時休憩申し上げます。

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 予算要求時点で、今年度の動向等を見極めた上で設定をさせていただきます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 非常に期待していますので、ぜひ、課が替わっても業務を引き継いでいただきたいと思います。
 そして、ページないですけれども、行革であったゆるキャラの件です。第2期の行財政構造改革の中では廃止ということになっていまして、民間で考えているというお話がありました。ちょっと課長からもお話ありましたが、このゆるキャラの事業を廃止するというに関しては著作権を含めて民間へ、著作権、著作権含めて民間に移行をするという、そういうことですか、それとも管理だけは市が持って、実質のいわゆる着ぐるみの管理だけをお願いするという、どういうふうな民間に移行しようという考えですか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 基本的にはやはり著作権といえますか、権利としては市が持つ必要があるのかなというふうに考えております。その辺の具体的な方法につきましては、また話し合いの中でどういう方法が一番ベストなのかということは、今後やっぱり検討していかなければならないというふうに思っております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 課長も先ほどおっしゃったように、昨日行われたそのんのファンミーティングなんかも非常に人気があって、市のシティプロモーションに関しては非常に貢献をしている事業かなというふうに思っていますが、このゆるキャラの事業自体は、まだ民間との交渉中のような形で受け止めますけれども、いつ頃、来年度始まってすぐにその事業が滞ることなく進めることができるのですか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 やはりゆるキャラの人形というか、着ぐるみのほうにつきましては、やはりある程度貸出しの制限というか、そういうのは必要になってしまうのかなというふうには思っているのですが、それ以外の部分について、先ほどちょっと男女共同参画のところでもありましたけれども、お金がかからないでできるような部分、あるいは民間さんのご協力がいただけるような、この間のファンミーティングのような形でいただけるような部分を中心に活用をしていきたいというふうには思っております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。

- 委員（賀茂博美） 権利関係含めて、市が管理をしていくという中では、着ぐるみ自体の管理は市がしていくということですか。
- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 予算があったのは、どちらかという到着ぐるみの洗濯代みたいなところの部分が大きいというか、それがメインだったのですけれども、その部分をカットされているというところが、一番今回の廃止のところには一番の要因になっています。当然先ほど話をされました権利関係の部分も含めて、そこはまだ協議をしていかなければいけない部分がありますし、洗濯をしないで、貸出しをした中で洗濯をしないということはありませんけれども、なかなかの洗濯をやっていただくところが逆にあればそこは続けることもできるでしょうし、そういったところを含めて検討している最中でございます。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件は分かりました。
市政カレンダーの件です。今回のガバメントクラウドファンディングということで予算計上されています。今回は80万という金額になりましたけれども、カレンダーの印刷費自体には来年度縮小とかありますか。暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 基本的には物につきましては、来年度またいろいろ考えたいなと思っておりますけれども、規模縮小するかそういうふうには考えておりません。ただ、レイアウトとかそういうの変更はあるかもしれないかなというふうには考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） では、これまでどおり全戸配布という形を取るということにも変わりはないですか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 一応変わらない予定でございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 147ページの個別受信機の件です。デジタル化に関して、先ほど台数が現在の台数もご答弁ありましたが、デジタル化の計画というのはどうなっていますか。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 一応現時点では、令和10年度までに約1万3,000台のほう更

新したというふうな計画でおります。

- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。ほかに質疑は。岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 95 ページ、広報広聴活動事業に係る経費がありますけれども、情報発信、広報については取り組んでいるということですが、広聴についての手法みたいなものというのは、今どのように考えられていますか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 現在広報事業につきましては、市役所の1階のエレベーターのところと、生涯学習センターのところに声のポストというのを設置しております。そちらによるご意見の徴収、あとはウェブサイトのほうでEメールのほうによる問合せを、代表メールで受け付ける場合と各課で受け付ける場合なんかもありまして、そのような形で主に広聴事業のほうはやっております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 市民のほうから意見を寄せられるというプラス、市のほうから広聴するというもうちょっと積極的なものというのが今求められているのかなというふうに思うのですけれども、その辺のところはどうでしょうか。今の現状が十分とは思えないという考えの下で質問しています。どのようなことを考えられていらっしゃるのか、もしあるようでしたらお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 うちの、戦略広報課のほうが行っている広聴事業というのは、やはりメールでの受付ですとか、声のポストとか、そういう形になるかと思えます。あとは、各課においてやはり重要な課題等につきましては市民の皆さんから成る委員会なんかで意見を聞いていただいたりとか、あるいは住民に対する説明会をやって聞いていただいたりというような形でやっているものというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） パブコメだとか、いろいろな諮問機関とかというのはやっぱり限られた人の意見に、基準は残念ながらなっているのかなと思うもので、ぜひそれを超える、本当に自分たちの市民の声を聞くという理念を具体的な手法で何か考えていっていただけたらいいかなと思います。それは要望です。

もう一点。

- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 次のページ、97 ページに市民憲章の看板の基礎を撤去ということですがけれども、もう新しくそこに新設をするという、そういう考えは全くないのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 新設のほうは考えておりません。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、これから老朽化が進んできたらもう全て撤去していったまうという姿勢ですか。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。
- 委員長（三富美代子） 再開いたします。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 市民憲章につきましては、確かにやはり目に触れるようなところにあるのが一番望ましいかとは思いますが、看板に限らずほかのものも使って、またPRしていきたいというふうには思っております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 看板ではなくて、ほかの手法で市民憲章を皆さんが見えるような形で何かをやるということですか。
- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 見え方として、手段としていろいろとあると思います。先ほど話が出た看板というのも多分1つの方法でしょうし、逆に言うと総合計画であったり、いろんな計画のところに市民憲章つけたりもしていますし、お知らせ自体はそういう格好で目に触れるような努力はこちらではしているつもりでおりますので、そういったところをまた続けていきたいというふうに考えております。以上です。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） すみません。これ毎年聞いているのですけれども、今度課名が情報発信課になるから、情報発信というのはこちら情報発信する側ですから、記者会見、今現状年4回の定例会の告示日にやっているだけなのだけれども、もう少し頻度増やしたらどうですかということを毎回言っているのですけれども、4年度はいかがでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 企画部長。
- 企画部長 毎年ということで、昨年も議会のあるときに記者会見やっていますよという多分言い方をさせていただいていると思っております。現状はまだその部分を超えていませんが、今回市長さん替わられまして、市長替わられまして、また考え方も違う部分も出てくるかもしれませんので、そこは

柔軟に対応したいというふうに考えています。以上です。

- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） まさしく情報発信、市長が自ら情報発信するということは一番伝わると思っていますので、もちろんウェブサイトとかいろいろあるのですけれども、そういうことをやっぱり自分の口から言ってもらえるのも必要だろうと思っていますので、ぜひそれは柔軟に対応していただいたほうがいいのかなと思います。以上です。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） すみません。97 ページ、少し金額の小さいことなのですが、委託料の中に新春座談会反訳委託、これ昨年同様に3万6,000円の形状があるのですけれども、この委託の中身お願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちら、いつも座談会というような形で、テーマに基づいて市民の皆さん2人から3人、4人お招きして、市長と座談会というような形で取り上げているのですけれども、なかなかやはり座談会自体は2時間近く、大体話が盛り上がるといくものですから、それをテープ起こしというような形で文書に起こしてもらおうような作業のほうを委託しております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 内容は分かりました。この2時間の会話をテープ起こしをするという作業を内製化でやるということは考えられなかったですか。
- 委員長（三富美代子） 戦略広報課長。
- 戦略広報課長 こちら以前は、職員のほうがやっておりましたけれども、やはり今広報の職員も大分反訳していた当時とはちょっと減っておりますし、また年末は年末年始の関係で編集期間等もちょっと短くなるのです。そういう関係もありまして、外部のほうに出させていただいております。
- 委員長（三富美代子） ほかにご質疑はよろしいですか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより、第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で戦略広報課の質疑を終わります。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
以上で企画部関係の議案の質疑を終わります。

戦略広報課（発言訂正）

- 委員長（三富美代子） 戦略広報課より発言の訂正の申出がありましたので、これを許します。戦略広報課長。
- 戦略広報課長 冒頭の説明で、防衛省の防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金、私のほう 700 万 5,000 円というふうに発言しましたが、正しくは 709 万 5,000 円でございます。訂正のほうよろしくお願いたします。
- 委員長（三富美代子） 今の件はご了承願います。
以上で戦略広報課の質疑を終わります。
以上で企画部関係の議案の質疑を終わります。

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
以上で本日の日程は全て終了いたしました。
これをもって散会いたします。

16 時 07 分 散会

9時00分 開会

○委員長（三富美代子） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。

本日の日程はお手元に配付のとおりであります。

審査の方法は、昨日と同様に、当局の説明を求めてから質疑に入ります。

発言の際には録音の関係上、必ずマイクをご使用願います。

生活環境課（第1号）

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。木村委員。

○委員（木村典由） よろしくお願います。190ページの斎場管理運営費ですが、先ほど説明の中で長泉と裾野市の運営費が按分されているということをお聞きしたのですけれども、こちらの負担割合というのはどのようになっているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長代理。

○生活環境課課長代理 こちらにつきましては、令和2年に行いました国勢調査の人口割に基づいて算出しまして、裾野市が54.02%、長泉町が45.98%になります。以上です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。この斎場の管理運営費の中から職員の給料なども出ているということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 斎場の運営管理費は来年度に関しましては、委託のほうに任せることになっていきますので、入っておりません。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） それでは、ここの職員さんの給料というのはどこから出ているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 し尿処理のほうから入っています。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いします。ちょっと主管課はみらい政策ということでちょっと違うのですけれども、環境に対してということの話の中で、地域活性化起業人派遣事業が行われると思うのですが、御課でカーボンニュート

ラルの関係に取組を進めていくのだと思うのですけれども、どのような形でその人材活用をして進めていくつもりかのところにつきまして、次年度どうなっているかをお願いします。

- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今、ちょっと暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時16分 休憩

9時17分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 みらい政策課とロードマップなども含めた中で今後考えていく予定であります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。今後調整ということなのですが、主に主とするのはカーボンニュートラルのところプラスアルファということの中で、みらい政策が主管課になっていると伺っております。ですので、多分主体的と一番主になるのは生活環境の部分になろうかと思っておりますので、そこはちょっと調整をしながらというか、どちらかというと主体的に動いていただくようなイメージを持っているのですけれども、そのような考え方で動くということによろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのように考えてもらって構わないと思います。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。そうなってくると、当市ではカーボンニュートラルの宣言というものが行われている中で、その派遣される方が市の事業として行うところ以外の部分、いわゆる住民あるいは企業にどのように理解いただき、取り組んでしてもらおうかということも必要なのですけれども、その点につきましての考え方はありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 企業の方ですので、企業の考え方をちょっと取り入れさせてもらいながら、その住民に対しての広報とか何かも勉強させてもらいたいなという思いではおります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） ということは、これからしっかりとその部分も含めて検討しながら取り組んでいくということによろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 すみません、もう一度お願いできますか。暫時休憩してもらって。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時18分 休憩

9時19分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。

○生活環境課長 そのように考えていきます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ちょっと方向性的にあれなのかもしれないのですが、総合計画の3の1の6ということで、地域循環共生圏という考え方の構築ということがありまして、エネルギーだけではなく、人、物、金、資源が循環する仕組みがあるのですけれども、資源というところの観点の中で御課が次年度そういったところに対して取り組んでいくところ、あるいは考え方等ありましたらお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 ちょっとまだそこまで具体的なものは思っているところはないので、その辺もちょっと取り入れながら考えていくようにいたします。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。ほかには。内藤委員。

○委員（内藤法子） では、お願いします。暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時20分 休憩

9時20分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。

○委員（内藤法子） 26ページの畜犬登録手数料というのがあります。これは、毎年新規に飼う人の分なのでしょうか。何頭分ということを用意して予算が上がっているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 これは新規の分になります。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） そうすると、毎年新規に飼う方が、だから頭数ですけれども、何頭という計算をしているのですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 3,000円で400人の計算になっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

- 委員（内藤法子） 動物病院とかでよく聞くのですけれども、必ずしも登録していないわんちゃん結構いるというのですけれども、その辺の把握は、市はどうなさっているのですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 基本的に登録するようにはがきとか何かを出して確認をするようにしております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） それにも関連しますけれども、狂犬病の予防接種の手数料があります。この狂犬病の予防接種は、何頭分というか、新規と今飼っている全体になると思うのですけれども、何頭分。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課課長代理。
- 生活環境課課長代理 接種のほうにつきましては、単年で2,500件を見込んでおります。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 登録と狂犬病併せてなののですけれども、適切に飼って狂犬病とかは、やっぱり人間にも被害があるので、100%きっちり、100%は無理でもこの推進するためには何か施策をしていますか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 ちょっと暫時休憩をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時23分 休憩

9時24分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 実態に合わせて今亡くなっている犬とか何かを洗い出しをして分母、全体の数を減らしているのと、あとは接種のほうに関しましては、するように通知や電話などで呼びかけを行っております。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 犬の登録の新しい流れなののですけれども、首にチップを埋め込むというのが国のほうで法律が施行されます。まだ一般まではいかないのですけれども、こういう流れがあったとき、流れを見込んで、例えばチップを埋め込んだら、そうしたらそれを読み込むリードとか必要になってくるのですよね。迷子の犬とか、そういうことに対する施策は、これは令和4年から始まるのですけれども、この予算のときに何か検討とかはしているのですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。

- 生活環境課長 リードのほうは、以前から持っているという話の中で、それはあります。ちょっとマイクロチップのほうの関係とその予防接種の関係とうまく政策がかみ合っていない部分がありますので、その辺については、ちょっと今精査しながらつながるようなもので検討しているところでございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 防災のときにも例えばペット同行避難とか、やっぱり災害のときにもペットの管理は大変になるものですから、そういうものも含めて、大変でしょうけれども、よろしくお願いします。以上、終わります。
- 委員長（三富美代子） ほかにご質疑はありますか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いします。今の委員の少し質疑関連してなのですが、何年か前に市内のブリーダーさんの登録が失念されていた件がありましたけれども、その辺りはしっかりと今確認はされていらっしゃるのですか。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時26分 休憩

9時26分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。ブリーダーのほうは今確認しながらやっているところです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件、了解いたしました。先ほどまた同じく委員が質疑ありましたけれども、カーボンニュートラル宣言をしたことで、それを活用して来年度何か事業を進めようとか、そういった何か予定はありますか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今回の人材活用の企業の方を呼んで、その中でまたちょっと考えていきたいというふうに思っているところでございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 生活環境課の中でも様々な事業を展開されているのも、カーボンニュートラル宣言と関連づけて取り組むということは、特に考えていらっしゃるのですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 温暖化の取組という形で実施計画みたいなものをつくって行っております。ただ、ちょっとそれは数字的なものがどういうふうにならなくなるかというのは、見えているところがないのですけれども、一応ほかの

各課を含めた中での考え方は持っております。

- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回新しく新エネルギー機器補助金を自動車の部分で新しく設けますけれども、そこはまたカーボンニュートラルとは関連づけてやっていくというわけではないということですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 排ガスを減らすために要は電気自動車系のものを入れているということですので、つながりはあると考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） そういった事業を積極的にカーボンニュートラルとつなげて宣言をしているという部分を活用できたらというふうに思いました。
それと、今言いましたクリーンエネルギー自動車購入補助金の件についてお伺いたします。新しい補助制度ということですが、これは始めることになった経緯をご説明いただけますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 近隣でやり始めているところがあるという形の中で、職員のほうでどうでしょうかという話があったものですから、取り入れることを考えるようにしました。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今回一般財源を使つての補助だと思いますが、それで間違いはないですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 基本的に第2期の今行革が始まった中で、新規事業というのは進めないということと、補助制度についての見直しもあったと思います。その中で一般財源を使つての補助制度の創立に当たっては、財政側とどのような協議をされたということでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 先ほど賀茂委員がおっしゃったとおり、カーボンニュートラルのことも含めて、エネルギー政策に力を入れてくださいという話で増やしていただいたところでございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） カーボンニュートラル宣言をした中で、ぜひそういった取組を進めてほしいという気持ちはあります。今回一般財源なのですけれども、経産省などの補助制度というのは、特に何か対象になるものはないので

しょうか。

- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 このエネルギー系の補助金に対しての国庫の補助金は、国ではちょっと持っていないという話だったので、一般財源となっております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 一般財源以外で何か財源が確保できないかという検討はされていらっしゃるのですか。された結果がこの予算計上になっているということですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ~~205ページをお願いいたします。斎場処分場の件です。第1期の処分場の埋立て終了計画というのが令和……ごめんなさい、そっちまで行かなかった。すみません。では、以上です。今の質疑は取消します。~~
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 202 ページ、し尿処理指導費のところでお尋ねします。負担金補助金として浄化槽の設置整備事業補助金が出ていますけれども、これは毎年補助金の上限というのがあるのでしょうか。額とか件数が決まっているとか、そういうことになっているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 市のほうでどのくらい欲しいという話を……ごめんなさい、ちょっと暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時31分 休憩

9時32分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 この件数につきましては、市のほうで要望を行いまして、大体その件数に関しては通っているところでございます。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 令和4年度の事業調書のほうで、課題として住宅団地における老朽化した集中浄化槽の更新方法の検討が必要ということが入っていますけれども、これらについて、令和4年度はどのような取組を考えられているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 集中浄化槽を持っているところとは、1団体とは話をしながら

らどのように変えていくかという話はさせてもらっているところでございます。

- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） この団地の集中合併浄化槽から例えば個別の浄化槽、合併浄化槽にするとか、何か手法というのは幾つかあるのですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 これにつきましては、補助制度を確認しましたがけれども、国とか県の補助は、ちょっと今のところはないということだけの確認はできています。ですので、あとは市でどういうふうを考えていくかという話にはなるのかなと思います。以上です。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、よく市町村型の合併浄化槽の設置事業とかという市の財源等を使ってやるという、そういう方法なんかも考えるベースには、そういうものも含まれているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今のは市のコミュニティプラントかと思えますけれども、コミュニティプラントになりますと、かなり市に負担がかかってくるものから、今はそのようなものは考えてございません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） すみません、斎場の件です。令和3年7月から新たに麗峰の丘が始まったわけで、令和4年度が丸々1年新たな予算組みをされた年になったと思います。これまでの単独で事業を推進していた部分と、広域によって事業を行う部分、経常経費の比較としたらどのような形になられたかというのを、もし分かれば教えてください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時35分 休憩

9時37分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 現段階でしっかり比較していないので、今後その辺は確認させていただくようにいたします。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 了解いたしました。議会のほうでも確認させていただくようにします。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 同じく斎場管理運営費のところ、今年度7,960万円の

減額になっています。これは単純に人口比率が変わったからという結果なの
でしょうか。

- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 斎場管理運営費のところは、前回斎場取壊しで 8,000 万入っ
ていたものがなくなっているものになります。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） たしか昨年度の人口比率では 55.47%という数字があった
ような気がするのですが、それで今回 54.22 ということでは、単純にこうい
うところには影響してくるとい、負担割合でという考え方でよろしいので
すか。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時38分 休憩

9時38分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課課長代理。
- 生活環境課課長代理 岡本委員さんの質問なのですけれども、国勢調査が令
和2年で最新になりまして、先ほど申し上げた率については、平成27年の国
勢調査になります。よって、最新になったのが先ほどの説明にもありました
新しい令和2年の国勢調査の数字、負担割合の変更後ということになります
ので、最新が反映されています。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 今負担割合が変われば減額にはなるということですね。
うれしいような悲しいような話ですけれども、そういうことでよろしいで
すか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課課長代理。
- 生活環境課課長代理 事業費自体年度ごと変わってくるかと思いますが、令
和4年度に限っては、事業費ある数字に対して国勢調査の人口が少なくなっ
たということで、そういう視点では安くなったということになります。
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を
終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
賛否に関する意見はありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を
終わります。

生活環境課（第5号）

○委員長（三富美代子） 次に、第5号議案の審査になります。

生活環境課長の説明を求めます。暫時休憩いたします。

9時40分 休憩

9時40分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長の説明を求めます。
（生活環境課長 説明）

○委員長（三富美代子） 説明が終わりました。質疑に入ります。質疑はありますか。木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。先ほど4号墓域のスケジュールは、現時点でないというお話があったのですが、今後墓域を増やしていくという予定は検討はしていないのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 増やしたいとは思っていますので、また今キャンセルもかなりちょっと増えてきていますので、今17件という話ですので、また財政課のほうと協議しながら考えたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 今の件、分かりました。この件について市民の方からとかもっと増やしてほしいとかいう要望みたいなものというのはあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 キャンセル待ち17件、先日電話入ってきたぐらいですので、要望はある方はいらっしゃると思います。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） すみません、1点だけ。

キャンセル待ちは例えば何件になったら、市債に頼ってもやるみたいな考え方というのはあるのですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時45分 休憩

9時46分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。

○生活環境課長 特に件数でやるという定めはありませんけれども、多くなる

ことよっての交渉の余地はあるというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） ほかによろしいですか。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いします。

昨年予算審査のときに区画割設計を財政課で行うというお話がありましたが、それは実施はされたのですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 行っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ということは、工事費も概算が出ているという段階ですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 今全体で出しているのですが、先ほどちょっと半分という話にしましたけれども、全体の金額は大まか出ております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 今基金の残高はどのくらいありますか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課課長代理。

○生活環境課課長代理 令和2年度末の基金の残高が2,022万5,363円です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ある程度キャンセル待ちが17件ということで、申込みの方が増えればある程度の財源の確保ができるという中では、販売をする対象者の枠を広げるといった検討も併せてされていらっしゃるのですか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時48分 休憩

9時48分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。

○生活環境課長 そこまでの検討はしてございません。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 歳入のほうでお聞きさせていただきます。

事業収入で全区画の使用料を毎年徴収をされていると思いますが、実績的に滞納されるという方はいらっしゃるということでよろしいですか。

○委員長（三富美代子） 生活環境課長。

○生活環境課長 そのとおりです。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 徴収業務に時間を割いているようなことは、特にはない

のですか。

- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 実際管理料の支払いをしにくい方はいらっしゃいますので、その方については時間はかかるかとは思いますが、何とか年度内には納めております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 来年度 483 万 7,000 円を計上されていますが、これも 100% 回収する予定でいらっしゃるということでよろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのとおりです。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） ~~そして、公債費も減ってきておりましたが、来年度公債費が全て、令和5年度辺りには支払いが終わる見込みになっていますか。ごめんなさい、ちょっと先の……~~ 暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時50分 休憩

9時50分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほどの質疑を取り消しまして、公債費の支払い計画というのはどのようになっていますか。市債の返済計画というのですか。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 今年度で2件を、全部で残りのあと6件残っておりまして、本年度が2件、令和4年度で1件、令和5年度で2件、令和6年度が9件で、毎年1件ずつ償還が終わっていくようになります。全部で7件です。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時51分 休憩

9時51分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 全部で9件ありまして、今年度2件、来年度は1件終了する予定でございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 先ほどの冒頭の説明でも来年度の4号墓域の予算化ができなかったというお話がありましたけれども、来年度中に予算化を目指しての検討は継続されて、5年度に向けてになるのですか、そうなる。検討は

継続されていくということによろしいですか。

- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 そのように考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） それに合わせて申込みを、募集をかけるような事業は来年度行いますか。事業というのかな、申込みを取りますかというのかな。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時52分 休憩

9時52分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。生活環境課長。
- 生活環境課長 以前にも申しましたけれども、販売予定の見込みがないものの申込みのこちらからのことはできませんのです、申込みの受付をするということはいたしません。

（「暫時休憩してください」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

9時53分 休憩

9時53分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。ほかに質疑はありますか。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 昨年度の予算のときは、とにかく70集めて着手するというすごく前向きなのがあったのですけれども、現状を考えるとないものに対する募集とかPRができないということを考えると、これがあと20増えるということは、なかなか考えづらいなと私は思うのです。そうしたときに、ちょっともう一度この先のやり方が今までどおりでいいのかということに対して再検討という機会は、この令和4年度に設けないでしょうか。このまま引きずっていくのかなという感じがするのですけれども。
- 委員長（三富美代子） 生活環境課長。
- 生活環境課長 おっしゃるとおりに進めなければいけないと思っておりますので、先ほども申しましたけれども、全域というのではなくて、半分やるような形も考えまして、予算を縮減しながらの中で取り組みを考えたいということで財政課と協議していきたいというふうに思っているところでございます。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） そうすると、半分やるという形にするにしても、やっぱり募集をかけないといけないので、ないものの募集はできないと、その辺の

難しい点はクリアしたとしても、よくマンションなんかも内覧会、こんな形でとか、何かとにかく募集して申し込んでいただくということをしないといけないと思うのですけれども、この辺は先ほどの答弁だと全く手だてがないように感じたのですけれども、この辺も何かクリアできそうですか。

(「暫時休憩をお願いします」の声あり)

○委員長(三富美代子) 暫時休憩いたします。

9時54分 休憩

9時55分 再開

○委員長(三富美代子) 再開いたします。生活環境課長。

○生活環境課長 とにかくキャンセル待ちが増えることと工事費を縮減する話の中で、今後財政課のほうと検討はしていくことを考えている予定でございます。

○委員長(三富美代子) 内藤委員。

○委員(内藤法子) いろいろと質疑しましたけれども、申込み、キャンセル待ちが自然に増えるということは、非常に考えづらいので、この令和4年度中にまず半分でも造るという方向に向けて積極的に問題解決に当たるという気持ちはありますか。

○委員長(三富美代子) 生活環境課長。

○生活環境課長 考えなければならないという思いはあります。

○委員長(三富美代子) 以上で第5号議案に関する質疑を終わります。

これより第5号議案について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(三富美代子) 以上で第5号議案に関する意見を終わります。

以上で生活環境課の質疑を終わります。

それでは、休憩いたします。再開は10時10分。美化センターから始めます。

○委員長(三富美代子) 暫時休憩いたします。

9時59分 休憩

10時07分 再開

美化センター

○委員長（三富美代子） 再開いたします。次に、美化センターの審査に入ります。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。美化センター所長の説明を求めます。

（美化センター所長 説明）

○委員長（三富美代子） 美化センター所長の説明は終わりました。

質疑に入ります。質疑はありませんか。木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。

先ほど説明の中で、72 ページ、資源ごみの売却の件ですが、先ほど資源ごみの中で残ったものを最終的に金属を売却するというので、この金額が増額になったというような話でしたけれども、こちらの残った金属とかいうのは、最近、鉄が値上がりしているのですけれども、そういうのは影響されているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 単価も上がってございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） ~~ちなみにその売却された数量というか、何トンとか、そういうものというのとは分かりませんか。~~

（「ちょっと暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時14分 休憩

10時15分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。木村委員。

○委員（木村典由） すみません、今の質問は取り消します。

それでは次、203 ページになります。委託料の焼却委託の件なのですけれども、令和3年で長期継続契約が切れるということで、先ほど説明の中で令和4年度からまた契約をするというような内容だったと思うのですけれども、令和4年度からはまた長期契約にて入札にての契約になるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 そのとおりです。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） 先ほど木村委員のほうからありました焼却委託のところ、単価的に大きな変化があるように見えるのですが、ちょっと説明をお願いします。

ます。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長

○美化センター所長 ここに計上しているのは、見積りの金額になっております。以前今年度までやっている金額は約 4,000 万弱であったものですから、金額に大きな変化は見られております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、入札におきまして実態的にはその辺まで現状、今、今年の本年度 4,000 万弱のところまで下がることを想定しているという考え方でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 そこまで下がることは見込んでいません。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ということは、このそもそもこの単価自身、ごめんなさい、前年度をちょっと確認できていないですけれども、大幅な値上がりの要因は何になりますか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長

○美化センター所長 人件費の高騰が考えられます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） ちょっと答弁が曖昧で、考えられるというのは、先方からの相見積りというか、見積りの段階での試算がその形だったというふうな解釈でよろしいでしょうか。中身は見ていないということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 ちょっと暫時休憩いいですか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10 時 17 分 休憩

10 時 18 分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。

○美化センター所長 見積りを取った段階……ちょっと暫時休憩でお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10 時 18 分 休憩

10 時 19 分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。

○美化センター所長 前は 5 年間でやっていたところが大きな要因になって

いるかと思えます。人件費も確かに上がってはいるのですけれども、その辺も含めてこの金額になっております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。今回は5年の計画ではなくて3年にした理由をお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 令和6年度で美化センターのほうの延命化工事の定期整備までの含めた工事が終わりますので、その後ちょっと大きな工事を考えたいなというところを思っているところでございます。その関係ですと、大きな工事をやる際には、連続運転がかなり重なってきまして、委託の人数の算出の根拠ができなくなりますので、今回は3年で切っているところでございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。

昨年の審査の中で、今回説明ありましたけれども、ごみ細分化することで高く売れましたよというふうなお話があって、すごいいいことかなと思うのですけれども、その分別に係るコストというのを考えた場合、ちゃんとプラスになっていると考え方でよろしいでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 そのように考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） となりますと、今後は多分市民に対して協力を求めていくことについての検討なんかを行っていく必要があるとは思っておりますけれども、次年度そういった検討については、行う考えはありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 なかなか周知させていくものも難しいですし、結局やっていただいたとしても、もう一回作業が重なってくると思いますので、そういうこともやっていく必要性はあるかと思っておりますけれども、あまり作業は変わらないのかなというふうに思っているところでございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。次年度、紙の関係について、古紙回収、歳入等に向けて協議というか検討が行われるよというふうな話がありました。次年度はどのような形で古紙の回収を行っていくか、協議の結果に基づいてどんな形で進めるのかをお聞かせいただきたいと思えます。

（「暫時休憩をお願いしますの声あり」）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時21分 休憩

10時22分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。
- 美化センター所長 そちらに関しては、ちょっと行ってございませんでした。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 書面の現地審査で伺ったのですけれども、今回焼却炉の予防保全ということで工事を行う説明を受けました。1日のごみの量というものが、工事を行わない場合……修繕を行っている間、炉が1つしか稼働していないことによりごみの回収量に対しての処理量がキャパオーバーになる、その間の対応についてどのように行うのか、ご説明をお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 土日の連続運転などでカバーしていく予定でございます。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 考え方は分かりました。その間の保管場所については、問題なく一時保管できるよということですのでよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 そのように考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） これに関しまして、市民への影響はないという理解でよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 そのように考えております。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時23分 休憩

10時25分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。
- 委員（内藤法子） すみません。
（「ちょっと今のでいいですか」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時25分 休憩

10時25分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。

○委員（内藤法子） では、美化センターについてお伺いします。

一般廃棄物処理基本計画ができました。それで、令和4年から10年間の処理方針ができたのですけれども、美化センターはもう何年も前から待ったなしと言われていています。令和4年度に具体的に美化センターを更新するということに関して動きというのは、具体的な動きはこの予算の中では何がありますか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 この令和4年度の中には入ってございません。ただ、県との会議とか何かで、今広域の中の調整会議を来年度から行うように考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ~~令和4年度から県との調整の中で広域化計画をつくるということで、令和4年度にはできるというふうに理解してもいいのでしょうか。~~

（「ちょっと暫時休憩でいいですか」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時26分 休憩

10時27分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。

○委員（内藤法子） ただいまの広域化計画はできますかという話は取り下げます。広域化に向けて裾野市はどのような方向で段取りで進んでいるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 どちらにしても、10年以上かかる話になりますので、6年度以降にちょっと大きな工事を行ってもたせるようなことを考えていく予定でございます。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 延命処理をずっと続けてきているのですけれども、この状況の中で毎年毎年延命して、最大どれくらいまでもつというお考えがあるのかなと思います。伺います。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 一応10年を考えております。令和7、8で大きい工事ができればいいなというところではちょっと思っているところです。そこから10年間ぐらいもたせたいと、ちょっと今は思っているのですけれども、補助

金の関係とかもろもろの関係でちょっとそれができるかどうかというのは、今検討しているところの段階でございます。

- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 確認しますけれども、候補地の検討はもう決まっているのですか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 まだそこまでは決まってございません。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） なかなか用地の選定とか余熱利用とか広域化とかは課題がたくさんあると思います。待ったなしというのは、もう何年も前から言われているので、しっかりと令和4年の中で執行していただきたいと思います。以上です。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑ありますか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 今の件に関連しますけれども、来年度から県の調整会議に参加されるということですが、裾野市として広域化で進めるというのは、方向として決められたことということになりますか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 ちょっと暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時29分 休憩

10時30分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。
- 美化センター所長 絶対に広域でやるという話の中で動いているものではなく、手段の一つとして参加させてもらっているということになります。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その来年参加される県の調整会議というのは、県が主体となって自治体に声をかけてくださっているような会議になりますか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 3市2町で……ちょっと暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時31分 休憩

10時31分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。
- 美化センター所長 県に頼ませてもらってやっただいているというもの

になります。

(「ちょっと暫時休憩をお願いします」の声あり)

○委員長(三富美代子) 暫時休憩いたします。

10時31分 休憩

10時32分 再開

○委員長(三富美代子) 再開いたします。ほかに質疑はありませんか。岡本委員。

○委員(岡本和枝) 昨年度最終処分場に係る埋立て終了計画委託というのが行われましたけれども、それは今年度への計画の影響というか、これはどんなふうに実施されるものなのでしょうか。

(「ちょっと暫時休憩をお願いします」の声あり)

○委員長(三富美代子) 暫時休憩いたします。

10時32分 休憩

10時33分 再開

○委員長(三富美代子) 再開いたします。美化センター所長。

○美化センター所長 本年度基本計画を行いました。その基本計画の中で調整池の造る形の中、ちょっと新たに調整池を造らなければならないという問題が起きまして、あとそういう中で……ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長(三富美代子) 暫時休憩いたします。

10時33分 休憩

10時34分 再開

○委員長(三富美代子) 再開いたします。美化センター所長。

○美化センター所長 埋立地の関係の計画を来年度実施計画をやる予定でいましたけれども、地権者との交渉を行わなければならないところがありますので、来年度は見送ることとしております。

○委員長(三富美代子) 岡本委員。

○委員(岡本和枝) その調整池を造らなければならないという理由は何なのでしょうか。

○委員長(三富美代子) 美化センター所長。

○美化センター所長 全体的なもので再度降雨量の見直しとか何かがあった関係で、少し設けなければならないことが出てきましたので、その辺の検討が必要になったということになります。

○委員長(三富美代子) 岡本委員。

○委員（岡本和枝） 土壌汚染の程度というものもこの計画の中では示されたのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 土壌汚染の関係は、この計画の中には入ってございません。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） もう一点、プラスチックのことで、22年の4月から脱プラということで地方自治体も今までのプラの回収プラスおもちゃとかなんとか、そういうものも回収するように、努力義務だということなのですが、そういうふうに法律が変わりましたけれども、そのことについてはどのようにお考えなのでしょうか。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時36分 休憩

10時36分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。

○美化センター所長 分別の内容とか何かはつい最近出たばかりですので、あとまた収集の仕方とか分別の仕方とかまた考えていかなければならないので、令和4年度からその辺の検討を行う予定であります。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） すみません、201ページです。委託料が何件かありますけれども、コロナ禍で複数年にわたって同じ金額で委託に出しているものが多々見られます。その契約等の方法について伺いたいと思います。例えばですけれども、プラスチック製容器包装リサイクル処理委託、こちらも複数年にわたって同じ金額で委託を出していますけれども、まずこの委託に出すときの業者の選考の方法というのはどのようにされていますか。

○委員長（三富美代子） 美化センター主査。

○美化センター主査 プラスチック製容器包装の処理委託につきましては、単価契約により一社随意契約となっております。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時37分 休憩

10時38分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 金額的には2,328万ですので、普通でしたら入札で決める金額になると思いますが、あえて随意契約をされている、何号随意契約とかというのがあるかと思いますが、これはどういった理由で随意契約になっていますか。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

○美化センター所長 これにつきましては、年度の当初から行わなければならないものですから、来年度の契約は、来年度のものは今年度中にこれは入札……

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時38分 休憩

10時39分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター所長。

○美化センター所長 1社しかないものですから、そのようになっています。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その他はペットボトル関係です。収集運搬委託、それからリサイクル処理委託に関しても複数年同じ金額になっておりますけれども、この業者の選定の仕方というのも教えてください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

10時39分 休憩

10時39分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。美化センター主査。

○美化センター主査 ペットボトルのほうもプラスチック製容器包装と同様に港のほうで処理委託のほうを1社で行っております。収集運搬委託のほうにつきましては、市内3業者できるところ、これは事前準備行為のほうで行いまして、4月1日から収集運搬を行わなければならないものですから、見積り合わせによって行っております。

○委員長（三富美代子） よろしいですか。

○委員（賀茂博美） はい。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 205ページの処分場の借地料の関係なのですけれども、借地をなるべく減らしていこうという動きの中で、従来から取り組んでいるとは思いますが、令和4年度で何か新たな動き、どういう取組をしていくのか教えてください。

○委員長（三富美代子） 美化センター所長。

- 美化センター所長 買取りを行いたい方向の話を地主の方としていきたいというふうには思っています。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 全体を買取りしたいということで話を進めていくということですか。
- 委員長（三富美代子） 美化センター所長。
- 美化センター所長 その予定でございます。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 単価、借地の解消というのは大きなテーマでございます。今課長が言ったのは、選択肢の一つとして借地の解消として買取り、それならばどういう条件になるか、そういうことを今先方のほうに話をしているところでございます。
- 委員長（三富美代子） 勝又委員。
- 委員（勝又利裕） 買取りについて協議をしているという、そういう解釈でいいのですか。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 買取りに応じていただけるか、そういうところの意思確認から始めております。
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
- これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
- 賛否に関する意見はありませんか。
- （「なし」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
- 以上で美化センターの質疑を終わります。
- 暫時休憩いたします。

10時42分 休憩

10時45分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

深良支所 富岡支所 須山支所

○委員長（三富美代子） 深良支所、富岡支所及び須山支所は関連がありますので、一括して審査いたします。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。初めに、深良支所長の説明を求めます。

（深良支所長 説明）

○委員長（三富美代子） 続いて、富岡支所長の説明を求めます。

（富岡支所長 説明）

○委員長（三富美代子） 続いて、須山支所長の説明を求めます。

（須山支所長 説明）

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありますか。木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。107ページ、委託料の防犯サービス等委託料について3支所に伺いたいと思います。

こちらのサービス等はどのようなものなのかをお聞きしたいです。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩します。

10時57分 休憩

10時58分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。順番でよろしいですか。深良支所長。

○深良支所長 深良支所ですけれども、外部の方が侵入をするということの長期契約になっております。それ以外にはございません。

○委員長（三富美代子） 続けて、富岡支所長。

○富岡支所長 富岡支所につきましても、深良支所と同様の防犯サービスでございます。セキュリティー業務を執り行っております。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山支所につきましてもほかの支所と同様でございます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 分かりました。ありがとうございます。皆さんその単独のセキュリティーが入っている、プラスアルファはないということで、分かりました。こちらの防犯サービスに関してなのですけれども、去年の答弁の中で、深良支所は5年の長期契約ということになっているので、いいと思う

のですけれども、令和4年度に関しまして、富岡支所、須山支所に関しまして、先ほど富岡支所は長期契約を考えたいみたいな形の説明がありましたけれども、去年の答弁の中で、令和3年度以降の長期契約をすることで経費を含んだ警備業務委託のほうを考えておりますという答弁があったのですけれども、今年に関しては、入札して長期契約というような形を取っていますでしょうか。

- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 こちらにつきましては、令和4年度当初に入札による長期継続契約を結べるように準備を進めております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） そうしますと、例えば予算書を見ますと、深良支所の金額に対して、先ほど同じようなシステムが入っているという中でいいますと、その長期契約を結ぶことによって、恐らくその金額が下がると思うのですけれども、ここに掲載されている金額が深良支所に比べて結構高いとなっているのですけれども、これはどういうことでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 こちらにつきましては、予算計上の際に事業者から見積りのほうを取得をいたしまして、その金額を基に取得をしております。入札をかけますと、一般的にこれよりも金額は下がる形になろうかと思っております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） では、一応予算は組んでいますけれども、実質はもうちょっと安くなるという見込みでよろしいでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 そのように考えております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） ありがとうございます。須山支所も同様な質問をしたいと思うのですけれども、須山支所はどのように考えていますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 須山支所長。
- 須山支所長 支所の防犯サービス等の委託でございますが、須山支所につきましても5年の長期契約をしております。今年度に契約をしました。須山支所の場合は、須山という地域柄、光回線が通っていないということで、独自のインターネットの配線を業者が引っ張ったりとかしまして、随意契約で仕方がなく契約を結んでおります。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） その件に関して、去年そのような答弁があったので、私ちょっと警備会社のほうに知り合いがいましたので、確認させてもらいまし

た。その光回線とかそういうことは、はっきり言ってもう今は関係なくて、要はその警備会社自体が大手の携帯会社の電波を使ってもう情報を取るといふ話だったので、あまりその光回線がどうかということ、恐らく関係ないということを確認しております。それで、それによって随意契約しかできないというのは、ちょっとどうなのかなというふうには私は思っているのですが、単価的にはやっぱり高いと思っているので、今年その長期契約をしたと言いましたけれども、令和3年度、令和4年度もその長期契約の割には高い……

○委員長（三富美代子） 質疑を簡潔に。

○委員（木村典由） すみません。高いと思いますけれども、それについてはいかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時03分 休憩

11時04分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。須山支所長。

○須山支所長 令和3年度今年度に5年の長期契約をしておりますので、金額的には5年間同額でございます。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。支所の運営に関してということで、今まで担ってきた業務があるかと思うのですが、機構改革によってコミュニティ課内の支所ということに変わってまいります。それによって市民が影響を受ける部分とかというのはあるのかどうかの確認をさせてください。

○委員長（三富美代子） そうすると……

○委員（杉山茂規） 3支所。代表でもいいのですが、特徴もあると思うので。

○委員長（三富美代子） では、深良支所長。

○深良支所長 現在考えておりますけれども、特に支障はないと思われま

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 同様に支所の業務、役割に変更はないものと考えております。

○委員長（三富美代子） それでは、須山支所長。

○須山支所長 須山支所においても他の支所同様でございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。そうなりますと、次年度コミュニティ課

ということの中では、様々な新しい役割というか、もともと地域との連携も含まれてはいるのですけれども、新しい役割が加わってくるところ、そんな部分につきまして次年度どのような形で取り組んでいくかにつきましてお考えをお願いいたします。

- 委員長（三富美代子） それぞれ3支所でよろしいですか。
- 委員（杉山茂規） そうですね、一応地域性もあると思うので。
- 委員長（三富美代子） では、深良支所長。
- 深良支所長 現在と変わらず団体、地域との共有という形で考えております。
- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 富岡地区につきましては、地域行事、地域事業が非常に多い土地柄でございましたが、コロナ禍でほとんど中止あるいは延期を余儀なくされております。まずはそれらを復活させ、以前のような活力のある地域をつくり出していくということが支所に与えられている業務だというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 次に、須山支所長。
- 須山支所長 須山地区につきましても富岡の支所長が言ってくれましたけれども、同様に考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 考え方のほうは分かりました。今回新たに入る部分、例えば人権とか市民110番、110番はあれですけれども、男女共同参画・国際交流とか、その辺につきましての取組というもので新たに考えられているもの、あるいは検討していきたいなというものがありましたらお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 深良支所長。
- 深良支所長 特には今のところ新しくそういうことは、現在の仕事を継続するという形で考えております。
- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 富岡支所も同様でございます。
- 委員長（三富美代子） 須山支所長。
- 須山支所長 須山支所も同様でございます。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。では、最後です。生活困窮者の支援事業ということで、総合福祉課で今度実施されます。支所として注視すべき部分、例えば区長さんが関与しているいろんな相談等もあろうかと思うのですけれども、支所としてそういった部分について今後関わっていこうとか、関わろうとしている部分あるのか、あるのでしたらちょっと考え方を伺いできればと思います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時08分 休憩

11時09分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。深良支所長。

○深良支所長 区長さんとか、あと本庁とのパイプ役になり、もしくは民生委員さん等に声をかけたりパイプ役としてつなぎ役としていきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 富岡支所についても同様でございます。民生委員さんですとか区長さん方、定期的にお集まりをいただいております。人、情報が共有できる形が整っておりますので、そういった中で必要な情報の伝達をしていきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山地区につきましても本庁から遠いという地理的な条件がありますので、常日頃支所に多種多様な相談者が見えられますので、今まで同様に対応していきたいと考えております。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。内藤委員。

○委員（内藤法子） お願いします。本庁の庁舎管理でお伺いしたのですけれども、各支所には自販機を置くとかいう計画はないのでしょうか。利便性とかそれとも防災のときとか、いろんな意味で現在は自販機はあるのでしょうか。歳入も増やすというのもありますけれども。

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 深良支所では自動販売機はございません。ただし、令和2年度から婦人会さんなのですけれども、コーヒーメーカーを置いて有償提供ということで置いております。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 富岡支所においては、現在のところ自販機を置く計画等はありません。以上です。

○委員長（三富美代子） 須山支所長。

○須山支所長 須山支所につきましても、自販機を設置をしておりません。人口の関係とかもございしますが、支所の近くに自販機が設置をしておりますので、それで十分なのかなというふうに判断をしております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 須山の件は分かりました。確かに近くにあるということで。深良と富岡なのですけれども、本庁舎のほうも地下に3台あって、毎年

歳入があります。少しでももし歳入になると、最近はやっぱり熱中症とか水分補給とかあるので、これは検討すべきだと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 環境市民部長。

○環境市民部長 こちらのほうは、自動販売機はやはりスペースを取りますので、そういったところも含めて研究してまいります。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ほかに富岡支所に伺います。新しい地区としてミライエートとか入居が始まります。今里にも新しい地域ができましたけれども、新しい区が発生したときの、そこの関係はどのようにしてやっていたらいいのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 今里に新しくできたところにつきましては、1つ今里上区という区を新しくできまして、そこに他の区と同様対応させていただいている状況でございます。また、ミライエートにつきましては、御宿新田区の一部になるということですので、まずは御宿新田の中で区内の区民として活動していただく。そういった活動について支所が必要があれば支援をしていきたいというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 今里は1つ上区ということで、今里が1つの事例になると思うのですけれども、その自治会の加入率というのは、既存の区に比べてはどうでしょう。

○委員長（三富美代子） 富岡支所長。

○富岡支所長 今里上区につきましても加入率といたしましては他の区と同様あるいはもう少しいいぐらいの形で加入はしていただいているものと認識しております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） ~~ミライエートもその調子で頑張っていたきたいのですが、全体にやっぱり集合住宅とかで区に入る人が少なくなって、加入率は各地区どうなのでしょう。全体を見て下がっていると私は思っているのですけれども、今上がっているところもあるという、各地域、須山はもう全員ということは伺いましたので、深良と富岡をお願いします。~~

○委員長（三富美代子） 深良支所長。

○深良支所長 ちょっと暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時14分 休憩

11時15分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 今の質問は取り消します。以上で終わります。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 今の内藤委員の質疑の関係でちょっと確認なのですが、深良支所に対しての行政財団さんの貸付けということで、コーヒーサーバーは、これ22款4項2目の32番に書いてある、これがコーヒーメーカーの貸付けの使用料ということの収入はあるということによろしいのでしょうか、確認です。
- 委員長（三富美代子） 深良支所長。
- 深良支所長 収入はございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） お願いいたします。来年度ですけれども、支所の中でリモート環境を整備を考えていくことがあるかということでお伺いします。暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時16分 休憩

11時17分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。深良支所長。
- 深良支所長 令和3年度今年度から深良支所は深良財産区のほうでWi-Fiを入れていただきまして、設備のほうはそろっております。
- 委員長（三富美代子） 富岡支所長。
- 富岡支所長 富岡支所におきましてもリニューアル工事に伴いましてWi-Fiルーターを置ける配線工事は既に完了しております。実際にこれをルーターを入れて運用し始めるかどうかにつきましては、先行している深良支所の事例を基にただいま検討しているところでございます。また、地域からの要望、あるいは必要があるというふうに思われたときには予算化に向けて検討してまいりたいと思います。
- 委員長（三富美代子） 須山支所長。
- 須山支所長 ~~須山支所におきましても深良支所でWi-Fiを整備したということ、見学をしたりとか検討をしました。設置をするのであれば、須山振興会の予算でというふうに考えておりますけれども、支所なのか須山の研修センターなのか、逆に研修センターのほうが一般の若い方とかご婦人とかで利便性が高いのかなというようにいろいろ検討をしている段階でござ~~

います。

- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 分かりました。それぞれに考えていただいているということで、ぜひよろしく願いいたします。
深良支所のほうに伺わせていただきます。予算書 107 ページに深良郷土資料館運営委員会への研修の負担金を支出されております。この資料館の管理というのは支所のほうで行っているものでよろしいですか。
- 委員長（三富美代子） 深良支所長。
- 深良支所長 運営委員会と支所のほうで管理のほうをしております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 資料館に対する予算措置というのは、来年度何かありますか。この研修負担金以外で。
- 委員長（三富美代子） 深良支所長。
- 深良支所長 特にはございません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この資料館の活用というのは、何か来年度使っていこうとかという計画みたいなものというのがあるのですか。
- 委員長（三富美代子） 深良支所長。
- 深良支所長 この資料館には深良用水とか深良の農機具とかものが展示されておまして、特に小学校、中学校とかが見学に来たり、あとは来所者が見学に来ることがございます。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 貴重な資料もたくさんあると思うので、多くの方に見ていただきたいと思いますが、それらに対して何か工夫をしていくような考えはありますか。
- 委員長（三富美代子） 深良支所長。
- 深良支所長 場所自体がちょっと奥まっているところもございしますが、現在文化センターのほうで深良用水の特別展示展を行っております。
- 委員長（三富美代子） ほかはよろしいですか。
以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。
これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。
賛否に関する意見はありませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長（三富美代子） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。
以上で、深良支所、富岡支所及び須山支所の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

11時21分 休憩

11時22分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。
休憩いたします。

11時22分 休憩

11時24分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

答弁訂正

○委員長（三富美代子） 初めに、須山支所長より発言の申出がありますので、これを許します。
須山支所長。

○須山支所長 先ほどの須山支所のWi-Fiの整備についての発言でございますが、削除をよろしくお願いします。令和4年度において須山支所としてWi-Fiの整備について検討をしております。よろしく願いいたします。

○委員長（三富美代子） よろしいでしょうか。
（「はい」の声あり）

○委員長（三富美代子） では、ご了承願います。
暫時休憩いたします。

11時25分 休憩

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

市民課

○委員長（三富美代子） 市民課の審査に入ります。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。市民課長の説明を求めます。

（市民課長 説明）

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありますか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしく申し上げます。次年度、課が2つに分かれるというか、恰好になります。住基の部分と地区振興ということなのですからけれども、先ほど支所でもお伺いしたのですが、この変更というか、これによりまして市民が影響を受ける部分というのはありますでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 現在地区振興係として活動している東地区、西地区及び区長会全体ということの運営の支援を行っておりますが、今度ほかにそれに絡む地域コミュニティあるいはもろもろのが発信できる内容が備わったコミュニティ課になりますので、今以上に連携がよくなるのではないかと考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） よくなるということで、よかったです。ということは、もう次に行きます。令和4年度の実施計画の中で、コミュニティ課、各支所の課題の中では具体的なこういう課題に取り組んでいきますというものが記載されておりますが、要はコミュニティ課、東地区と西地区の部分につきましては、これこれこういう課題に取り組んでいくというものが記載がありません。その点に関しまして、次年度こういったものについて取り組んでいく、あるいは取り組んでいきたい、検討していきたいとお考えがあれば、東地区、西地区の部分につきましてお伺いできればと思います。

○委員長（三富美代子） 市民課課長代理。

○市民課課長代理 西地区と東地区におきましても富岡、須山、深良地区と同様でございますが、コロナ禍においてもコミュニティまつりとかここ何年かできていない状況でございます。そういったものの復活のようなことも考えつつ、地域コミュニティの活性化に向けて頑張っていきたいと、このように計画してございます。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。次です。関連するのですけれども、富岡、

深良、須山につきましては支所があるということの中で、支所長が中心となった調整をされているということがあります。東、西におきましても同様なことをやっていただいているのですけれども、区長さんの中からは、そういうふうなものをもっとやってほしいよというふうな声も聞こえております。その部分につきましては次年度力を入れて取り組んでいこうというふうな部分につきましては、何かありますでしょうか。

（「暫時休憩」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時46分 休憩

11時47分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。市民課長。

○市民課長 区長をはじめ地域の方たちとの連携を深めながらそういうところをより太く進めていきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） ほかには質疑はありませんか。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 市民課窓口委託がのっていますけれども、マイナンバーカードの事業がすごく膨大になってきていて、国からも補助金はしっかり来ている。だけれども、市のほうで人材派遣とか人員を増員をしていかなければいけないというのは、今年度もそうですし、また来年度もそうだとということの中で、窓口を委託をしていること、そのこととの問題みたいなものとか、その辺は何かあるのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 確かにおっしゃるとおりマイナンバーカードの交付、申請が非常に伸びてきておりまして、将来の社会基盤となるカードになるかと思うのですが、それに伴う人員は、令和5年度から実際4人という、会計年度任用職員の増員を含めて出張申請まで行けていますので、来年度に向けて問題はないとは思いますが、委託さんは交付のときに最初の本人確認のところで、その後は後ろのバックヤードのほうの人間がやりますので、そこについては問題は今のところありません。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩します。

11時50分 休憩

11時50分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。市民課長。

○市民課長 すみません、先ほどの説明で令和5年度からという話がありましたが、今年度令和3年度からです。失礼しました。

- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） それでは、この行革の中で市民課窓口を民間に委託することについての課題のようなものというのはどのように捉えられているのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 行革の中で、資料にもありますとおり、見直しをしていくと、そういったところが強く与えられておりますので、今現在経過年で来年度2年目になります。単年、単年でしっかり研修していきたいと考えております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、もう一点。27 ページ、昨年度マイナンバーカードと通知カードの再発行の手数料がのっていて、それは制度が変わって今年度はのっていないのですけれども、例えば個人番号カードの再発行ということで、その盗難とか紛失とかの場合にも無料で再発行されるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 盗難等残念な部分ではあるのですが、手数料に関しましては、先ほど言った団体の政策手数料になりますので、再発行手数料というのは、やっぱり1,000円いただきます。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） では、その場合、市の収入という形でこの予算書にはのせる必要は全くないということですか。
- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 今年度よりその団体から委託を結びまして、歳計外というところでお預かりをしながら、最終的にその団体に送金するというので、当一般会計への収入にはなりません。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 分かりました。では、そのことが市民が紛失の場合は1,000円、800円と200円で1,000円ということとか、その辺。それと、予算上はどこにものっていないけれどもというような、そのようなことの市民が知る周知はどのようにされるのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 市民課長。
- 市民課長 再発行に関して件数が少ないので、PR等は今のところしていませんでしたが、マイナンバーカードの普及がかなり50%を超えてきましたので、そういう部分につきましても広報等紙面、丁寧な広報をしていきたいと考えております。
- 委員長（三富美代子） 岡本委員。
- 委員（岡本和枝） 昨年度の決算の中で60件の再発行という数字があるので

すが、その中でそれでは紛失とか盗難、そういうケースというのは全くなかったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 すみません、今件数の割合は、すみません、手元にないのですが、その中に警察による盗難によって届出をした上での再発行という件数は確実にあります。もう一方で、ちょっと写真が気に要らないとかというような再発行もあります。どちらもあります。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） すみません、市民課窓口委託の関係で、行革のほうで計画書には次期更新年度までに手法の再検討とあるのですが、具体的に今考えていること、4年度で考えることがあれば。言えなければ言えないでいいです。

○委員長（三富美代子） 市民課長。

○市民課長 以前も行っていたと思うのですが、3年間の委託の中で初年度来年令和4年度が2年目真ん中になるのですが、そこにおいて今の現状の分析とその後について委託をどう改善していくか、あるいは手法的に取っていくか、別の方向にするかというのは1年かけて検討していきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。第2期行財政構造改革の中で、ページとして113ページですけれども、区長活動費交付金、それから区運営費交付金、例年どおりの予算計上になっています。令和5年度に向けての協議を来年度からしていかなければいけないと思いますけれども、地域の中とどのような話し合いを重ねていって進めていくのかについて伺います。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

11時55分 休憩

11時58分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。市民課長。

○市民課長 現在、区長さんが市のほうに来て行っている窓口、それぞれ分かれているものを1つにまとめたような形で取扱いができればということで検討していきたいと思っております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） ぜひ丁寧に、お互い協議できるように、説明できるように意見を聞いていただきたいと思いますので、お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で市民課の質疑を終わります。

休憩いたします。

11時58分 休憩

12時57分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

危機管理課

○委員長（三富美代子） 危機管理課の審査に入ります。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。危機管理課長の説明を求めます。

（危機管理課長 説明）

○委員長（三富美代子） 説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありますか。木村委員。

○委員（木村典由） お願いします。136ページなのですけれども、交通安全対策の委託料のところ、駐車管理委託なのですが、こらちの内容、委託先だったりとか駅に対する配置人数を教えてくださいませんか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 この駐輪場の管理委託ですけれども、シルバー人材センターに委託している内容になります。主な業務ですけれども、駐輪場の自転車等の整備というか並べ換えるとか、あとは防犯のパトロール、あとは放置自転車があった場合にこの撤去、この作業をしていただいているということで、ほぼ毎日、朝はやっていただいていると。あと、夕方週に何日かという形で、そういうような作業をお願いしているという内容になります。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 土日ということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 平日のみということです。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 配置人数は、岩波と裾野で何人ぐらいとかは分かりませんか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 ちょっと今その配置の人数の数字は持ってありません。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） 令和元年、2年のところを見ると、随意契約されていて、委託をしていないようですが、こちらは入札などは検討されていないのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 シルバーへの委託は、随意契約の中で規定がありまして、そ

ちらに基づいて実施しているということになっております。

- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。今後裾野駅西側に駐輪場が設置される予定ですが、財政が逼迫している中、受益者負担の考えから、駐輪場料金を徴収するといったことは検討されなかったのでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 料金徴収のほうは検討しておりません。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 各自治体における受益者割合の設定状況というものを調べてみたのですが、駐輪場とか駐車場が大体位置づけとしては市場のかつ選択的な施設ということで、割とどこの自治体も有料というところが多かったです。今後は裾野市の財政状況を考えた中で有料にしていくといったような考えはありますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 検討してまいります。有料という部分でありますけれども、ほかの自治体、有料箇所もある、無料の箇所もあるとか、そういう併用とかそういうところもあるようですので、研究の余地があると思います。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。

では、続いて 272 ページになります。非常備消防費について伺います。報酬が令和 3 年と同様で、定数 240 人分計上されております。現在の消防団員の人数を確認させてください。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 現時点ですけれども、192 名ということになっています。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。
- 委員（木村典由） 分かりました。192 名、結構減っていると思います。このコロナ禍において団員確保の勧誘等大変厳しい状況が続いていると思うのですが、市として消防団員増加に効果的な取組は何か検討されていますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 個別にこれというものはないのですが、団本部の方と協議して、団員確保に向けて事業所の制度もあると思いますので、そういうのは積極的に PR していくということ。あとは、東分団なんかまた別な意味でスポーツを通じてなんていう形での取組もあるようですから、そんなようなものを参考にしながら今後進めていければなと考えております。
- 委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） ありがとうございます。消防団員の勧誘の材料として、例えばなのですけれども、子供がいる団員が市営の保育園であったり幼稚園、優先的に入らせてもらえるとか、お金がそういうことで絡まないような市のサービスを優先的に受けられるような取組があったらいいのではないかとというような声とかありますが、そういうような優遇措置、お金かけなくても優遇できるような措置みたいなことは考えているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 具体的な部分はまだというところですが、そういうものの状況があれば参考にして、今後調査というか進めていければなと考えます。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） ありがとうございます。先ほどもちょっと出たのですけれども、現在消防団協力事業所表示制度がある中で、市のホームページで紹介されていますけれども、現在その市のほうで登録されているのはこのホームページで紹介されている2社で増減はなかったのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 現在のところはそういう形です。

○委員長（三富美代子） 木村委員。

○委員（木村典由） こちらの制度で認定された際のメリットみたいなことを調べてみたのですけれども、静岡県は先ほど出たように、事業税の控除、これちょっと間違っていたらごめんなさい。もしかしたら令和4年の3月31日で終わりではないかと……

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時17分 休憩

13時17分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。木村委員。

○委員（木村典由） メリットを調べてみたのですけれども、静岡県の事業税の控除があったりとか、熊本県では工事入札の優遇であったりとか事業所の表彰、企業名の公表などいろいろメリットがあるかと思うのですけれども、裾野市独自のメリットみたいなものは検討されているのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 個別に裾野市独自というのは、今のところ検討はまだしていないという状況です。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） よろしくお願ひします。まず、駅西の駐輪場の整備の件

です。先日現地視察というか書面審査の中で概要について説明をいただきました。その中でちょっと意見が様々出ていたと思うのですが、駅前の広場、あのエリアが完成に近づくにつれて道路が供用開始されていくところが多々あるかと思えます。次年度の整備に関しまして、その部分の内容を含めた検討というものは、行っていくのか伺います。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時19分 休憩

13時19分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 区画整理課で計画されている平成5年度、平成6年度、こちらに対しての歩道等の整備、このような状況を踏まえて今回の駐輪場の整備というものを考えているということになります。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。今平成と言いましたけれども、多分令和だと思います。

（「令和です。すみません」の声あり）

○委員（杉山茂規） その部分についてちゃんと確認をした上でということでは理解しました。

次です。ちょっと大きな話というか、全体的な話なのですけれども、行財政構造改革を踏まえてということの年度になるわけなのですが、課として全体的な部分で、どんな事柄に力を入れるのか、どこに重点的に取り組んでいきたいのかについて考え方をお聞かせください。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 行財政構造改革の取組ですけれども、3年度の事業の見直しにつきましては、当課大きく廃止とか減額というものはありません。ただし、交通防犯防災もそうなのですけれども、事業手法、この見直しについては、検討する余地があるということで考えております。一部は減額という形もありますけれども、その辺の部分で効果的な事業を進めるということで、検討していきたいということで考えております。

○委員長（三富美代子） 杉山委員。

○委員（杉山茂規） 分かりました。構造改革の考え方の中での取組ということで理解いたしました。課全体としてその部分を抜いた中で、そこは取り組むのですけれども、特に力を入れていくジャンル、事柄、そういったものがあればお願いいたします。

- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 全ての事業につきまして安全安心という意味では、どれも大事かなというところで考えております。交通につきましては、本年度交通安全計画を作成して、これに伴って事業を進めていく。防災とか消防に関しましては、こういう自然災害の甚大な被害とか全国でありますので、それに対応するためには効果的な訓練、そういうものを進めていく。あとは、自助、共助、こういうところの力を強くしていきたいということで、そういうものは引き続きやっていくということを考えています。また、新しい情報とか機器とかそういうものがあれば積極的にそれをPRしていきたいというふうに考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。先ほどの答弁の中で、効果的な訓練ということでありました。行革の資料の中にも防災訓練の見直しを検討とあるのですけれども、具体的にはどんな形で見直しの検討を行っていくか、行うその方法、やり方についてお答えください。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 ここ何年か続けている、例えばモデル地区訓練とか総合防災訓練、あと地域防災訓練、これは継続的に実施していくというふうに考えています。ただ、裾野につきましては86の自主防災会があります。今一律に防災訓練をお願いしているという状況にありますけれども、補助金の要綱も含めまして、やり方、そういうものをちょっと研究していく必要があるかなというように考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 補助金の交付の仕方を検討することで理解はいたしました。今度は細かい話にちょっとなってしまいますのですが、1点だけ確認させてください。143 ページです。防犯カメラのところなのですが、33 台の保守点検ということで、昨年台数についてお話、配置についてもお話しいただいております。61 万 6,000 円ということなのですが、1 台当たり約 5,000 円ということで、具体的にはどんな保守点検をされているのか、内容についてお願いいたします。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 防犯カメラにつきましては、常時作動しているということが条件なものですから、基本的な機器の動作確認等、あと何か不具合があればすぐに連絡して、それに対応するというような形で実施しております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） ということは、保守点検というよりも、いわゆる保守契

約を結んでおいて何かあったら対応できるための予算という考え方でよろしいのですか。

- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 その部分も一部は含めて点検というか委託のほうをしています。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時25分 休憩

13時25分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。補足で先ほどの答弁に追加して、今の部分を入れてください。危機管理課長。
- 危機管理課長 保守点検につきましては、基本予防という観点も含めまして、機器の内容、中身の点検は実施しているということでございます。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。

別のところですが、全体的な取組の次年度の方針というか考え方なのですが、国土強靱化計画ということで、その基盤ができて、危機管理課に直接関わる部分が非常に多くあります。昨年のお話で言えば、例えば廃棄物の処理とか観光客とか避難の形とか、あと要支援者の対応、その部分ができていないので、見直しをしていくというふうな話がありました。今年度は多分検討されていたと思うのですが、それを踏まえて次年度はどのような取組をされていくか伺いたいと思います。

- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。
- 危機管理課長 防災は広い分野があるのですが、今そういうものの計画の見直し等に取り組んでいるというところであります。ただ、この計画につきましては、訓練等を通じて内容の検証、こういうものは必要かなというところで、できた計画に対してのそういうような検証、そういうものは進めていく必要があると考えております。
- 委員長（三富美代子） 杉山委員。
- 委員（杉山茂規） 分かりました。多分取組の進み具合がまだまだのものもあろうかと思いますが、よろしく願いいたします。以上です。
- 委員長（三富美代子） ほかに質疑は。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 137ページの駿東地区交通災害共済加入の件について伺います。

被害者等の救済に係る経費として交通事故相談事業と交通災害共済事業と

いうのがあります。先日配られたこの行革の中の一覧表で見直しの中で、危機管理課で駿東交通共済の脱退を検討ということが明記されています。これとの関係を教えてください。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 この制度自体は、掛金も一口 500 円で、補償も一定の額があるということでいい制度だと思うのですけれども、実際今人口の減少とか民間の障害の保険、こういうものの普及とか充実によって加入率が以前に比べてかなり落ちているという状況はあります。組合の全体としての加入率も落ちているということで、今後その加入者の増加というものも難しいのかなというふうに考える中で、その事業継続について、いろんな意味での検討も必要かなということで考えているところであります。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） 加入率が悪いので検討と書いてありますけれども、この資料には脱退を検討とあります。組合の各自治体の加入率はどうなっているのでしょうか。裾野市何%で、今全体が低いとおっしゃったのですけれども、どういう状況か教えてください。

（「暫時休憩をお願いします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13 時 29 分 休憩

13 時 30 分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 2 市 3 町の合計では 20%です。御殿場が 25.8%、裾野市は 12.7%、小山町は 52.1%、あとは長泉町が 12.2、清水町が 8.2%ということになっております。以前はどの市町も 50%前後あった数値ですけれども、直近の状況でいきますとそういうような形で加入率はかなり落ちているということになっております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） そうしますと、この組合全体でこの脱退というか、組合全体がやめるという協議ではなくて、組合として共済がやめるということではなくて、裾野市単独として脱退を考えているということですか。

○委員長（三富美代子） 環境市民部長。

○環境市民部長 こちらのほうは、本部会議での話合いによりこのような記述になっております。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13 時 31 分 休憩

13時32分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。内藤委員。
- 委員（内藤法子） 見直しの中で上がったということで、ほかの市町と共催をしているというところで、なかなか難しい状態があると思います。今のご答弁を聞くと、現在加入している自治体にはそれを伝えていないというふうに私は理解しました。そういうことですか。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 まだ組合の加盟の中での調整は全くしておりません。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） そうしますと、やっぱり今の段階では加入した状況の中では裾野市の12.7%を小山町の52.1%にはいかないにしても、御殿場の25.8%みたいに上げるという考えにはならないでしょうか。今年予算を上げているものですから。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 矛盾したことにはなりますけれども、PR、そういうところは継続してやるというか、加入しやすさ、またそういうところを増やすというところは継続してやってまいります。
- 委員長（三富美代子） 内藤委員。
- 委員（内藤法子） 同時に、もし脱退するのであればその効果的な手法、これに代替できるものを考えないといけないと思うのですけれども、その件はどうでしょう。
- 委員長（三富美代子） 環境市民部長。
- 環境市民部長 脱退となりますと、かなり大きなこととなります。そういう前後策を含めて判断になると思います。していきます。
（「暫時休憩をお願いします」の声あり）
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時34分 休憩

13時35分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。ほかにご質疑はありますか。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 委員長、お願いいたします。予算書139ページです。新規事業ですけれども、免許返納者バス・タクシーチケット助成です。対象人数は何名を見込んでいますでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 これまでの免許返納者の実績も踏まえて、今回は 300 人超を見込んでいます。330 人程度。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） この方たちがこの助成チケットを手にするまでの流れを、大まかでいいので、お伝えいただけますか。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13 時 36 分 休憩

13 時 37 分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 現在実施している運転免許の返納に関する手数料、こちらに合わせて実施する事業でありまして、申請される方は裾野警察署でその手続をして、その後市役所の窓口のほうでその証明を提示していただいてバス・タクシーチケットを交付するというような事業方法ということで考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 予算補足説明書のほうで事業の説明をしていただいております。内容としてその一廃止後の市民の移動の補完という形になっています。この助成チケットに関しては、みらい政策との協議というのはいかにされていますか。暫時休憩をお願いします。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13 時 38 分 休憩

13 時 39 分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 本事業につきましては、次年度 4 月 1 日からということになりますので、ちょっとその間で対象の方の利便性を考えた、どういう形で方法を取れるかということをやっと担当課と協議していきたいと考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） その件、ぜひよろしく願いいたします。

143 ページになります。自主防災会に対する補助等が記載されています。今年度自主防災会で地区防災計画の策定をする予定になっていると思いますが、そちらは完了されていますか。各自治会。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 ちょっと今数字がないのですけれども、全ての地区が完了し

たという状況ではありません。引き続きそういう形で計画のほうを作成を継続的にお願いするという形で考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 自主防災会で計画を立てた中で、いろんな資機材の準備とかという部分が必要になってくるというのも想定されると思うのですが、来年度予算はほぼ同額の計上になっていますが、そういったことは特には想定はされていらっしゃらないですか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 現段階では現補助制度の形で進めていくということを考えています。ただし、その地区によっては、そういうような資機材がもっと欲しいよとかというところもあると思いますので、その辺はちょっと今後の研究課題かなというふうに考えております。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 自主防災会が使える市からの交付金補助金以外でも外部の補助金制度なんかを自治会に紹介するようなことというのは、何か考えていらっしゃいますか。暫時休憩してください。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時42分 休憩

13時43分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 そのような制度につきましては、毎年自治会長さんにご紹介のほうをしているというところでもあります。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑は。岡本委員。

○委員（岡本和枝） 137ページに裾野駅西側の駐輪場の整備工事費がのっています。資料として図をもらったのですが、そもそも駅西の計画の中でこれの向こうにプロムナード線の計画があって、そのときに自転車に対して、自転車と歩行者の専用道路、安全を守るために分離という、そういう考え方があったと思うのですけれども、自転車と歩行者の安全を取るための何か対策はどのように考えられた計画なのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時44分 休憩

13時46分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 一定の条件の中で取り得る安全性というものを考えて、今回

駐輪場の設置の計画を立てたということになります。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それでは自転車の通行帯みたいなものを設けるという可能性はないのでしょうか。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時47分 休憩

13時48分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。危機管理課長。

○危機管理課長 現在の設計では自転車と歩行者を分けるような形での状況ではないということで確認しております。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） では、その可能性として何かそういう表示を視覚で強化するとか、何かその辺のところで対策を取れる可能性というのはないのでしょうか。もう一つ言いたいのが、JRの、今は本当に電車に乗る人のための駐輪場だと思うのです。それだとJRに対してもやっぱりその辺もっと互いに協議をするみたいな部分も必要になってくるのかなと思うのですが、その辺ひっくるめてもうちょっと何か対策をお願いしたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 環境市民部長。

○環境市民部長 駅の周りの駐輪場を含めたレイアウト等は換地等で決まっているものですから、これについては今後できる対策というのを担当課と協議してまいります。暫時休憩願います。

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

13時50分 休憩

13時51分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。岡本委員。

○委員（岡本和枝） それはよろしく願います。

次に、143ページの防犯対策費に関連してお尋ねします。昨年もお聞きしましたけれども、特殊詐欺対策ということで、今でも本当に週に1回ぐらいは必ず防犯というか詐欺対策みたいな形で広報無線等であるのですけれども、令和4年度の特種詐欺対策みたいなものは何かお考えのものはありますか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 具体の部分は、これというものはないのですが、基本的に今防犯協会のほうと裾野警察署、協議する場がありますので、そういう

中でそういう対策で効果的なものがあるかということは、情報交換等をしながら、これだけ今そういう件数があるということで、考えていかなければならないということで思っております。したがって、そういう対策を協議の中で進めていきたいということで考えております。

○委員長（三富美代子） 岡本委員。

○委員（岡本和枝） それは分かりました。

次に、非常備消防のことにに関して、昨年度も検討しているということでしたけれども、機能別消防団の来年度についての取組はいかがでしょうか。

○委員長（三富美代子） 危機管理課長。

○危機管理課長 消防団員の減少という状況がありますので、既に裾野市の場合には火防隊とか災害時支援隊、こういうような団体がありますので、そちらとの調整を進めていくというように考えております。難しい部分はあると思いますけれども、現状を踏まえればそういうような対策というか考え方も必要と思っております。

○委員長（三富美代子） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で危機管理課の質疑を終わります。

以上で環境市民部関係の議案の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

13時54分 休憩

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

議会事務局

○委員長（三富美代子） 議会事務局の審査に入ります。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。議会事務局長の説明を求めます。

（議会事務局長 説明）

○委員長（三富美代子） 議会事務局長の説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。令和4年度の実施計画の中からのなのですが、政策討論会実施事業ということで、その課題に議論の活性化や政策立案能力を高めるための支援や研修開催の支援等が必要ということと、事務局職員も機能強化を図る必要があると記載がされております。次年度この部分についてどのように取り組んでいくか伺います。

○委員長（三富美代子） 議会事務局長。

○議会事務局長 政策討論会につきましては、まず事務局は議員の皆様へのバックアップをしていくものというふうに認識しております。まず、ハードウェアの整備、それからソフトウェアの整備、それから政策討論会等のPR等に努めていきたいというふうに考えております。議会事務局の能力アップといましようか、それにつきましては、通常コロナ前におきましては、事務局の研修等が県内でも何回も行われておりました。コロナ禍によりまして書面開催ですとか開催が中止になりましたけれども、令和4年度以降はまた新たに研修会等が開かれるものというふうに考えております。それら研修会等に参加して事務局職員の能力アップのほうに努めていきたいというふうに考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） ほかはよろしいですか。勝又委員。

○委員（勝又利裕） 1点、細かくて申し訳ないですけれども、費用弁償の関係ですけれども、本会議等による費用弁償529万円が全てそうでしょうか。

○委員長（三富美代子） 議会事務局長。

○議会事務局長 費用弁償につきましては、費用弁償のほか旅費のほうに、費用弁償529万円につきましては、本会議出席等のための費用弁償のみになっております。以上です。

以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長（三富美代子） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。

以上で、議会事務局の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

14時04分 休憩

14時04分 再開

議会事務局（答弁訂正）

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

議会事務局長より発言の訂正の申出がありましたので、これを許します。

議会事務局長。

○議会事務局長 すみません、先ほど本会議のみというふうに費用弁償のほうの説明をさせていただきましたけれども、この費用弁償には視察等への費用も入っております。訂正させていただきます。お願いいたします。

○委員長（三富美代子） 以上で発言の訂正を終了とさせていただきます。

以上で、議会事務局の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

14時04分 休憩

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

監査委員事務局

○委員長（三富美代子） 監査委員事務局の審査に入ります。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。監査委員事務局長の説明を求めます。

（監査委員事務局長 説明）

○委員長（三富美代子） 監査委員事務局長の説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。杉山委員。

○委員（杉山茂規） お願いいたします。監査ということで、正確性は担保されているという大前提でお伺いしたいと思うのですが、実施計画の中で全部局に対する定期監査の実施、監査報告書を市長に提出後3日以内にホームページに掲載ということで、その辺のところは取り組むべき事項ということになっておりますが、次年度様々な状況の中で、新たに取り組んでいかなければならないと考えている部分、あるいは検討していこうという部分につきましては、ありますでしょうか、お伺いします。

○委員長（三富美代子） 監査委員事務局長。

○監査委員事務局長 まず、監査委員が現在欠いております。当然新しい委員が選任されることとなりますので、その補助をしていくということが一つございます。また、10月には市議が改選されるということで、議選の委員さんもやはり交代されるということで、新しい方になるという想定の下、その補助をしていくということがまず第一挙げられます。また、監査資料につきましても、引き続き担当課に負担をかけないような形で、しかも現在の水準と同等程度のものの資料水準を保ちながら検討していかなければならないということで、その辺についても検討課題というふうに考えております。以上です。

○委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 先ほど委員の質疑に対して委員の交代があるというお話がありました。その監査委員の在り方について、来年度検討されていくかについて伺います。ほかのまちでは外部監査を入れているところも見えるようになってきました。この先のその監査委員の在り方について、何か来年協議されることがありましたらお願いいたします。

○委員長（三富美代子） 監査委員事務局長。

○監査委員事務局長 現在のところ議選、識見それぞれの調書が相まってそれなりの成果が挙げられているというふうに考えておりますので、引き続き今

14時14分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

出納課

○委員長（三富美代子） 出納課の審査に入ります。第1号議案のうちの関係部分の審査になります。出納課長の説明を求めます。

（出納課長 説明）

○委員長（三富美代子） 出納課長の説明は終わりました。質疑に入ります。質疑はありませんか。内藤委員。

○委員（内藤法子） 指定金融機関の派遣の経費についてなのですが、昨年前々年度ぐらいから派遣のアップの要求があっていました。これは、4年度に向けてはどのようなふうになりましたか。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 金融機関からのその金額に関しまして、今回予算のほうで増額とさせていただいております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それは、令和3年度のときは、1社からと言ったのですが、そのほかとのバランスはどうなのでしょう。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 今回につきましては、2つの金融機関のほうから要望がありましたので、対応させております。こちらにつきましては、全県下で同じような傾向が見られております。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） これまで3倍のアップだというふうに要求は聞いていたのですが、それは3倍になったということですか。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 いいえ、3倍まではいっていません。2倍弱です。

○委員長（三富美代子） 内藤委員。

○委員（内藤法子） それは、担当者が交渉した努力の結果ということでしょうか。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 いいえ、全県下で同じ動きとなっております。

○委員長（三富美代子） ほかに質疑は。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） お願いいたします。毎年確認させていただいていますが、来年度の組替え運用はどのくらいを予定していますか。

- 委員長（三富美代子） 出納課長。
- 出納課長 今年度と同等と考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 暫時休憩してください。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時20分 休憩

14時20分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） この支払い等に関して各課のほうに出納課からどのような指示をしていきながらうまく回していこうというふうに考えていらっしゃるでしょうか。
- 委員長（三富美代子） 出納課長。
- 出納課長 前月に次月の支払いと収入に関して調査をさせていただきまして、そちらの金額を見ながら操作をさせていただいております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） 一時借入れはしていく予定ですか。
- 委員長（三富美代子） 出納課長。
- 出納課長 暫時休憩をお願いします。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時21分 休憩

14時23分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。答弁を出納課長。一時借入れではありませんか。
- 出納課長 一時借入れは行いません。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。
- 委員（賀茂博美） その件は分かりました。あわせて、基金の運用については、どのような手法をとっていこうという考えがありましたらお願いします。
- 委員長（三富美代子） 出納課長。
- 出納課長 基金の運用なのですけれども、長期間にわたって要は貸付けみたいな形をすると、非常に大きな利息が上がるのですが、今の市の財政的なものを考えると、回して、そんな長期間、要は10年、20年という単位では回せていけないので、短期間でその中で効率のいい回し方をしていこうというふうには考えております。
- 委員長（三富美代子） 賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 具体的にどういうものというのがもしあればお伝えいただけますか。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 例年どおり大口定期にしていきたいと考えております。

（「暫時休憩をお願いいたします」の声あり）

○委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時24分 休憩

14時26分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。質疑はよろしいですか。もう答弁いただいていますので、大口定期でという話。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） 預ける金額を大体どのくらいみたいな形で大口に分ける感じですか。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 その大体同じぐらいの金額になるように2つに分けて預けます。

○委員長（三富美代子） ほかにはよろしいですか。

勝又委員。

○委員（勝又利裕） 今のに関連してですけれども、要するに財調はしばらく運用しないで特定目的基金を運用するという、そういう意味ですね。

○委員長（三富美代子） 出納課長。

○出納課長 そのとおりです。

○委員長（三富美代子） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する質疑を終わります。

これより第1号議案のうちの関係部分について意見を伺います。

賛否に関する意見はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（三富美代子） 以上で、第1号議案のうちの関係部分に関する意見を終わります。以上で、出納課の質疑を終わります。暫時休憩いたします。

14時27分 休憩

14時28分 再開

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

以上で、予算決算委員会総務分科会に割り振られました議案の質疑を終了いたします。 休憩いたします。再開は14時40分です。

14時28分 休憩

○委員長（三富美代子） 再開いたします。

自由討議

○委員長（三富美代子） 委員の皆様に申し上げます。

発言は1人ずつマイクを使用し、委員長の指名により発言をしていただきますようお願いいたします。

ただいまより自由討議を開会いたします。

それでは、令和4年度の当初予算審査の質疑を終えまして、それぞれの委員の方々の予算審査に関してのいろんな感じた点等あったと思いますので、それをお一人ずつお話ししていただきたいと思います。

初めに、今回初めての木村委員から、最初でいいですか。

では、木村委員、お願いいたします。

○委員（木村典由） お疲れさまでした。今回初めてこういう形でやらせていただいたわけですがけれども、本当に至らない点もたくさんあったと思いますし、今回やらせてもらった中で、こういう聞き方をすればいいのだとか、こういうような内容を掘り下げていけばいいのかなというのが何となくですがけれども、分かったような気がします。今回は本当に浅いところ浅いところばかりやっていたような感じはしましたけれども、これを今回の件を勉強させてもらって、次回こういう場でもうちょっと深い、皆さんが聞いていたような深い内容に掘り下げていけるような形で勉強していきたいと思っております。以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。では、杉山委員、よろしいですか。

○委員（杉山茂規） まずは、2日間ありがとうございます。お疲れさまでした。今回の審査ですけれども、当局からの説明の中の予算減のところを絞っているところに対して、例えば工夫や努力で補うのだよという部分がありちょっと感じられなかったように私は思っております。また、行政改革とか構造、機構改革の部分、それによって新たに取組むべきものが多く増えるところもあったり、形が変わるということの中で、まさに本当にこれから細かいところは決まっていくのかなというふうなものはすごく感じました。事業のところは、ほぼ決まっているということなのですが、そんなところはこれからなのかなというふうに感じました。ただ、1つ思ったのは、地区振興のところ、支所なんかではとても課題意識を持って、ここの課題を何とかクリアしたいのだというふうな積極的な思いというものが伝わっ

た審査でした。今回の審査の中では、大きな目線で、総合戦略であったり、そういったものに対してしっかりとできるのかというふうな考え方とか、そういうふうなものを聞くような形で質疑をするようにしたのですけれども、逆にちょっとそれが大枠過ぎて答弁というか回答も大きな一般的な考え方の話になってしまったのかなというところが非常に反省しているところです。もう少しうまくどういう考え方かというものを引き出せるような質疑ができたらいいなと思っております。

あとは、全体的なところなのですけれども、継続的な課題、昨年からの課題みたいなものについては、粛々と検討が進んでいるのだなということは感じました。細かい部分での当然課題はあるのだと思うのですけれども、しっかり協議された中での予算がこういうふうな形で出てきたのかなと感じております。

また、最後なのですけれども、予算書の説明が一部昨年よりちょっと減っていた点がありまして、そこだけはちょっと残念でした。以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。それでは、賀茂委員、よろしいですか。

○委員（賀茂博美） まずはお疲れさまでした。来年度予算第2期の行財政構造改革スタートの年ということで、全体を通してみると、削減というところに主眼が置かれた予算で、歳入の確保という部分があまり見受けられなかったのかなというふうに思いました。ちょっと印象的だったのは、財政の審査のときに職員の意識について伺ったときには、やっぱり財政非常事態宣言を出したことによって、職員の方の意識も変わりつつあるのだろうなというのは、財政の答弁でもそうでしたし、ほかの課の審査の中でも感じる事ができたかなと思いました。もっともっと今度は歳入確保に貪欲になってほしいなという気持ちをちょっと持ったのと、大きな事業をこの先どうしていくかというのが非常に不透明だったなというふうに感じました。例えば美化センターであったり墓地事業であったりという、これから投資をしてやっていく事業という部分を非常に不明確なところしか担当のほうもなかなか見えてきていないというか、伝えにくいところがあるのかちょっと分かりませんでしたけれども、その辺は感じました。

墓地のほうは、以前も総務委員会のほうで協議をされたという経緯がありますけれども、少し前向きに墓地事業は進めたいなという気持ちがありました。待っている方の気持ちとかも考えたら、非常に先行きが分からないのという部分が市民の不安には伝わるのかなというふうに思ったので、その辺りは何か委員会としても意見が言えたらいいかなというふうに思っております。以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。それでは、内藤委員、お願いいたします。

○委員（内藤法子） お願いします。財政非常事態宣言が出てからこれを反映するのは令和4年度の予算からだというのを強調されていました。そういう意味で、令和4年度の今回が財政非常事態宣言に対するスタートを切った予算審査だと思います。各課がやっぱり絞らないといけないところを一生懸命絞ったということは、よく分かりますけれども、例えば今日最後に交通災害共済なのですけれども、組合の共済のメンバーの自治体にもこういう課題がありますから、こういうことを話し合ってみましょうという問題提起もしていなくて、何かとにかくどこか絞れと言われてたらこれをこうだからという何か目先の結論、取りあえずこれはやめようみたいなことで、その代替のどうすれば効果的になるのか、今の制度を今の状態の中で生かす方法はあるのかとか、あまり深く考えていないなと思いました。

それと、男女共同参画なんかは、とにかく計画をつくり、計画改定します。中身は何なのだということで、何か中身が全然見えてこないというところがありました。それから、今賀茂委員もおっしゃいましたが、美化センターはもう本当に待ったなしだし、それから墓地の関係は何にも解決策は、とにかく今を先送りするだけで、先送りするとやっぱり美化センターにしても墓地事業にしても、傷口は大きくなっていくと私は思うのです。だから、やっぱり年度年度にスタートのときにどうするべきかというのをしっかりとみんなで当局の職員の皆さんが話し合って、この方針でいくのですということを示してくれないともうとても不安な思いがしました。

いろいろあるのですけれども、最後に予算書はやっぱり最初から税務課の説明のところ省略されていたり、せつかく昨年度、これは丁寧だなと思うところが削減されていたりというのがあったので、それは支障がなければ元どおりに説明を加えていただけたほうがいいのかと思いました。

それから、当初から訂正というか、とても多かったというのは、ちょっと大事なところが訂正されたとかということも、ちょっとやっぱり苦言を呈しておかないといけないのかなと思いました。以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。それでは次に、岡本委員、お願いします。

○委員（岡本和枝） 総務から集中してやったというのはよかったのかなというふうに思います。予算書、それと実施計画、それと補足説明書が一体となって方向性みたいなものが見えたということでもよかったのかなというふうに思います。1番は、木村委員の参加で、すごい緊張を私もしました。やっぱり市長が替わったという中で、組織的な変化とかそういうこともあるので

すけれども、これからの変革の方向の手応えみたいなものはとても感じました。ただ、それがそのままどういくかというのがこれからの本当に市民や私たち、それと職員の方たちでつくっていくことになると思うのですけれども、特にSDCC推進事業、あれだけ目玉的に年間を通してやっていたものに対してもしっかりと見ていくというようなこととか、あとマイナンバーカードと市民課窓口の委託に対しても、事業評価という視点で考えられているというのも見えたことはとてもよかったのかなというふうに思います。昨年も予算に対して反対をしながらいろいろやってきたのですけれども、予算に対してどういう姿勢で臨むのかなというのをやっぱり最終日まで考えたいと思っています。以上です。

○委員長（三富美代子） ありがとうございます。では、勝又委員、お願いします。

○委員（勝又利裕） 皆さん、お疲れさまでした。総務委員会が一番最初ということで、なおかつその財政課が一番最初ということで、事業もそうなのですけれども、どういう方針で予算組みをしたのかとか、そこがもう少し聞けたらよかったかなと思います。それは反省です。ちょっと基本方針のところで触れましたけれども、もう少しそこを聞いてもよかったのかな。それと、企画サイドだと事業をどういうふうにしていくのという話をもう少し聞いてもよかったのかな。大枠になってしまいますけれども、総務委員会ですからどうしても大枠の話しかできなくなることはやむを得ないのかもしれませんが、そういうところがちょっと反省点かなと。全体的には、細かいところはあまり聞かないで、もともとコロナ禍によってどういう予算審査をするということで話し合えてきているはずですから、そこは皆さんよかったのかなと思っています。個別にはいろいろ幾つかの事業の中で、一般質問なり前年度の予算審査なりをやり取りした内容がそのまま3年度に生かされていないとか、そういうところも多少あるのかなという気はしましたので、そこはやっぱりやり取りの中でやりますとか検討しますというのは、それは当局側も次のところのステップをどういうふうにしていくかというのは、やっぱり考えるべきだし、当然のことですから、ちょっとそこがなかったのが寂しかったかなという気はしています。

具体的な話をしてしまいますと、墓地事業、ほかの委員さんも言いましたけれども、そろそろ全体計画をしっかりと一度立て直して、最終的に9号墓域まであるのですけれども、4号、5号をどうするかと。全体の需要がどのくらいありそうなのかともう一度しっかりとやり直す必要があるのかな。やるべきところまではやって、あとはどうするというのをしっかりと検証する必要があるのかなという気はしました。2年ぐらい前に総務委員会とし

て附帯決議みたいのをしましたけれども、そこまでやるかどうかは別として、そういうところは感じました。それで、もう一つ、美化センターの件も出ましたけれども、一般質問のやり取り等々を聞いているよりは、何か後退してしまったような気がしてしまって、しようがなかったという、その具体的な話はちょっと置いておきますけれども、そんな感想です。以上です。

○委員長（三富美代子） どうもありがとうございました。

皆さんにご意見を伺いまして、ありがとうございました。本当に美化センターのこと、また墓地事業に関しては前に進むというよりは、ちょっと後退してしまっている感が私自身も皆さんの質疑の中でそういうことは感じました。

それで、23日の予算決算委員会で、分科会長委員長報告をさせていただくのですけれども、そのときに今日伺った皆さんの様々なご意見をどのように取り扱ったらよろしいかなというところなのですが、今回は特に附帯決議というところではなく、委員長報告の中での自由討議でこのような意見があったというところの取りまとめで報告をさせていただくというような内容でよろしいでしょうか。

皆さん、何かありましたら。賀茂委員。

○委員（賀茂博美） それでもいいのですけれども、多分それだと予算決算委員長の最終報告には入ってこないですね、きっと。その辺りをちょっと皆さんもどう思っているのかですけれども、どういう形がいいかな。

○委員長（三富美代子） 勝又委員。

○委員（勝又利裕） 附帯決議までは僕はいいと思っているのですけれども、要は各委員会の中でこういう意見がありましたというのが分科会はやりますよね。それを今度予算決算委員長の報告の中には入るのか入らないかはあれだけども、入れてもらえればというところなのです。意見として、そういうのは入れられるのかな。入れていない。

○委員長（三富美代子） 分科会長の報告の中で予算決算委員会の委員長報告の中に入れてくださいという……

○委員（内藤法子） 委員長報告で言うていただければ……

○委員長（三富美代子） どういう入れ方でいいのかな。

○委員（内藤法子） 今までは。

○委員長（三富美代子） 今まではない。意見として。

○委員（勝又利裕） なし。そういうのは駄目。

○委員（内藤法子） そういうのは入れていない……

○委員長（三富美代子） 入れていない。

○議会事務局長 今はない。

- 委員（内藤法子） 附帯的決議とかあればまた話は別だと思えます。
- 委員長（三富美代子） 附帯決議……
- 委員（勝又利裕） 墓地事業のときはどうしたのですでしたっけ。総務委員会分科会として何か……
- 委員長（三富美代子） 前にありましたよね。
- 委員（内藤法子） 総務委員会分科会として……
- 委員（勝又利裕） 産建の中でやったのだよね。そのときに予算決算委員長はどういう報告をしたか、ちょっと忘れちゃった。
- 委員（内藤法子） 産建のとき……
- 委員（勝又利裕） 一緒の時期があったから。
- 委員長（三富美代子） あのときは中村さんのときですよ。
- 委員（勝又利裕） 中村さんの委員長のとき。
- 委員（勝又利裕） 賀茂さんだっけか。
- 委員長（三富美代子） だから大分前ですね。
- 委員（賀茂博美） 記憶にございません。
- 委員長（三富美代子） 記憶にない。
- 委員（勝又利裕） 令和2年度予算のとき。当初予算のとき。
- 委員長（三富美代子） 暫時休憩いたします。

14時57分 休憩

15時01分 再開

- 委員長（三富美代子） 再開いたします。
今日伺った皆さんからのご意見は、分科会委員長報告の中に自由討議でこのような意見がありましたという報告をさせていただくことにさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

- 委員長（三富美代子） ありがとうございます。
以上で、本委員会に付託され、本分科会に割り振られた議案の審査は全て終了いたしました。
来る3月23日の予算決算委員会で分科会委員長報告をいたします。審査にご協力賜りましたことに感謝を申し上げまして、予算決算委員会総務分科会を閉会いたします。ありがとうございました。お疲れさまでした。

15時02分 閉会